TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上・BS・110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

65J7

操作編

:: 最初に別冊の「準備編」をお読みください。
:: 本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
:: 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

もくじ

はじめに　6

テレビを見る　13

録画・予約をする 37

録画・予約をする

再生する

編集・ダビングする

もくじ つづき

接続機器の映像・音声を楽しむ（レグザリンク） 63

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ 79

映像・音声を調整する 87

困ったときは 98

操作編

テレビの楽しみかた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

- 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
  ときどき目を休めましょう。

■ 音量は適切に

- 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聴きください。特に夜間はご注意ください。

この取扱説明書内のマークの見かた

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語の説明をしています。（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）

関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

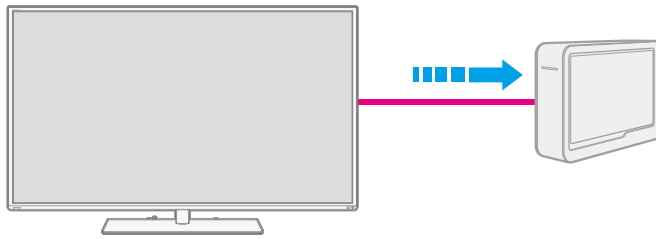
取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

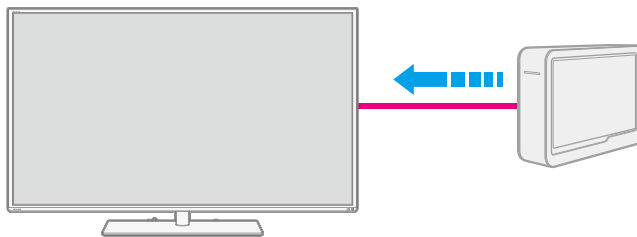
本機の特長　～こんなことができます～

録画する

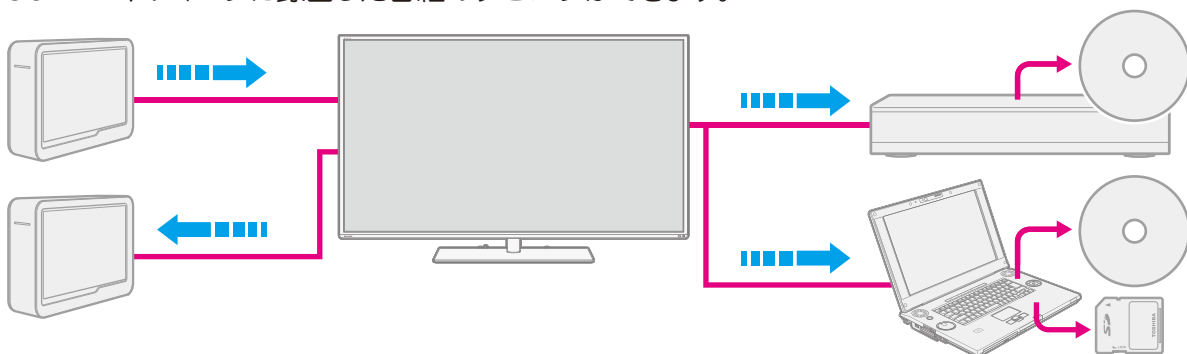
➡ 37 ～ 49 ページ

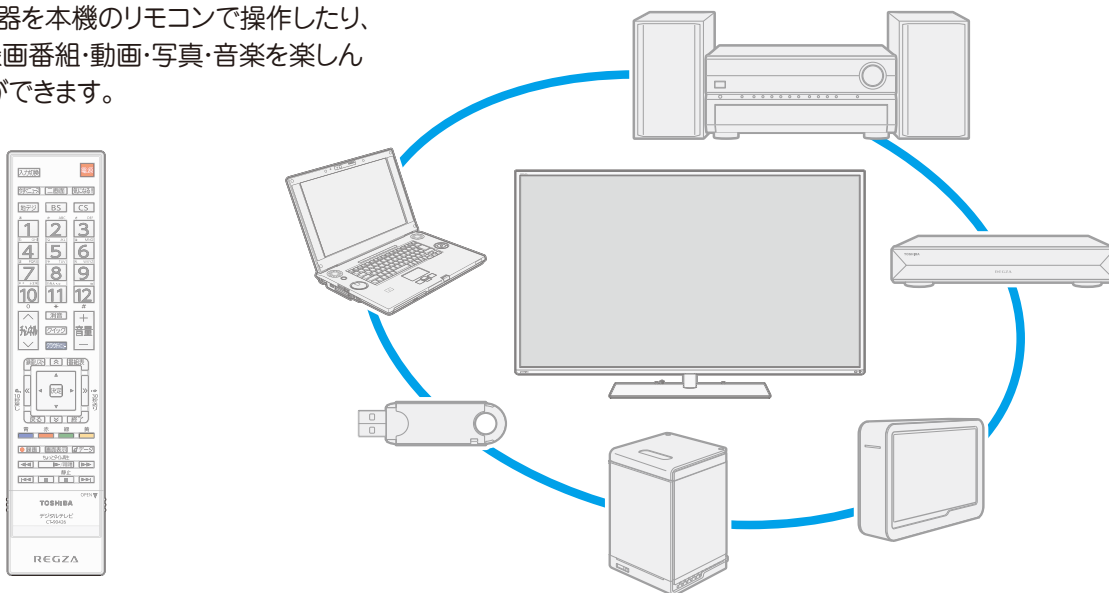
市販のUSBハードディスクにデジタル放送の録画･予約ができます。

見る

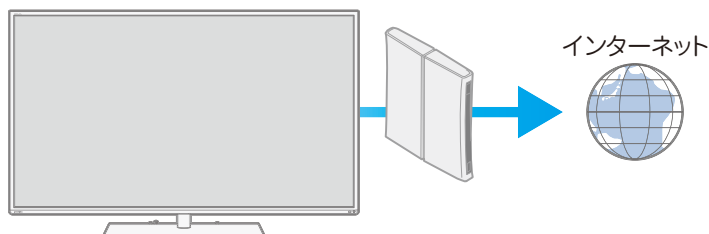
⇨ 50 ～ 55 ページ

USBハードディスクに録画した番組の再生ができます。

残す（ダビングする）

➡ 59 ～ 62 ページ

USBハードディスクに録画した番組のダビングができます。

接続機器の映像・音声を楽しむ（レグザリンク）➡ *63 ～ 78 ページ*

HDMI連動機器を本機のリモコンで操作したり、接続機器の録画番組・動画・写真・音楽を楽しんだりすることができます。

クラウドサービスを楽しむ ➡ *79 ～ 86 ページ*

ネットワークを使って番組情報を友人と交換したり、お好みの動画やショッピングを楽しんだりすることができます。

多彩な映像メニュー

- 周囲の明るさと見ている映像に合わせて、常に見やすい画質で表示される「おまかせ」のほかに、周囲の環境や映像に合わせて選択できる「あざやか」、「標準」、「ライブプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PC」などの多彩な映像メニューが用意されています。
- お好みに合わせて調整することもできます。87 ～ 95

時計機能、タイマー機能

- リモコンの 時計 を押して現在時刻を簡単に確認できます。34
- タイマー機能のメニューから、オンタイマーやオフタイマーの設定をすることもできます。

オンタイマー: 設定した時刻に、指定のチャンネルと音量で本機の電源がはいります。34

オフタイマー: 設定した時間が経過すると本機の電源が切れます。34

節電機能

- リモコンの 節電 で節電モードを簡単に切り換えることができます。32
- 「節電1」、「節電2」の二つの節電モードが用意されています。

各部のなまえ

● 詳しくは［ ］内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

前面

左側面、背面

ヘッドホーン
/親切
録画する場合は背面専用端子へ
USB
HDMI入力3
電 源
音 量
機能切換

ヘッドホーン端子

- ヘッドホーンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。モノラルイヤホーンを接続した場合は、左音声だけが聞こえます。
- ヘッドホーンからの音の出かたなどを設定することができます。35

USB端子

- USBメモリーなどに保存されている動画･写真･音楽の再生ができます。70～76
- USBキーボードを接続すれば、ブロードバンド機能などで文字入力をする際に便利です。

※USB機器の接続については、準備編の 70 をご覧ください。

電源 10

- 電源を「入」、「切」にします。

音量 ＋･－ 14

- 通常は音量を調節します。

※機能切換ボタンを押すたびに、機能が切り換わります。

機能切換 14

- 音量+･－ボタンの機能を切り換えます。

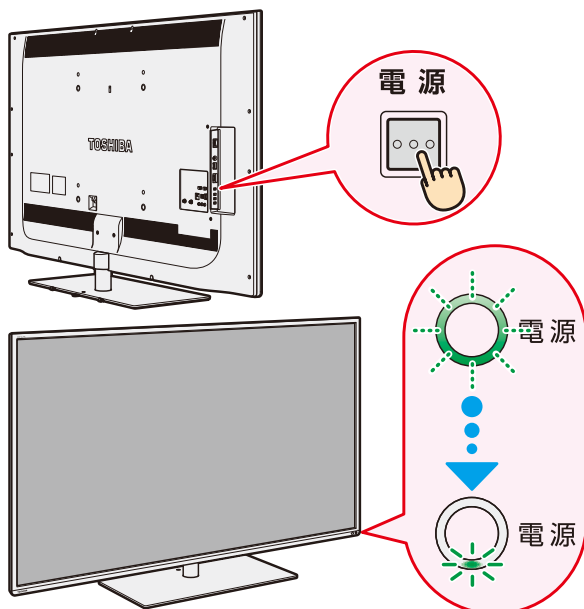
リモコンボタン操作ガイド

基本操作

電源を入れる

「電源」表示が消えているとき(「切」のとき)

「電源」表示が消えているとき、リモコン操作はできません。

❶ 本体の電源を押す
- 電源が「入」になり、「電源」表示が**緑色**に点灯します。

「電源」表示が赤色に点灯しているとき(「待機」のとき)

❶ リモコンの電源を押す
- 電源が「入」になり、「電源」表示が**緑色**に点灯します。

電源を「待機」にする／切る

電源を「待機」にする

❶ 電源が「入」のときに、リモコンの電源を押す
- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が**赤色**に点灯します。

電源を切る

❶ 「電源」表示が赤色または緑色に点灯しているときに、本体の電源を押す
- 電源が「切」になり、「電源」表示が**消灯**します。

※ リモコンでの操作ができなくなります。

お願い…電源プラグの取扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。(旅行などで長期間使用しないときはコンセントから抜いてください)

※ 電源プラグを抜いたままにしておくと…
- デジタル放送の番組情報が取得できません。
- 予約した番組の視聴や録画ができません。
- 外出先からEメールで録画予約をしても、Eメールが届きません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の視聴や録画は、電源が「待機」や「切」の場合でも行われます。

電源プラグを抜くときは

- **非常の場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。
  - 画面表示を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認します。15
  - 予約リストを表示させて、電源プラグを抜いている間に実行される録画予約がないことを確認します。48

メニュー操作手順の表記について

- クイックメニューや設定メニューなどの操作手順については、以下の例のように一部を簡略化して記載しています。

例

1. クイックを押す
2. ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す
3. ▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定を押す
4. お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す
5. 終わったら、を押す

↓

1. クイックを押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む
2. お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す

- 操作が終わったときに表示されているメニュー画面や確認画面を消すときは、終了を押します。

クイックメニューについて

- クイック を押してクイックメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- クイックメニューの内容は、クイック を押すときの場面によって変わります。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

クイックメニュー	機　能　（一部省略しています）	詳細記載ページ
タイムシフトマシン	タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を表示します。※1	66
映像設定	お好みの映像メニューを選んだり、お好みの映像に調整したりできます。	87
音声設定	お好みの音声メニューを選んだり、お好みの音声に調整したりできます。	96
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	30
予約リスト	予約リストを表示させることができます。	48
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。	42
タイマー機能	タイマー機能を使って電源を切ったり入れたりすることができます。	34
スピーカー切換	本機とオーディオ機器のどちらのスピーカーで音声を聴くか切り換えます。	69
ＡＶシステム音声設定	音声連携対応のオーディオ機器の音声メニューを設定します。	69
親切ヘッドホーン音量	親切モードでのヘッドホーンの音量を調節することができます。※2	35
その他の操作		

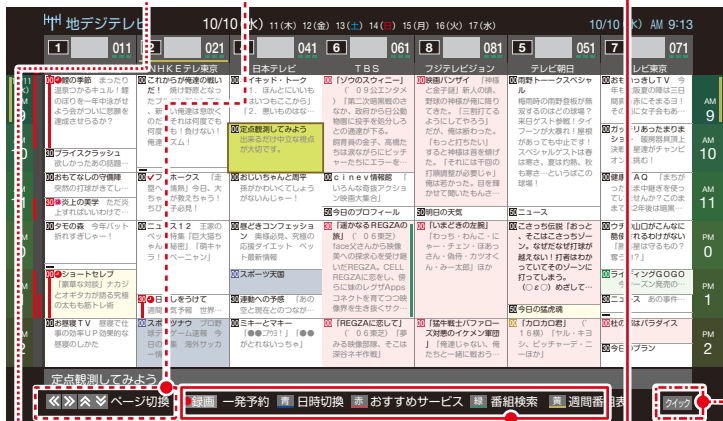
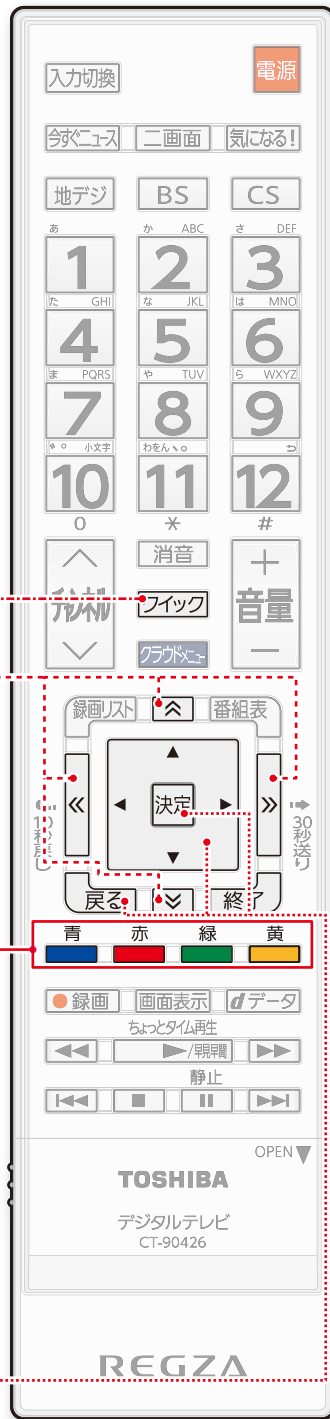
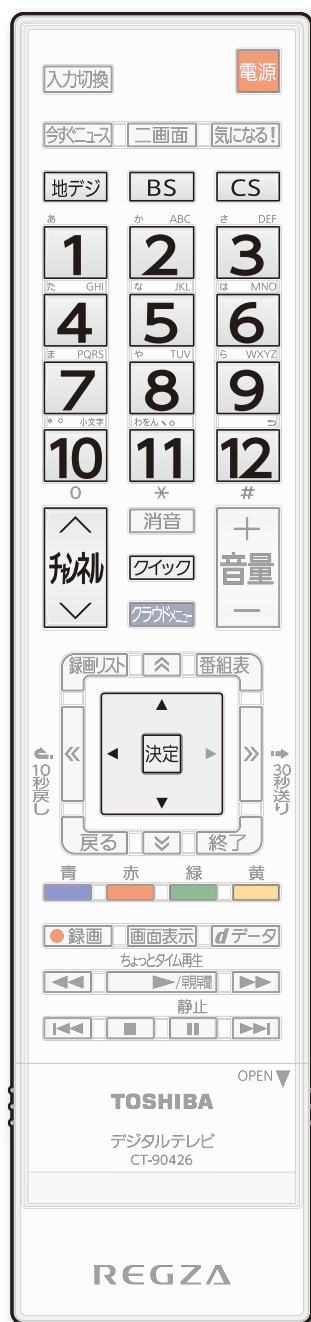
※1 クイックメニューの「タイムシフトマシン」は、本機とタイムシフトマシン対応機器をHDMIケーブルで接続しているときにのみ、表示されます。
タイムシフトマシン対応東芝レグザサーバー 形名:DBR-M190、DBR-M180（2012年10月現在）。
※2 「副画面ヘッドホーン音量」のときは、副画面モードでのヘッドホーンの音量を調節することができます。

その他の操作	機　能	詳細記載ページ
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	14
信号切換		
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	13
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	準備編 41
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	16
2D表示モード切換	3Dコンテンツの映像を2D表示するときの表示モードを切り換えることができます。	36
ﾃﾚﾋﾞ/ﾗｼﾞｵ/ﾃﾞｰﾀ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	16
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	117
ソフトウェアバージョン	本機のソフトウェアバージョンを確認します。	116

信号切換	機　能	詳細記載ページ
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	33
音声信号切換	一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。	33
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	33
データ信号切換	一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。	33
降雨対応放送切換	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	33

基本操作 つづき

操作ガイドについて

- 番組表、録画リスト、操作画面などには、そのときに使用できる（または使用する）リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン（青、赤、緑、黄）や クイック に割り当てられています。

テレビ番組を楽しむ

● 本体の操作ボタンについては、「本体の「機能切換」ボタンについて」14をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 **地デジ、BS、CSで放送の種類を選ぶ**

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 **チャンネルを選ぶ（選局する）**

● 以下の3とおりの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

● ワンタッチ選局ボタン1～12で選局します。（下の「お知らせ」をご覧ください）
● BSデジタル放送のワンタッチ選局には、「グループ A」と「グループ B」があります。
- 通常はグループAのワンタッチ選局になります。
- グループBの放送局をワンタッチ選局する場合は、手順1でBSデジタル放送を選んだあとBSを押し、選局ガイドが表示された状態で1～12ボタンを押します。（選局ガイド表示中はBSを押すたびに、グループA、グループBの選局ガイド表示が切り換わります）

チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

● チャンネル∧∨ チャンネルが順次に切り換わります。
- BSデジタル放送の「グループ A」、「グループ B」に関係なく順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

● チャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ **クイックを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「チャンネル番号入力」の順に進む**
- 視聴中の放送の種類に応じて、画面の右上に 地デジ--- 、BS--- 、CS--- のどれかが表示されます。

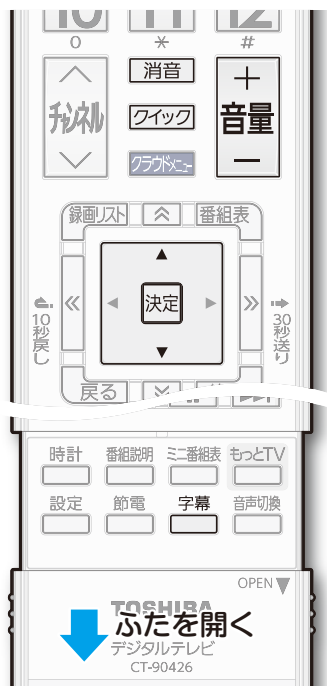
❷ **1～10(0)でチャンネル番号を選ぶ**

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨ 1 10(0) 3の順に押す。（「0」は10で入力）
- 入力した番号を消すには、◀を押します。
- 11(*)を使った入力ができます。 例 3 11→300番台の最小チャンネル

■ **枝番のついた放送一覧が表示されたとき**
- ▲·▼で選んで決定を押すか、10(0)～9で枝番を指定して選びます。

● 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表17で確認することができます。
● 1～12でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。（「チャンネルをお好みに手動で設定する」（準備編45）で変更できます）
- 地デジを押したとき→「はじめての設定」（準備編35）で各ボタンに登録されたチャンネル
- BSを押したとき→BSデジタル放送の「グループ A」、「グループ B」に分けて各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
- CSを押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル（1と2のみ））
◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。

● 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。（番号順にならない場合があります）
● お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した（準備編88）直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
● 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
● 本機はペイ・パー・ビュー放送（PPV放送：番組単位で料金がかかる放送）には対応していません。
● 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」（準備編81）をご覧ください。
● 「3D映像を検出しました。2D表示に切り換えますか？」の確認画面が表示されたときは、「2D表示モードを切り換える」36をご覧ください。

テレビ番組を楽しむ つづき

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの［＋音量－］または本体の［＋音量－］を押す

音を一時的に消す

❶ リモコンの［消音］を押す

- 画面右下に［消音］が表示されます。もう一度［消音］を押せば音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶ ［字幕］(ふたの中)を押す

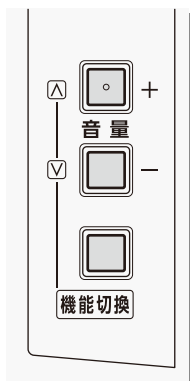
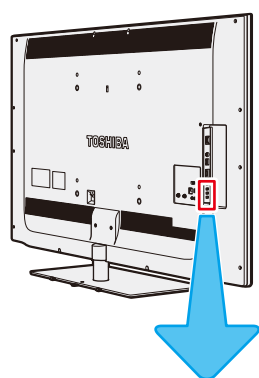
クイックメニューから切り換えるには

❶ ［クイック］を押し、▲･▼と［決定］で「その他の操作」⇨「字幕」と進む

❷ ▲･▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、［決定］を押す

本体の「機能切換」ボタンについて

- 本体にある［音量］ボタンは通常「音量調節」(上記)ですが、［機能切換］を押すたびに、機能が切り換わります。

1 ［機能切換］を押す

- ［機能切換］を押すと画面左上に現在選択している機能が表示されます。
希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順*2*の操作をします。

例

- ［機能切換］を押したあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 ［機能切換］を繰り返し押して機能を選び、［音量］で切換えまたは調節をする

- ［機能切換］を押すたびに以下のように機能が切り換わります。

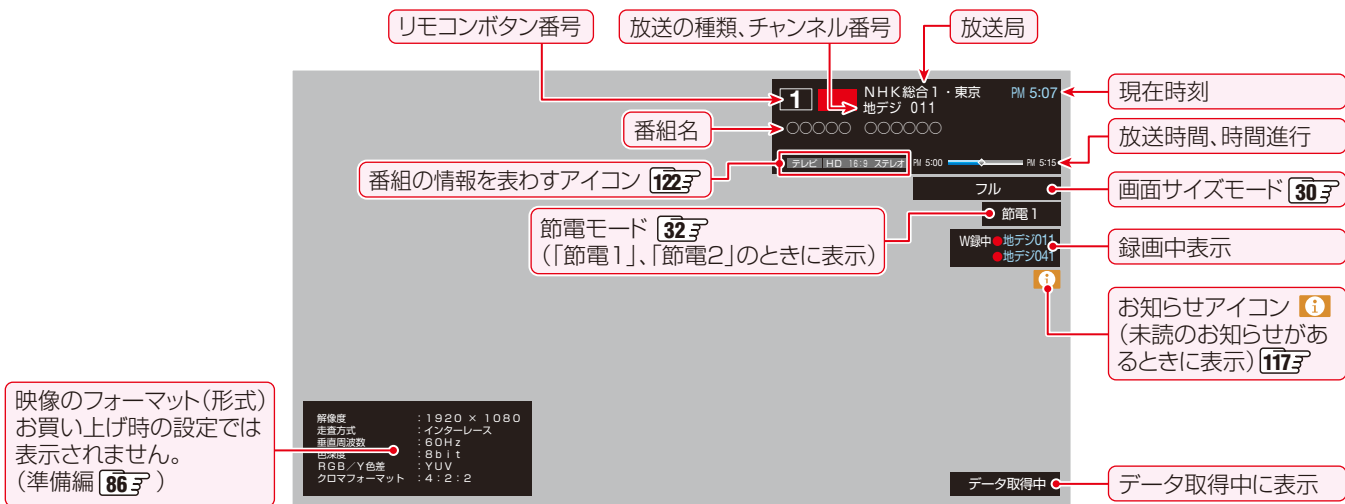
チャンネル切換→放送切換→入力切換→表示なし(音量調節)

- **チャンネル切換**……チャンネルが順次に切り換わります。
- **放送切換**………………「地デジ」、「ＢＳ」、「ＣＳ」が順次に切り換わります。
- **入力切換**………………入力が順次に切り換わります。28

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

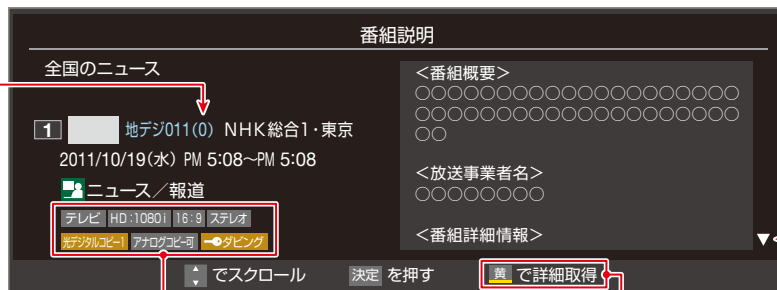
1 **画面表示 を押す**

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）
- 表示を消すには、もう一度画面表示を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

番組説明を見る

1 **番組説明（ふたの中）を押す**

2 **さらに詳しい説明を見るときは▼を押す**

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
  - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
  - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

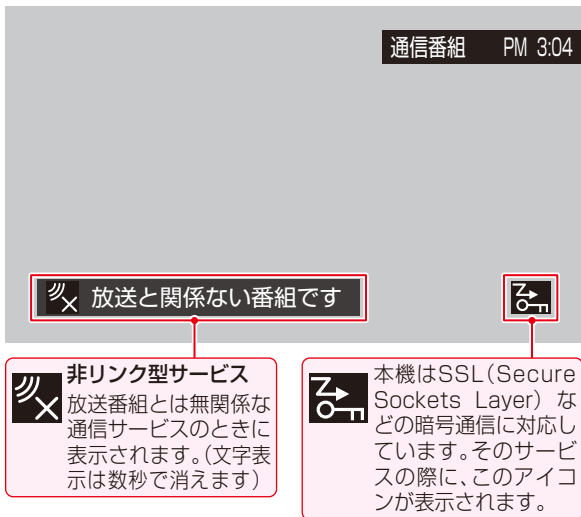
3 **説明画面を消すには、決定を押す**

- 画面に表示されるアイコン（ステレオ、HD:1080iなどの記号）についての説明は、「アイコン一覧」122 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **［dデータ］を押す**

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 **データ放送を終了するには、［クイック］を押し、▲・▼と［決定］で「その他の操作」⇨「データ放送終了」の順に進む**

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 **放送の種類を選ぶ**

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、［BS］を押します。

2 **［クイック］を押し、▲・▼と［決定］で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む**

3 **▲・▼で「データ」または「ラジオ」を選び、［決定］を押す**

- ［チャンネル］で他のチャンネルに切り換えられます。
  チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記手順で「テレビ」を選びます。

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、［dデータ］は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

■ **双方向サービスについて**

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(準備編 72 ～ 79)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、利用者の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでの利用者のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

見たい番組を探す

見たい番組を番組表で探す

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表を押す

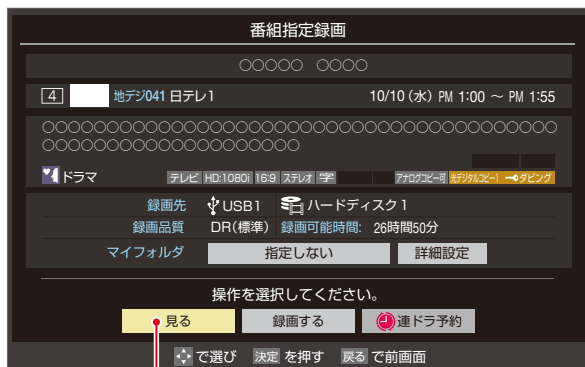
- 番組表が表示されます。通常番組表が表示されます。（「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」18をご覧ください）
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSを押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、クイックメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」で選びます。
- 番組表を消すときは、終了を押します。

2 現在放送中の番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ

- 選んだ番組の番組説明を見るには、番組説明を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀·▶または|≪|·|≫|を押します。

3 決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。40の手順3をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

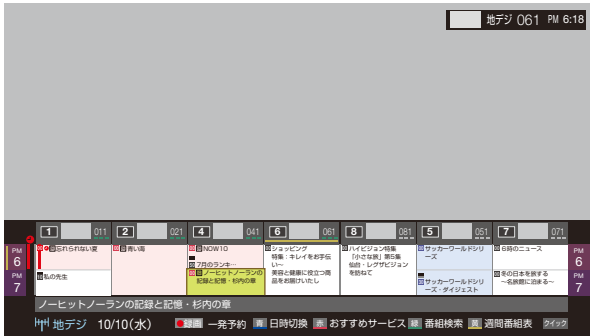
［番組表画面：7チャンネル表示の例］

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」19の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」（準備編46）で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- 「おすすめサービス」を利用している場合は、番組表のおすすめ番組にアイコンが表示されます。27
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

見たい番組を探す つづき

番組を見ながら他の番組を探す

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

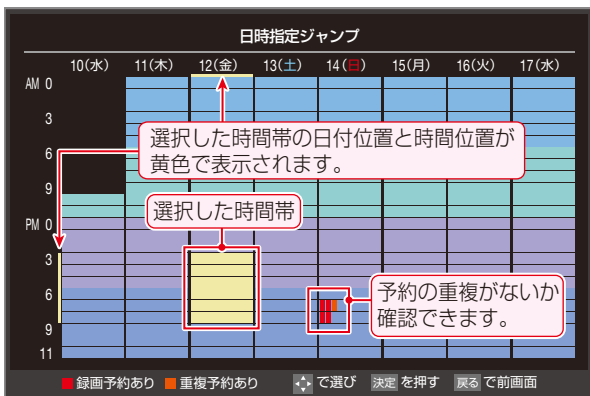
1 ミニ番組表（ふたの中）を押す
- ミニ番組表が表示されます。
- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。

番組表を便利に使う

- カラーボタンや番組表のクイックメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。（ミニ番組表では一部の機能を使用できません）

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 青（日時切換）を押す

2 ▲・▼・◀・▶で日時を選び、決定を押す

- 選んだ時間帯の番組表が表示されます。

※ この画面で予約の重複が確認できます。3番組以上の重複があるときは、予約の確認や取消しをしてください。48

「おすすめサービス」を起動する

- 「ネットワークサービス利用設定」（準備編78）で「利用する」に設定している場合、「おすすめサービス」を利用することができます。

1 赤（おすすめサービス）を押す
- 「おすすめサービス」の使用方法については、26 をご覧ください。

週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀・▶で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄（週間番組表）を押す

［通常番組表］

黄 を押すたびに切り換わります

［週間番組表］

- |≪|・|≫|で他のチャンネルの週間番組表に切り換えることができます。
- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」19 に切り換えることはできません。

■ TS（Transport Stream: トランスポートストリーム）
多重信号形式の一つで、デジタル放送の多重化信号として採用されています。

■ （放送の）ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

- 番組表の操作ガイドに表示される緑（番組検索）については、「条件を絞りこんで番組を探す」22 をご覧ください。

番組表を更新する

● 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲·▼で「番組情報の取得」を選んで 決定 を押す**

番組情報の取得中に表示されます。

※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。
※ 録画中は番組情報の取得ができません。
◇ 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
◇ BSデジタル放送の場合は番組表全体が更新されます。将来、放送の運用が変更された場合は、選択中の番組を含むTS（トランスポートストリーム）の番組だけが更新されます。
◇ 110度CSデジタル放送の場合は、選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に クイック を押し、クイックメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

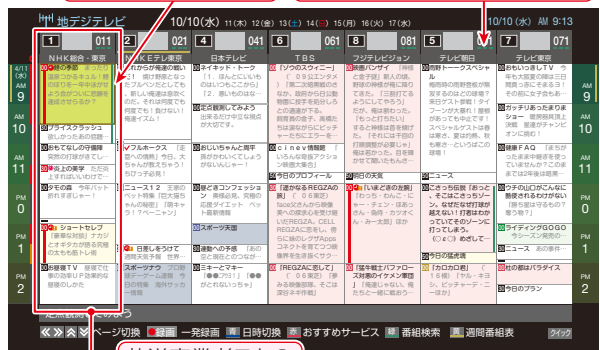
● BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送のみ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換えができます。

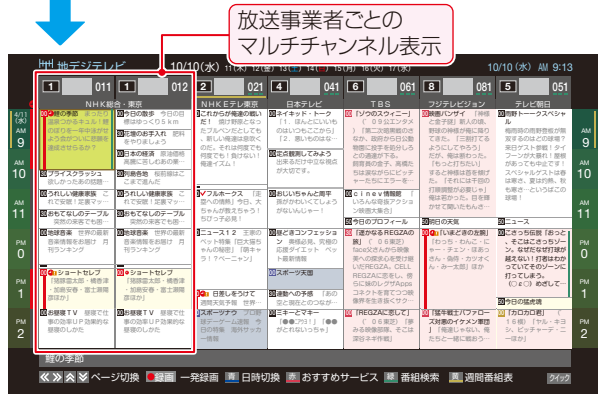
1 **切り換える放送局の番組をどれか選び、クイック を押す**

2 **▲·▼で「1チャンネル表示」（または「マルチ表示」）を選び、決定 を押す**

● クイックメニューには現在の番組表の表示とは逆のモード（「マルチ表示」、「1チャンネル表示」のどちらか）が表示されています。
● 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

別の番組がある場合、緑の縦線を表示

マルチチャンネルで放送できるチャンネルに緑の破線を表示

放送事業者ごとの1チャンネル表示

［1チャンネル表示］

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示

［マルチ表示］

● 「マルチ表示」での番組予約について、41☞ をご覧ください。

文字サイズを大きくする

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲·▼で「文字サイズ変更」を選んで 決定 を押す**

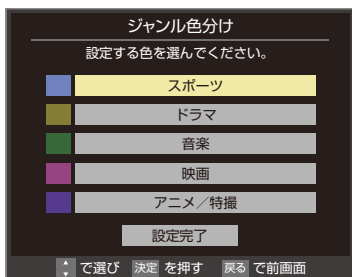
2 **希望の文字サイズを▲·▼で選び、決定 を押す**

見たい番組を探す つづき

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。
- 各放送メディアに共通の設定になります。

1 **クイック を押し、▲･▼で「ジャンル色分け」を選んで 決定 を押す**

2 **設定する色を▲･▼で選び、決定 を押す**

3 **▲･▼･◀･▶でジャンルを選び、決定 を押す**

- サブジャンルから指定することもできます。
- 決定 を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

4 **▲･▼で「設定完了」を選び、決定 を押す**

- ジャンルアイコン一覧

ニュース／報道	アニメ／特撮
スポーツ	ドキュメンタリー／教養
情報／ワイドショー	劇場／公演
ドラマ	趣味／教育
音楽	福祉
バラエティ	その他
映画	

用語

■ **ジャンル**
スポーツ、映画、音楽などのような、番組の分野のことです。

■ **放送メディア**
デジタル放送の媒体（テレビ放送、データ放送、ラジオ放送）をさします。

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 **クイック を押し、▲･▼で「番組記号一覧」を選び、決定 を押す**

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定 を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 **クイック を押し、▲･▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数設定」の順に進む**

2 **▲･▼で「7チャンネル表示」、「6チャンネル表示」のどちらかを選び、決定 を押す**

表示時間数を設定する

- 番組表に表示させる時間数を切り換えることができます。

1 **クイック を押し、▲･▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「表示時間数設定」の順に進む**

2 **▲･▼で「6時間表示」、「4時間表示」のどちらかを選び、決定 を押す**

チャンネルの並び順を設定する

● 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 クイック を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「チャンネル並び順設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **通常**…………………………「地上デジタル放送の放送局一覧表」(準備編 95)に記載されている番組表表示の並び順になります。
- **チャンネルボタン優先**…ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示/非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 クイック を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示設定」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表での放送局の表示位置を設定します。

1 クイック を押し、▲・▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **視聴チャンネル中央表示**…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- **チャンネル順優先表示**…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

「今すぐニュース」の番組を登録する

● 「今すぐニュース」 53 の機能で自動録画する番組を登録することができます。

※ 「日時指定予約」 44 と同じ動作になります。番組が変更された場合は、変更された番組が録画されます。

1 登録するニュース番組を選択して クイック を押す

2 ▲・▼で「今すぐニュース番組登録」を選んで 決定 を押す

3 必要に応じて、▲・▼で録画日を指定して 決定 を押す

● 「毎日」/「月～土」/「月～金」/「月～木」/「毎週(日)」～「毎週(土)」などの指定ができます。

4 登録された内容を確認し、終了 を押す

● 登録された番組の取消しや、自動録画の曜日指定などをする場合は、「録画するニュース番組を登録する」(準備編 53)の手順で操作してください。

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア(ラジオ、テレビ、独立データ)を選びます。

● 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

● 「チャンネルスキップ設定」(準備編 46)で「受信」に設定したチャンネルがない放送メディアに切り換えることはできません。

1 クイック を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで 決定 を押す

2 ▲・▼で放送メディアを選び、決定 を押す

● 選択したメディアの番組表になります。

条件を絞りこんで番組を探す

● 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

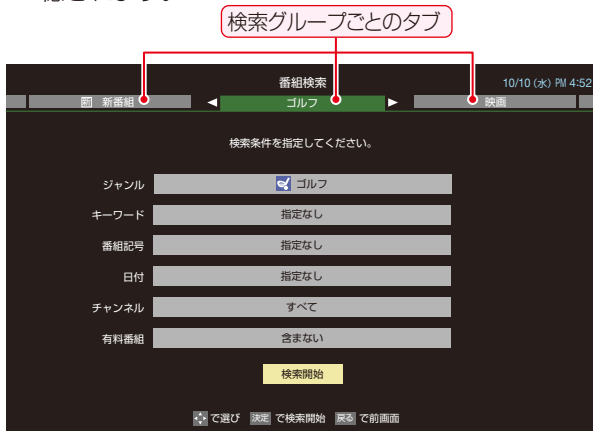
1 番組表 を押す

● 番組表が表示されます。

2 緑(番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。

2 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」は検索グループごとに記憶されます。

3 検索条件を指定する

● 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「ジャンル」を選び、決定を押す

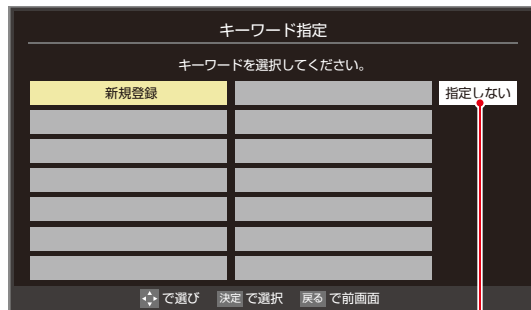
❷ 指定するジャンルを▲·▼·◀·▶で一つ選び、決定を押す

● サブジャンルから指定することもできます。

「キーワード」を指定するとき

❶ ▲·▼で「キーワード」を選び、決定を押す

❷ 指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● お買い上げ時は登録されていません。

■新しいキーワードを登録する場合

① ▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、決定を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、決定を押す

● 文字入力のしかたは、「文字を入力する」25☞をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、青を押す

② キーワードを編集し、決定を押す

■キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、赤を押す

② ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定するとき

❶ ▲·▼で「番組記号」を選び、決定を押す

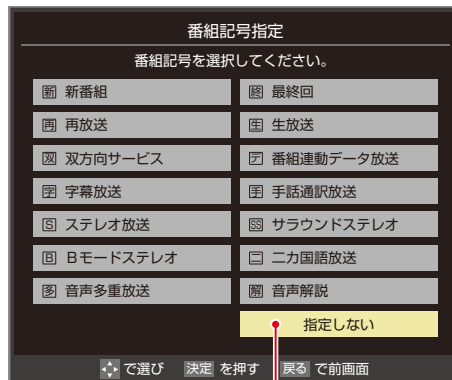
❷ 指定する番組記号を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

用語

■ジャンル
スポーツ、映画、音楽などのような、番組の分野のことです。

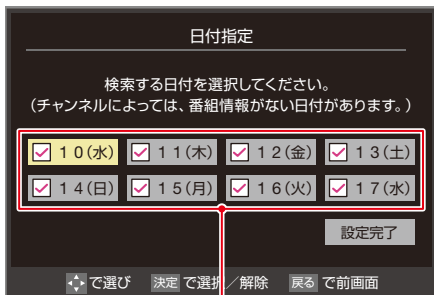
■キーワード
情報検索で、情報を引き出すための手がかりとなる語のことです。

お知らせ

● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
● 「チャンネルスキップ設定」(準備編46☞)で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

「日付」を指定するとき

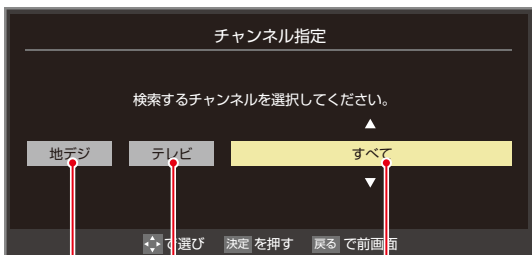
❶ ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

❷ 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑（指定する）と□（指定しない）が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

❸ 指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**………すべて／ BS ／ CS ／地デジ
- **放送メディア**……すべて／テレビ／ラジオ（BS、CSのみ）／データ
- **チャンネル**………指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

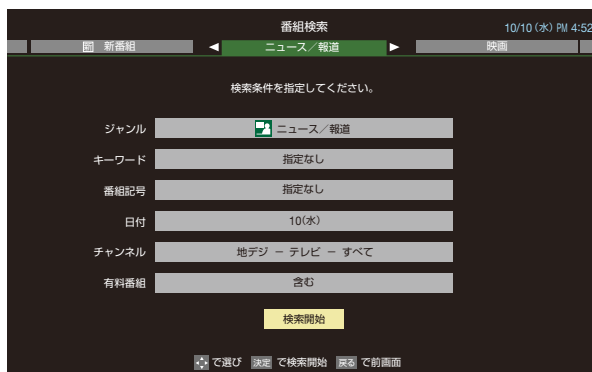
「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。

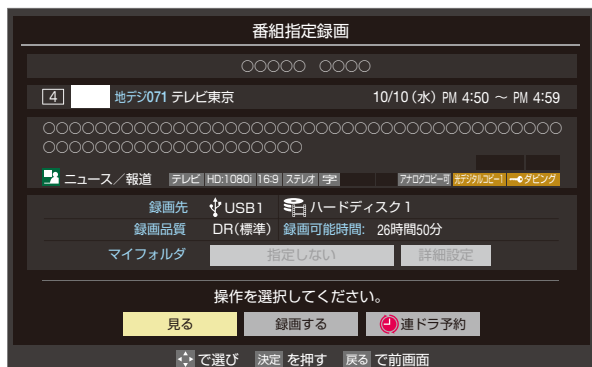
❶ ▲·▼で「有料番組」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、決定を押す

4 ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

- 選択中のタブの検索グループに、手順**3**で指定した検索条件が上書きで保存されます。

5 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。40 の手順**3**をご覧ください。

6 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

「もっとTV」で番組を楽しむ

- 「もっとTV」とは、各キー放送局(NHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビ)による「もっと」手軽にコンテンツが楽しめる、放送局公式のビデオ・オン・デマンド(VOD)サービスです。(一部を除いてコンテンツは有料です)
- いろいろなジャンルのコンテンツが視聴できます。
- 「もっとTV」について詳しくはホームページ(http://www.mottotv.jp/)をご覧ください。
- 「もっとTV」は株式会社電通によって運営されているVODサービスです。

※「もっとTV」については、2012年10月現在の情報です。内容やサービスは、予告なく変更や終了する場合があります。
※ 回線の速度によっては、利用できないサービスがあります。

「もっとTV」の利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定(準備編 72 ～ 79)が必要です。
- はじめて「もっとTV」を利用するときに、認証コードが発行され、任意のパスワードを設定します。視聴する際には、発行された認証コードと設定したパスワードの入力が必要になります。

「もっとTV」を起動する

1 **もっとTV(ふたの中)を押す**

- しばらくすると「もっとTV」の画面が表示されます。(ページの表示内容は、サービス提供者によって変更される場合があります)

※ 回線の状態によって時間がかかることがあります。

2 **見たいコンテンツを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す**

- 視聴確認画面や購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作します。
- テレビのリモコンで、早送り・早戻し・一時停止などの操作をすることができます。

3 **「もっとTV」を終了するには、終了を押す**

- 確認のメッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選んで、決定を押します。

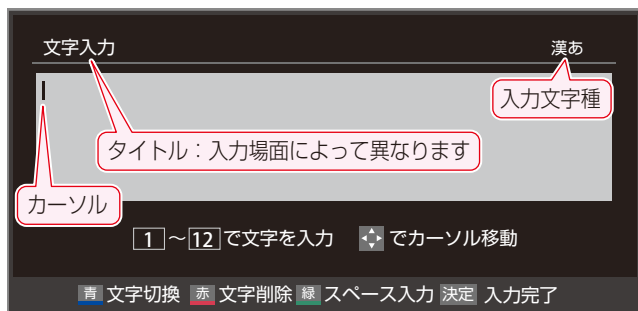
「気になる！」機能について

- 気になる! を押すと、番組をより便利に楽しくお使いいただけるクラウドサービスが利用できます。使いかた(操作方法など)については、画面に表示される「クラウド操作ガイド」やホームページ(http://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

「気になる！」機能の利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定(準備編 72 ～ 79)が必要です。
- 「ネットワークサービス利用設定」の設定(準備編 78)が必要です。

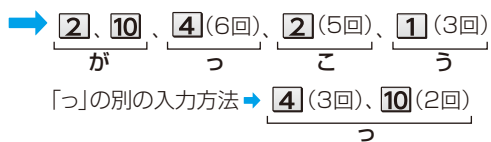
文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。

1 1～12で文字を入力する

● 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

➡ 2、10（が）、4（6回）（っ）、2（5回）（こ）、1（3回）（う）

「っ」の別の入力方法➡ 4（3回）、10（2回）（っ）

● 文字に続けて10を押せば、濁点（゛）や半濁点（゜）の入力および小文字変換ができます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい ➡ 1（あ）、▶、1（2回）（い）

● 入力文字種を変えるときは、青（文字切換）を押します。

● 文字を挿入するには、挿入する場所を▲･▼･◀･▶で選んで入力します。

文字を削除するには

● 1文字を削除するには、赤を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。

● 文字をまとめて削除するには、赤を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

●漢字に変換しないときは、決定を押す

●漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定を押す

• 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀･▶で変え、▲･▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、決定を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字切換（入力文字種の切り換え）

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

● 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	a→b→c→A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー	※1	＊
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→＠
半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ~ → @

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

● 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景／未確定の文字：白色背景／漢字変換候補選択中の文字：灰色背景／確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に戻るを押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

「おすすめサービス」で番組を探す

- 「おすすめサービス」は、当社ハイビジョンテレビやレコーダーなどで番組情報サービスを利用しているユーザーの録画・予約履歴情報をサーバーで収集し、サーバー側で各種ランキング情報を集計・生成して、機器ごとのおすすめ番組データを配信するサービスです。サーバーから配信されたおすすめ番組のリストなどから番組を選んで視聴したり、録画や予約をしたりすることができます。
- 「おすすめサービス」のリストや番組表に表示されるおすすめ番組は、当社の機器で本サービスを利用しているユーザーの録画・予約の人気が上位のものです。番組視聴率に基づくものではありません。
- 「おすすめサービス」の対象の放送は地上デジタル放送とBSデジタル放送です。110度CSデジタル放送や地デジ難視対策衛星放送は対象外です。

「おすすめサービス」の利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定（準備編 72～79）が必要です。
- おすすめサービスは、「ネットワークサービスを利用するための設定をする」（準備編 78）の「ネットワークサービス利用設定」で「利用する」に設定すると、利用できるようになります。
- 必要に応じて「ジャンル設定」（準備編 85）をしてください。

「おすすめサービス」を起動する

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。

2 赤（おすすめサービス）を押す

- 「おすすめサービス」の画面が表示されます。

おすすめサービス　10/10（月）AM 9:10

« 地デジランキング » BSランキング | 特集 | おしらせ

スポーツ | ﾜｲﾄﾞｼｮｰ | ◀ 総合 ▶ | 音楽 | バラエティ

1/30　ランク順

順位	番組名	ch	放送
1位	ドラマチック「ドラフトスポンサーの意地」	6	地デジ061 10/10(水) PM 9:00
2位	猛虎奥様劇場「藤浪ちゃんは甲子園が似合うわ」	6	地デジ061 10/11(木) AM10:00
3位	シリーズ投手遺産１００「ラジコンおじさん」	1	地デジ011 10/10(水) PM 9:00
4位	いけめんも一村さん「謎の生物、オーストラリアで発見？」	4	地デジ041 10/11(木) PM 7:00
5位	金曜劇場「シアトルのパピヨン、帰福なるか」	6	地デジ061 10/12(金) PM 9:00
6位	ハッピー継投　最終話「筋肉の日に生まれて」	5	地デジ051 10/13(土) PM 9:00
7位	ドラマ継投模様「ピッチャー増井！そして新垣！」	4	地デジ041 10/15(月) PM 8:00
8位	やるきよし！「ゆるきゃらより愛をこめて」	8	地デジ081 10/14(日) PM 1:00
9位	火曜裏ローテショー「ご存じ裏三本柱」	7	地デジ071 10/16(火) PM 9:00
10位	やる温泉カ○バラ牧場「DH今村だキュル！」	8	地デジ081 10/13(土) AM10:00

で選び　決定 を押す　«»リスト切換　赤 並べ替え

- 「ネットワークサービス利用設定」が「利用しない」に設定している状態で 赤 を押すと、「ネットワークサービス利用設定」の設定画面が表示されます。（準備編 78）
- 「おすすめサービス」を終了するときは、終了 を押します。

地デジやBSのランキングから番組を選ぶ

- 「地デジランキング」や「BSランキング」のリスト画面からお好みの番組を選んで視聴したり、予約したりできます。

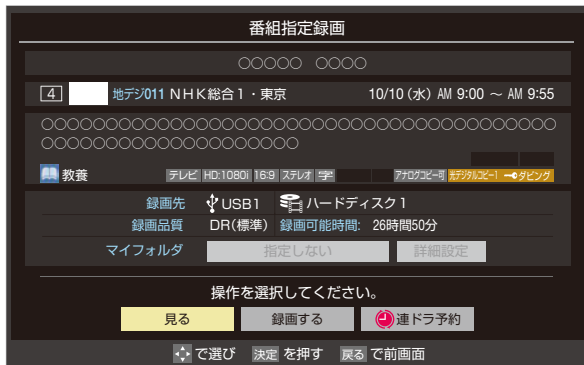
1 «・» で「地デジランキング」または「BSランキング」のタブを選ぶ

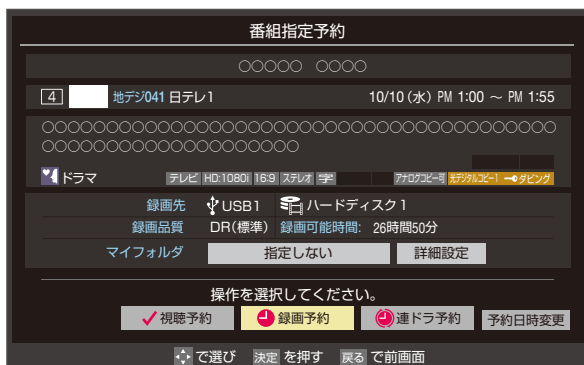
2 ◀·▶でお好みのジャンルのタブを選ぶ

- 「おすすめサービス設定」の「ジャンル設定」で設定したジャンルのタブが表示されるようになっています。

3 ▲·▼でお好みの番組を選び、決定 を押す

- 放送中の番組を選択した場合は「番組指定録画」画面が、放送予定の番組を選択した場合は「番組指定予約」画面が表示されます。（予約済番組を選択した場合は、「予約内容確認/取り消し」画面が表示されます）

・放送中の番組を選択したとき

- 番組を視聴する場合は◀·▶で「見る」を選んで 決定 を押します。

・放送予定の番組を選択したとき

- 録画や予約をする場合は、40 の手順3をご覧ください。

「特集」から番組を選ぶ

- サーバーから提供される「特集」から番組を選ぶことができます。

1 **|≪|・|≫|で「特集」のタブを選ぶ**

- 「特集」の画面が表示されます。

2 **◀・▶でお好みの特集のタブを選ぶ**

- 説明文がページ内に表示しきれていないときは、[︽]・[︾]でページを切り換えます。
- 関連番組は表示されない場合もあります。

関連番組

3 **▲・▼でお好みの番組を選び、[決定]を押す**

- 以降の操作は、「地デジランキング」や「BSランキング」のリスト画面から番組を選んだ場合と同様です。

「特集」の情報が更新されたとき

- 「おすすめサービス」の「特集」の情報が更新された場合、本機の電源を「入」にしたときに、情報が更新されたことを知らせる表示が出ます。この表示はしばらくすると消えます。

番組を並べ替える

- この設定は「おすすめサービス」全体で共通になります。
- この設定は「おすすめサービス」を終了するまで継続され、次回起動時は「ランク順」に戻ります。

1 **[赤](並べ替え)を押す**

- 並べ替えメニューが表示されます。

2 **▲・▼で以下から選び、[決定]を押す**

- **ランク順(特集番組リスト順)**………
  サーバーから配信されたランク順に並びます。
- **日付順**………
  放送開始日時が早い順に並びます。

「おしらせ」を見る

- サービス運用に関するお知らせがサーバーから配信されることがあります。

1 **|≪|・|≫|で「おしらせ」のタブを選ぶ**

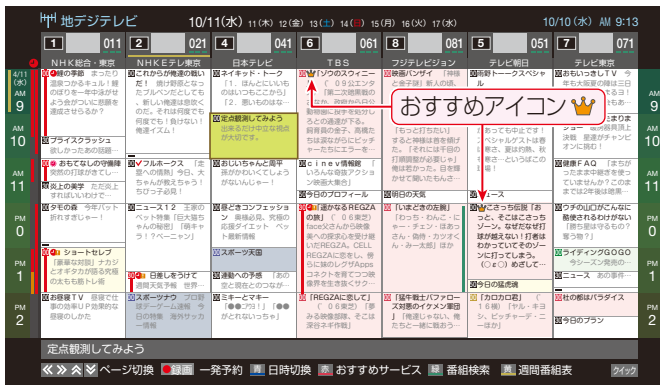
- 「おしらせ」の画面が表示されます。

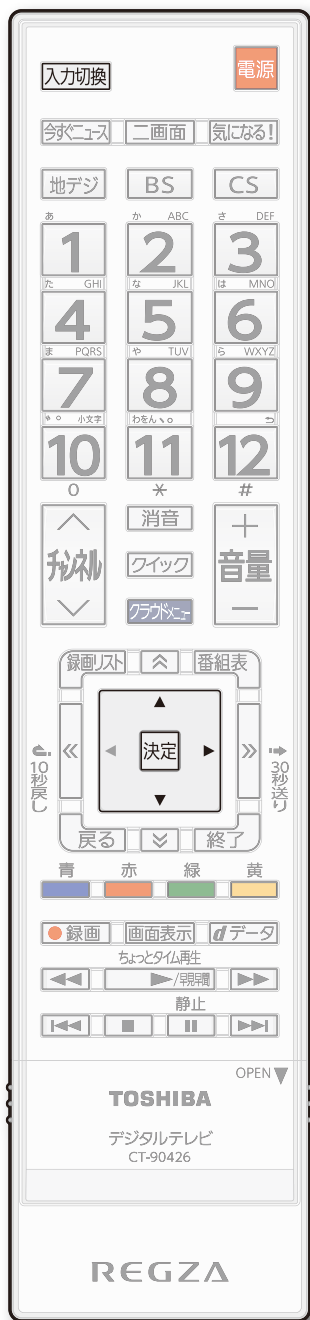
2 **見たいお知らせを◀・▶で選ぶ**

- 説明文がページ内に表示しきれていない場合は、▲・▼を操作します。

番組表でおすすめ番組を探す

- 「おすすめサービス」を利用すると、番組表におすすめアイコンが表示されるようになります。

※ 番組表表示とリスト表示でおすすめ番組が異なる場合があります。

外部入力の画面に切り換える

- 本機の外部入力端子（HDMI入力1～3、ビデオ入力）に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」（準備編 65☞）の章をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

- 入力切換 を押すと次の入力が選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順3の操作をします。

例

お買い上げ時の設定では、機器が接続されていない入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。（「外部入力自動スキップ」（準備編 67☞）の設定で変更することができます）

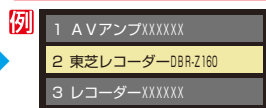
3 入力切換 を繰り返し押すか、または▲・▼を押して入力を選ぶ

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

→放送→HDMI1→HDMI2→HDMI3→ビデオ

  - ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。
  - お買い上げ時の設定では、機器が接続されていない入力はスキップされます。
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動機器は、入力一覧画面に REGZA LINK ▶ が表示されます。
  - REGZA LINK ▶ が表示された機器を選んで▶を押すと、機器の形名などが確認できます。
  - HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。使用する機器を以下の手順で選択できます。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」87☞ を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。
- 「3D映像を検出しました。2D表示に切り換えますか？」の確認画面が表示されたときの操作については、「2D表示モードを切り換える」36☞ をご覧ください。

※ 3Dコンテンツの2D表示中は映像の遅延が大きくなり、ゲームに適さないことがあります。

HDMI連動機器を選んだとき

- クイックメニューの「機器操作」を選んで、機器操作メニューを表示させます。

❶ クイック を押す

❷ ▲・▼で「機器操作」を選び、決定 を押す

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューについては、「本機のリモコンで対応機器を操作する」66☞ をご覧ください。

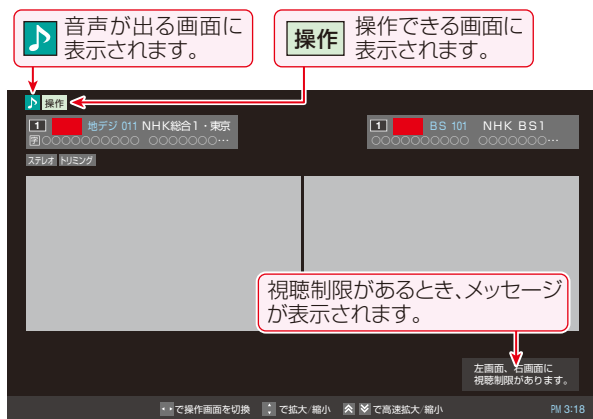
- 本体の 機能切換 と 音量 でも、「入力切換」ができます。14☞
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」（準備編 67☞）をご覧ください。

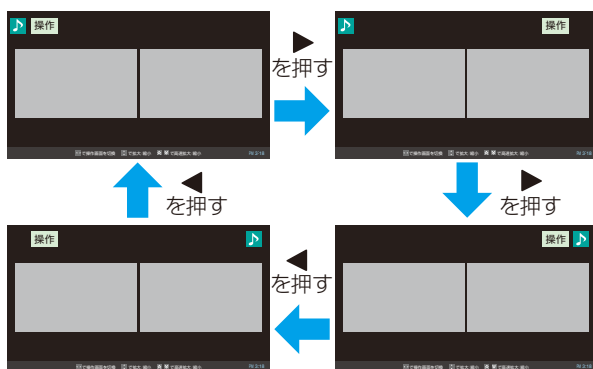
二画面で楽しむ

- テレビ画面に二つの映像を映して楽しむことができます。

※ USBハードディスクへの録画中は二画面表示にできません。

1 二画面を押す

- 二画面表示になります。

2 操作したい画面を◀·▶で選ぶ

- ◀·▶を押すと、操作できる画面や音声が出る画面が以下のように切り換わります。

3 チャンネルや入力を選ぶ

- 左画面と右画面に映せる画面の組み合わせは下表のとおりです。

左画面	右画面
放送	放送
放送	外部入力
外部入力	放送
録画番組再生	放送、外部入力

外部入力：HDMI 1～3、ビデオ

4 二画面を終了するには、二画面、戻る、終了のどれかを押す

- ♪が表示されていたほうの一画面表示になります。

放送画面のチャンネルを切り換えるとき

- 「リモコンで番組を選ぶ」13の操作をします。
- 二画面表示中にBSデジタル放送の選局ガイドを表示させたときは、左右画面の移動はできません。

HDMI入力やビデオ入力に切り換えるとき

- 前ページの「外部入力の画面に切り換える」の操作をします。ただし、「HDMI連動機器を操作する」の操作はできません。（HDMI連動対応オーディオ機器の音量操作などはできます）

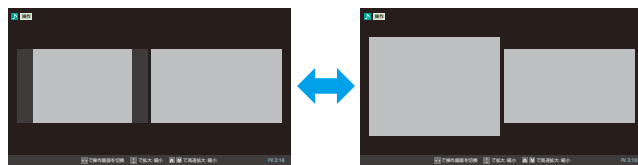
左画面で録画番組再生をするとき

- 一画面表示でUSBハードディスクの録画番組再生50を開始してから二画面を押します。
  - 録画番組再生の対象機器はUSBハードディスクのみです。
  - 再生中に早送り再生などのリモコン操作ができます。51
  - 再生が終了した場合や、■を押した場合は一画面表示になります。
- 一画面表示で「今すぐニュース」53を再生しているときに二画面を押して、左画面で「今すぐニュース」の再生をすることもできます。

番組情報などを見るとき(放送/再生)

- 画面表示で番組情報の表示/非表示の切換えができます。
- 番組説明（ふたの中）を押すと、操作が表示されている画面の番組説明が表示されます。

画面の大きさを変えるとき

- 左画面を拡大することができます。（再生画面の一時停止中は拡大できません）
  - ▲·▼を押すと、画面の大きさが徐々に変わります。
  - ⌃·⌄を押すと、画面の大きさが大と小の2段階で変わります。
  - 左画面の拡大につれて右画面は縮小されます。
- 左右が黒く表示されている16:9の映像の場合、クイックを押して▲·▼と決定で「画面サイズ切換」⇨「トリミングオン」の順に進むと、映像部分が拡大表示されます。（同じ操作で「トリミングオフ」にすると元の表示に戻ります）

視聴制限があるとき

- 視聴制限がある場合は画面右下にメッセージが表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には、視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」（準備編81）をご覧ください。

- 二画面のときはラジオ/データ放送を視聴できません。ラジオ放送やデータ放送を視聴しているときに二画面表示にすると、最後に選んでいたテレビ放送チャンネルの映像が表示されます。
- 「インターネット」80を使用中に二画面にすることができます。
- 二画面表示のときにHDMI連動機器からのワンタッチプレイはできません。
- 二画面表示のときにUSBハードディスクへの録画や視聴予約の番組が始まると、一画面表示に戻ります。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 クイック を押し、▲·▼で「画面サイズ切換」を選んで 決定 を押す

2 お好みの画面サイズを▲·▼で選び、決定 を押す

● 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
● 画面見えかたについては、次ページをご覧ください。
● 信号フォーマットについては、「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」123 をご覧ください。
※ 3Dコンテンツを2D表示している場合、画面サイズは「フル」だけになります。

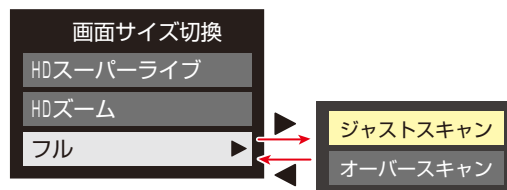
▶が表示されるとき

● 決定 を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

❶ ▶を押す

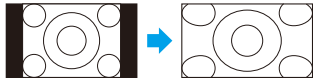
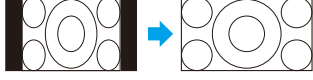
❷ お好みのモードを▲·▼で選ぶ

● 右記の選択ができます。

● 画面サイズが「フル」、「ノーマル」または「ゲームフル」、「ゲームノーマル」のときは、「ジャストスキャン」と「オーバースキャン」の切換えができます。

• **ジャストスキャン**…… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
• **オーバースキャン**…… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

● 画面サイズが「DVDファイン」の場合は、「ノーマル」と「フル」の切換えができます。
• **ノーマル**……………… 映像が4:3のときに選択します。
• **フル**…………………… 映像が16:9のときに選択します。

放送番組やビデオ入力端子からの映像を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像(480p、480i)、映像入力端子	スーパーライブ、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル
デジタル放送の16：9の映像	HDスーパーライブ、HDズーム、フル • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	スーパーライブ、ズーム、映画字幕、DVDファイン、フル、ノーマル、Dot By Dot
VGA、SVGA、XGA、SXGA	スーパーライブ、ズーム、フル、ノーマル、Dot By Dot
720p、1080i、1080p、WXGA	HD スーパーライブ、HDズーム、フル、ノーマル、Dot By Dot

映像メニューを「ゲーム」にしているとき

入力端子	信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
映像入力端子	480i	ゲームフル、ゲームノーマル
HDMI入力端子	1080p、1080i、720p、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	ゲームフル、ゲームノーマル、Dot By Dot

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説明
4:3	スーパーライブ	※1	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 映画を観に行きませんか? → 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	HDスーパーライブ※2	※3	左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	HDズーム※2	※3	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
4:3 16:9	DVDファイン	、	DVD映像を鮮明な画質で拡大表示します。（4:3映像用「ノーマル」と16:9映像用「フル」の表示切換ができます）
ゲーム	ゲームフル	※4	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示するモードです。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。（図は4:3の例です）
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。

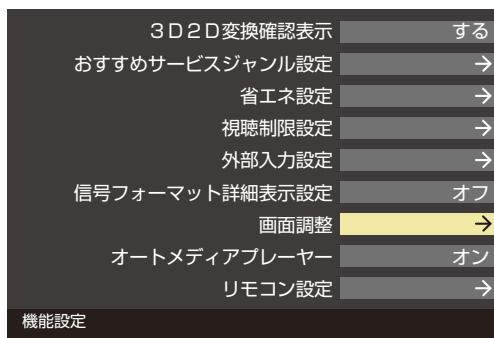
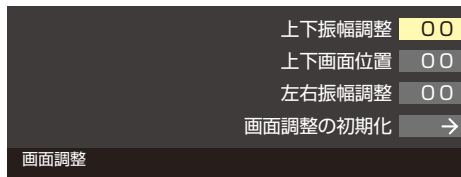
- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ワイド映像ではない従来（通常）の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」（16：9映像の場合は「フル」）でご覧になれます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

便利な機能を使う つづき

画面の位置や幅を調整する

- 放送/端子、信号、画面サイズの組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。

※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。
※ パソコンを接続したときに、画面に表示される画面情報とパソコン側で設定した情報が一致しない場合があります。

1 設定(ふたの中)を押し、▲·▼と決定で「機能設定」⇨「画面調整」の順に進む

2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

- **上下振幅調整**………映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**………映像の表示位置を上下方向に調整します。
- **左右振幅調整**………映像の横のサイズを調整します。
- **画面調整の初期化**…お買い上げ時の調整状態に戻ります。手順*3*で調整した値は初期化されます。

3 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定を押す

- 上下振幅調整と左右振幅調整は－03 ～＋03の範囲で調整できます。
- 上下画面位置は、視聴している映像の種類によって調整できる範囲が異なります。
- 調整画面では◀·▶を押さないと、数秒でメニュー画面に戻ります。

節電モードを切り換える

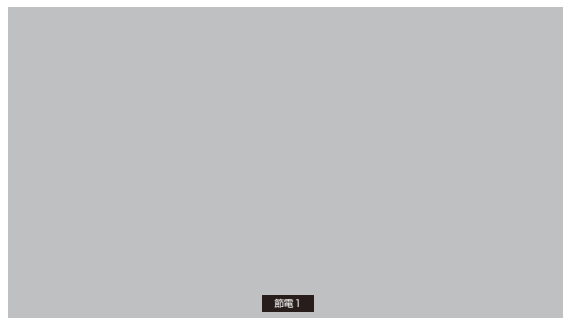
- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることでテレビの節電ができます。
- 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさに適した画質に自動調整されます。（「映像メニュー」87☞が「ライブプロ」、「映画プロ」、「PC」、「写真」の場合、画質は変わりません）
- 「省エネ設定」（準備編86☞）の「節電モード」でも節電モードを切り換えることができます。

1 節電(ふたの中)を押す

- 節電を押すたびに節電モードが以下のように切り換わります。

→ 標準 → 節電1 → 節電2 →

- **標準**……標準の明るさです。
- **節電1**…画面の明るさをおさえて、節電します。
- **節電2**…画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

- 切換えの際、画面下部に節電モードが表示されます。

- 「節電1」または「節電2」に切り換えている場合は、画面表示を押して節電モードを確認することができます。15☞（「標準」のときは表示されません）

他の映像・音声に切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組情報画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

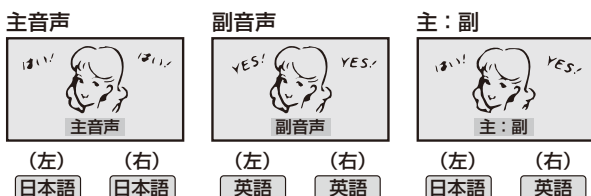
1 音声切換（ふたの中）を押す

- 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主：副 →

（例 主音声が日本語、副音声が英語の場合）

主音声 副音声 主：副

（左）日本語 （右）日本語　（左）英語 （右）英語　（左）日本語 （右）英語

- 右記クイックメニューの「音多切換」でも音声の切換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組情報画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換（ふたの中）を押す

- 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 音声１ → 音声2 → 音声３… →

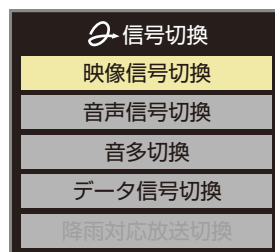
- 右記クイックメニューの「音声信号切換」でも音声の切換えができます。

映像、音声、データを切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲･▼で選び、決定 を押す

- 視聴中の番組で切換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

3 視聴したい映像、音声、データを▲･▼で選び、決定 を押す

- 「信号切換」のクイックメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、左記の音声切換で選択する機能と同じものです。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、右記の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
>
> コード：E201

1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲･▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

お知らせ

■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
- 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。

■ 降雨対応放送について

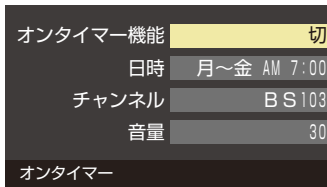
- 通常の放送よりも画質が低下します。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
- 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

便利な機能を使う つづき

テレビを目覚ましに使う

● 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「タイマー機能」⇨「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する

オンタイマー機能

● オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲·▼で「オンタイマー機能」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「入」を選び、決定を押す

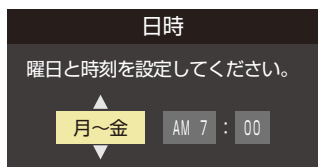
● オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で「切」を選びます。

日時

● オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲·▼で「日時」を選び、決定を押す

❷ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を選ぶ

● 曜日は「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

チャンネル

● オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**……地デジ／BS／CS
- **チャンネル**……設定した放送の種類に該当するチャンネル

❸ 設定が終わったら、決定を押す

音量

● オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶ ▲·▼で「音量」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼でお好みの音量を選び、決定を押す

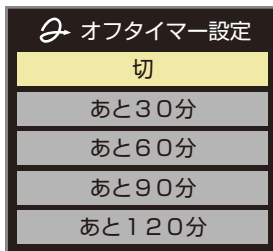
● 黄を押すと、選んだ音量を聴くことができます。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

自動で電源が切れるようにする

● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「タイマー機能」⇨「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲·▼で選び、決定を押す

● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
● オフタイマーが設定されているときにクイックを押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
● オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「切」を選びます。

時計機能を使う

● 画面の右上に現在時刻を表示させることができます。

1 時計(ふたの中)を押す

● 画面の右上に現在時刻が表示されます。
● もう一度押すと小さく表示されます。さらにもう一度時計を押すと、時刻表示が消えます。

お知らせ

■ 「オンタイマー」について
● 本体の電源ボタンで電源を切ると「オンタイマー」が働きません。リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
● オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

■ 「オフタイマー」について
● 設定後に電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

■ 時計機能について
● 時刻を表示したまま電源を「待機」にしても、次に電源を「入」にしたときも、時刻は表示されたままになります。

ヘッドホーンで聴く

- ヘッドホーンで聴くときの音の出かたを設定します。
- お買い上げ時は「主画面モード」に設定されています。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「音声設定」⇨「ヘッドホーンモード」の順に進む

音声メニュー	おまかせ
お好み調整	→
バランス	中央
ドルビーＤＲＣ	オフ
オートボリューム	オフ
光デジタル音声出力	ＰＣＭ
デジタル音声出力タイミング	ＡＶアンプ
ヘッドホーンモード	主画面モード

音声設定（放送/再生）

2 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

ヘッドホーンモード

主画面モード
副画面モード
親切モード

ヘッドホーンのプラグを差し込むとスピーカーの音が消え、ヘッドホーンから音が出ます。
二画面表示のときは、主画面の音が出ます。

- 右記の表を参照し、設定してください。
- 「親切モード」にすれば、スピーカーの音が聞き取りにくい人がヘッドホーンで聴くことで、スピーカーの音量を大きくする必要がなくなります。
- 二画面表示 29 のときに「副画面モード」にすれば、副画面を音声付で楽しみたい人がヘッドホーンで聴くという使いかたができます。
- 一画面表示のときは、「副画面モード」と「親切モード」のどちらに設定しても、「親切モード」の動作になります。

一画面表示のとき

モード	動　作
主画面モード	• ヘッドホーンのプラグを差し込むとスピーカーの音が消え、ヘッドホーンから音が出ます。 • 音量は音量で調節します。
副画面モード	• スピーカーとヘッドホーンの両方から音が出ます。 • スピーカーの音量は音量で調節します。
親切モード	• ヘッドホーンの音量は「親切ヘッドホーン音量」で調節します。

二画面表示のとき

モード	動　作
主画面モード	• ヘッドホーンのプラグを差し込むとスピーカーの音が消え、ヘッドホーンから音が出ます。 • 主画面（♪が表示されているほうの画面）の音が出ます。 • 音量は音量で調節します。
副画面モード	• スピーカーから主画面（♪が表示されているほうの画面）の音が出ます。 • ヘッドホーンから副画面（♪が表示されていないほうの画面）の音が出ます。 • スピーカーの音量は音量で調節します。 • ヘッドホーンの音量は「副画面ヘッドホーン音量」で調節します。
親切モード	• スピーカーとヘッドホーンから主画面（♪が表示されているほうの画面）の音が出ます。 • スピーカーの音量は音量で調節します。 • ヘッドホーンの音量は「親切ヘッドホーン音量」で調節します。

ヘッドホーンの音量を調節する

- 「主画面モード」に設定しているときは、音量で調節します。
- 「親切モード」や「副画面モード」でヘッドホーンを使用しているときは、以下の手順で調節します。

❶ クイックを押し、▲·▼で「親切ヘッドホーン音量」または「副画面ヘッドホーン音量」を選んで決定を押す

※ ヘッドホーンのプラグを抜いていると、「親切ヘッドホーン音量」や「副画面ヘッドホーン音量」は選択できません。

❷ ◀·▶で音量を調節する

- 音量でも調節できます。

便利な機能を使う つづき

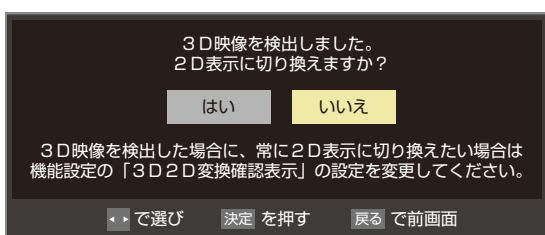
映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、応募番組の宛先などをメモしたりするときなどに便利です。

1 **［静止］を押す**

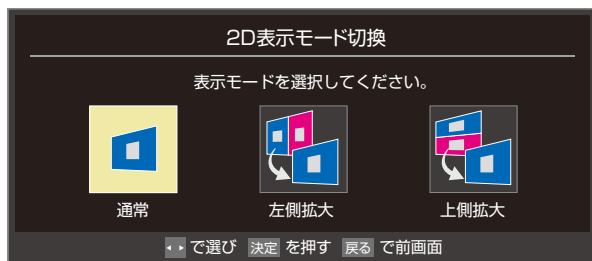
- 映像が静止します。
- 解除するときは、もう一度［静止］を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

2D表示モードを切り換える

- 本機が3Dコンテンツの映像を検出すると、2D映像に変換して表示するかどうかの確認画面が表示されます。

- 3Dコンテンツの映像を2D映像に変換して見る場合は、「はい」を選びます。
- 「3D2D変換確認表示」（準備編 87）を「しない」に設定している場合、確認画面は表示されずに2Dに変換した映像が自動的に表示されます。

- 3Dコンテンツの形式が検出できない場合、以下の操作で2D表示のモードを切り換えることができます。
- この設定は、選局、入力切換、電源「待機/切/入」などの操作をすると「通常」に戻ります。

1 **［クイック］を押し、▲·▼と［決定］で「その他の操作」⇨「2D表示モード切換」の順に進む**

2 **▲·▼で以下から選び、［決定］を押す**

- **通常**…………入力された映像がそのまま表示されます。
- **左側拡大**……左側の映像が拡大表示されます。
- **上側拡大**……上側の映像が拡大表示されます。

■ **映像の静止（静止画）について**

- ラジオ、データ放送では静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 録画中は静止画にできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

番組 ＼ 機器	USB ハードディスク、レグザリンク対応の東芝レコーダー ＊
デジタルテレビ放送番組	録画できます
独立データ放送番組、ラジオ放送番組	録画できません
外部入力からの映像・音声	録画できません
ホームネットワーク機器の映像・音声	録画できません
USB機器の映像・音声	録画できません
クラウドサービスの各ネットサービスで視聴している動画サービス	録画できません

＊ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- HDMI連動機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません。（本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません）
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕および連動データ放送などが録画できるかどうかは、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	接続・設定	録画前の準備
USBハードディスク(注)	準備編 49 ～ 54	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクの残量を確認します。55 • 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。50 ※ 残量不足や番組数超過（2000を超過）になりそうな場合は、不要な番組を削除します。54
レグザリンク対応の東芝レコーダー	接続：準備編 66 設定：準備編 71	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクのみです。記録メディアに直接録画することはできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録してからでないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、準備編の上記ページを参照し、登録してください。
- 本機で動作確認済のUSBハードディスクについては、「対応機器一覧」（準備編 101 ）の❶をご覧ください。

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	39
番組表で録画・予約をする	40
連続ドラマを予約する	42
番組を検索して録画・予約をする	43
日時を指定して予約をする	44
携帯電話やパソコンから録画予約をする	45
最新のニュースを録画する	53 、準備編 53

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は2000です。

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません。（「録画番組を修復する」51 の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

録画・予約機能について つづき

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能です。
- お買い上げ時には、ハードディスクの「自動削除設定」54が「する」に設定されています。
- 録画番組が自動的に削除されないようにする場合は、「自動削除設定」を「しない」に設定するか、または録画番組を保護します。録画前の設定で保護したり47、録画後に保護したり54することができます。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- ハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。

※「今すぐニュース」の番組を登録すると、録画できる時間は下表よりも少なくなります。

※「自動削除設定」が「する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画時間が下表の時間よりも少なくなることがあります。

例 500GBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
BS･110度CSデジタルハイビジョン放送番組(24Mbps)だけを録画する場合	約44時間
地上デジタルハイビジョン放送番組(17Mbps)だけを録画する場合	約62時間

- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのクイックメニューの「ハードディスク残量表示」55)は、BS･110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

長時間録画対応USBハードディスクについて

- 本機は別売の株式会社バッファロー社製の長時間録画機能対応USBハードディスク※[1]に対応しています。500GBのハードディスクの場合、録画品質がTR (長時間)※[2]の場合、約193時間※[3]の録画が可能になります。
- TR(長時間)はデジタル放送を圧縮して録画するため、画質を優先する場合はDR(標準)での録画をおすすめします。

※[1] 長時間録画ハードディスクについて詳しくは、株式会社バッファローのホームページ(buffalo.jp)でご確認ください。

※[2] 本書では、録画品質「TR (長時間)」での録画を「長時間録画」と表記します。

※[3] 本機のTR (長時間)で録画した録画時間の目安です。

※ 長時間録画で録画した番組は、ホームネットワーク上のDTCPIP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴できません。

※ 長時間録画で録画した番組は、ダビングできません。

2番組同時録画(W録)について

- 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
- BS･110度CSデジタル放送の2番組を同時に録画している場合は、BS･110度CSデジタル放送は録画しているチャンネルのみ選局・視聴できます。
- 長時間録画のW録や、長時間録画を含むW録はできません。
- 一つの有料番組でW録はできません。
  - 一つの有料番組に複数の予約が重複した場合、録画されるのは一つだけです。
  - 録画中の有料番組を視聴中に[●録画]を押しても録画(W録)は開始されません。

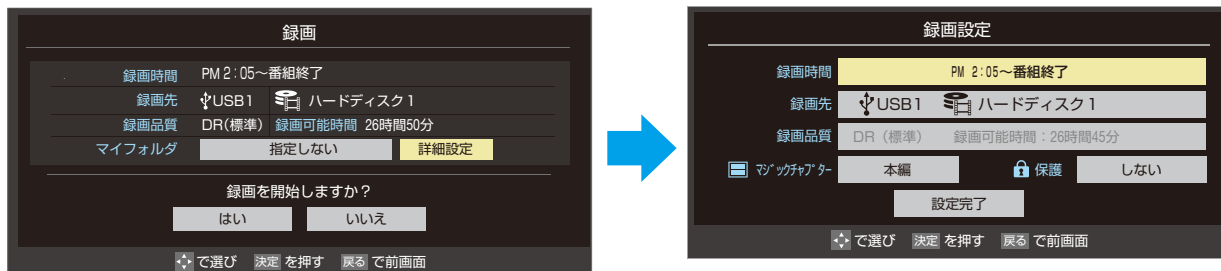
録画や予約があるときの電源プラグに関して

- **非常の場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。
  - [画面表示]を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認します。15
  - 予約リストを表示させて、電源プラグを抜いている間に実行される録画予約がないことを確認します。48

見ている番組を録画する

● 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
※ 通常録画用USBハードディスクに2番組同時録画中（W録中）、または長時間録画中はこの操作はできません。
※ すでに録画中のときは、長時間録画をすることはできません。
※ 長時間録画で録画した番組は、ダビングできません。

1 デジタル放送を見ているときに［●録画］を押す

2 録画設定を変更する場合は、▲·▼で「詳細設定」を選んで［決定］を押す

録画時間を変更する場合

● お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

❶ ▲·▼で「録画時間」を選び、［決定］を押す
❷ ▲·▼で「時間指定」を選び、◀·▶で時・分それぞれの欄に移動し、▲·▼で録画終了時刻を設定して［決定］を押す
❸ ▲·▼で「設定完了」を選び、［決定］を押す

録画先の機器を変更する場合

❶ ▲·▼で「録画先」を選び、［決定］を押す
❷ ▲·▼で録画機器を選び、［決定］を押す
❸ ▲·▼で「設定完了」を選び、［決定］を押す

その他の録画設定を変更する場合

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」47 をご覧ください。

3 ▲·▼·◀·▶で「はい」を選び、［決定］を押す

● 録画が開始されます。
● 外出する場合は、本機（テレビ）の電源を「待機」または「切」にします。（録画は継続されます）
※ 2番組の同時予約録画や、長時間録画の予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

● 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
● USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

1 録画中に［終了］または［■］を押す

● 2番組同時録画（W録）をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を▲·▼で選んで、［決定］を押します。

2 「録画中止」の画面で、◀·▶で「はい」を選んで［決定］を押す

番組表で録画・予約をする

番組表で簡単に予約する(一発予約)

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
- ミニ番組表 36 からも録画・録画予約ができます。

2 録画する番組を▲·▼·◀·▶で選び、●録画 を押す

- 現在選ばれている設定で録画予約が完了し、番組表の予約番組名の前にが表示されます。(放送中の番組の場合は●が表示され、録画が開始されます)
- USBハードディスクを複数台接続しているときは、「録画先」(準備編 52)で設定したUSBハードディスクに録画されます。

内容を確認して録画・予約する

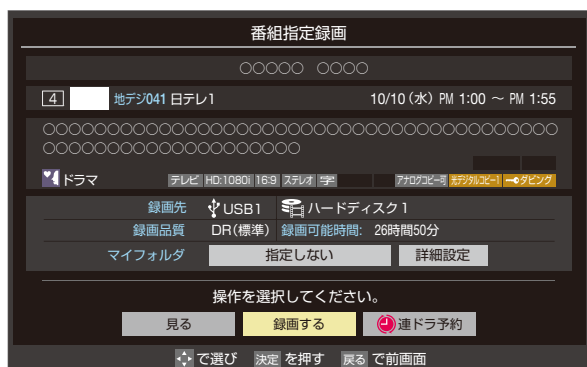
1 番組表 を押す

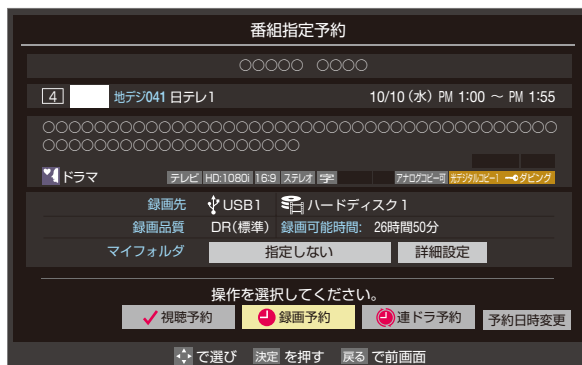
- 番組表が表示されます。

2 録画する番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

3 以下の操作で録画・予約をする

- 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」47 の操作をします。

現在放送中の番組を選んだ場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定 を押す
- 録画が開始されます。

これから放送される番組を選んだ場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定 を押す

- **視聴予約**
  指定した番組の視聴を予約します。(電源が「待機」や「切」)状態でも、予約した時間付近になると、自動的に電源が「入」になり、予約番組のチャンネルに切り換わります)
- **録画予約**
  指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約**
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。42
  ※ 録画先がレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「連ドラ予約」の代わりに「**毎予約**」が表示されます。

❷「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す

予約する日時を変更する場合

- 日時指定予約設定メニューへ移動します。

❶ ▲·▼·◀·▶で「予約日時変更」を選び、決定 を押す

❷ メッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

❸「日時を指定して予約をする」44 の手順**3**以降の操作をする

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。17(東芝レコーダーへの予約は表示されません)
- 予約の確認や取消しについては 48 を、予約の優先順位については 49 をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては受け付けない(録画しない/録画機能が働かない)場合があります。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

- 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約を取り消す番組を▲･▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
- ✓をつけた番組の予約が取り消されます。

❸ 赤を押して、取消しを実行する

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

- 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約を取り消す番組を▲･▼で選び、決定を押す

❸ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

- ダウンロード予約が取り消されます。
- 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- ダウンロードについては、115☞をご覧ください。

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」19☞に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

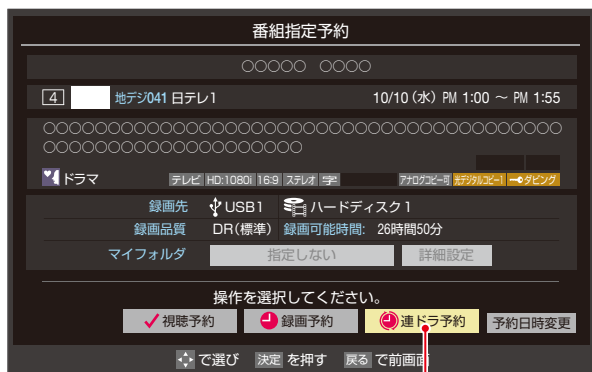
連続ドラマを予約する ～連ドラ予約～

● 連続ドラマなどのシリーズ番組や連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画先がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

番組表で連ドラ予約をする場合

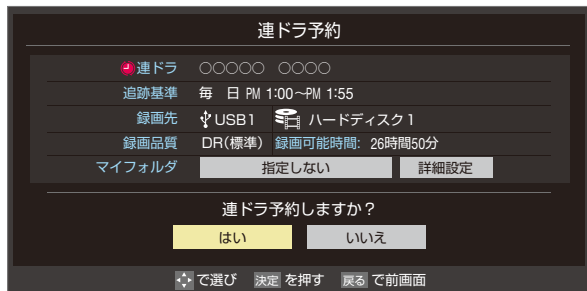
1 **番組表 を押す**
- 番組表が表示されます。

2 **連ドラ予約をする番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す**

3 **番組の録画先をUSBハードディスクに設定する**
- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」 47 の操作で、「録画先」を設定します。

4 **▲·▼·◀·▶で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す**

5 **「連ドラ予約」画面で内容を確認する**
- 番組名（連ドラ）や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」 47 の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 **▲·▼·◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す**

7 **「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す**

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

1 **クイック を押し、▲·▼で「連ドラ予約」を選んで 決定 を押す**

2 **左記手順5～7の操作をする**

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
  ※ 追跡基準（開始時刻）の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

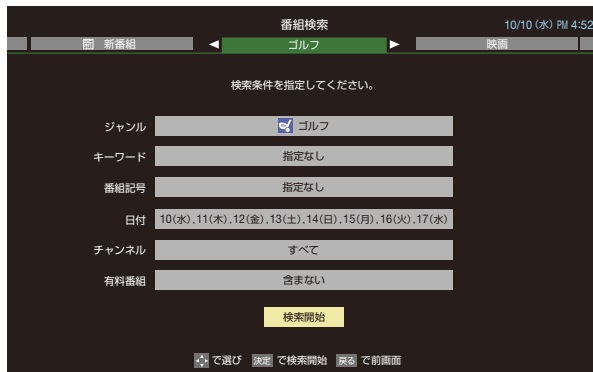
- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 映などの囲い文字は［映］などと表示されます。また、漢字の旧字などの特殊な文字は表示されない場合があります。
- 予約の確認や取消しについては 48 を、予約の優先順位については 49 をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

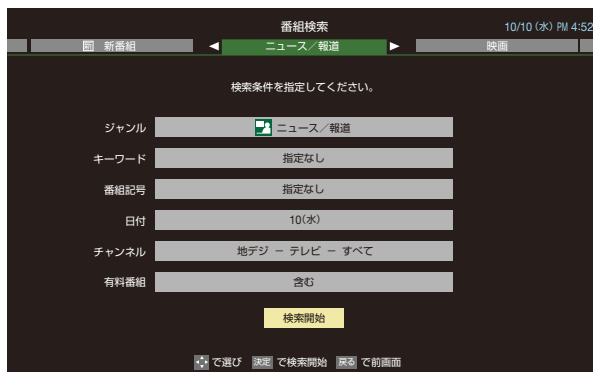
1 番組表 を押す

● 番組表が表示されます。

2 緑（番組検索）を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀･▶で選び、検索条件を指定する

● 操作方法は「条件を絞りこんで番組を探す」22 の手順3と同じです。

4 ▲･▼で「検索開始」を選び、決定を押す

5 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲･▼で選び、決定を押す

6 録画・予約をする

● 操作方法は、「内容を確認して録画・予約する」40 の手順3と同じです。

● 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

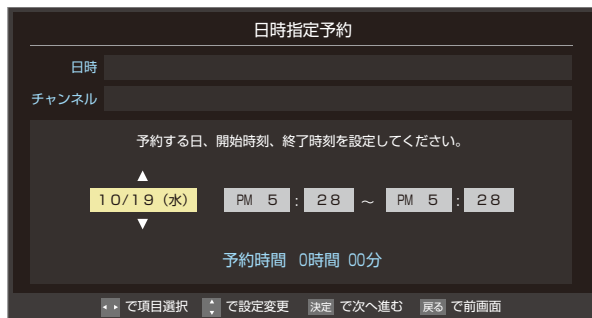
日時を指定して予約をする

1 クイックを押し、▲･▼で「予約リスト」を選んで決定を押す

● 予約リストが表示されます。

2 青を押す

● 日時指定予約画面が表示されます。

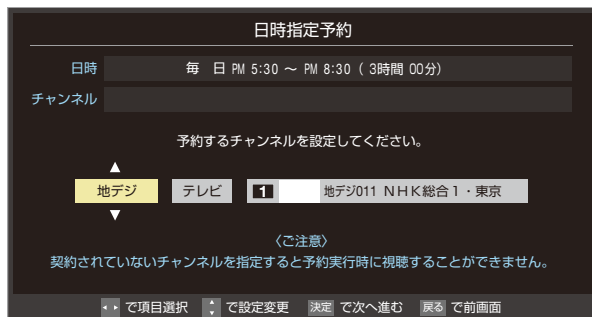
3 録画予約の日時を設定する

❶設定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で日時を設定する

● 6週間先まで指定できます。

● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。

● 設定できる時間は最大23時間59分です。

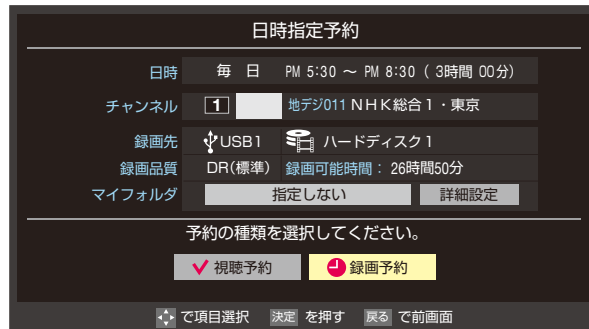
❷設定が終わったら、決定を押す

4 録画するチャンネルを設定する

❶設定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で内容を選ぶ

- 放送の種類………地デジ／BS／CS
- 放送メディア……テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- チャンネル………指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷設定が終わったら、決定を押す

5 録画設定を変更する場合は、47 の手順で操作をする

6 ▲･▼･◀･▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

メッセージなどが表示された場合

● 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」、「予約数がいっぱいです。」、「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」のメッセージ表示された場合の操作については、41 をご覧ください。

● 日時指定予約では放送時間連動の変更設定はできません。

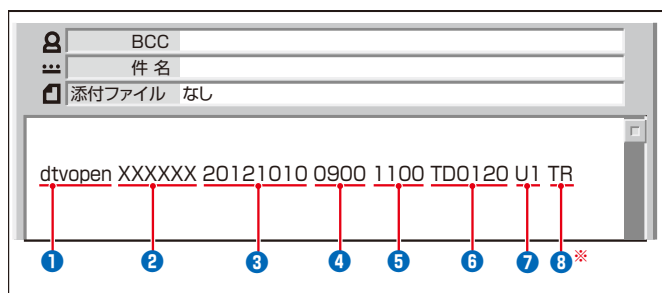
● 予約の確認や取消しについては48 を、予約の優先順位については49 をご覧ください。

携帯電話やパソコンから録画予約をする

- 外出先などから携帯電話やパソコンを使って、6週間先までの範囲で本機に録画予約をすることができます。
- あらかじめ、接続や設定が必要です。「インターネットに接続する」(準備編 72)の章および、「携帯電話やパソコンから録画予約できるように設定する」(準備編 55 ～ 56)をご覧ください。

Eメールを作成し、送信する

※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。ほかの形式のメールには対応していません。
- メールの宛先は「Eメール録画予約設定」の「基本設定」で登録した「メールアドレス」です。
- 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールだけです。
- 録画予約ができるのは、予約メール1通につき1件です。
- 件名は自由に入力できます。
  ❶～❼はすべて半角文字で入力してください。各項目の間には半角スペースを入れてください。

メール作成画面(例)

❶識別コード
- 「dtvopen」と入力します。(小文字)

❷パスワード
- 「Eメール録画予約設定」で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

❸録画日
- 西暦(4ケタ)月日(4ケタ)を入力します。
  (1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます)

❹録画開始時刻
- 00 ～ 23(時)に続けて00 ～ 59(分)を入力します。

❺録画終了時刻
- 00 ～ 23(時)に続けて00 ～ 59(分)を入力します。

❻録画チャンネル
- 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。

① **放送の種類を表す略号を入力する**

放送の種類	略号
地上デジタル放送	TD
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS

② **略号に続けてチャンネル番号を入力する**

■ **地上デジタル放送の場合**
- 3ケタのチャンネル番号を入力します。

例 チャンネル番号：011の場合…TD011

※ 枝番を指定する場合は、3ケタのチャンネル番号に続けて枝番を入力します。

■ **BSデジタル・110度CSデジタル放送の場合**
- 3ケタのチャンネル番号を入力します。

例 BS103、CS001

❼録画先
- 録画先機器(USBハードディスクに限ります)の略号「U」に番号を添えて入力します。指定しない場合は、「Eメール録画予約設定」で登録した「録画先」に録画されます。
- 番号は、「機器の登録」(準備編 51)の画面に表示される登録番号の数字です。 例 USB1→「1」
- 以上で予約が完了です。

※バッファロー社製長時間録画対応USBハードディスクの場合

❽録画品質
- 長時間録画にする場合は「TR」を入力します。指定しない場合は、「DR」で録画されます。

返信メールを確認する

- 「Eメール録画予約設定」の「予約設定結果通知」を使用するように設定している場合は、予約メールの送信後しばらくすると本機からメールが返信されます。

「予約を登録しました。」の返信メールの場合
- 以上で予約が完了です。

その他の返信メールの場合
- 下表に従って作成メールを修正し、もう一度送信してください。本体側のエラーが発生する場合は、予約できません。

返信メールの内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	❶～❼の書式を確認します。
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	❸～❺が6週間先を超えていないか確認します。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルは本体に設定されていません。	❻の指定が正しいか、確認します。
予約を登録できませんでした。指定された機器は本体に登録されていません。または接続されていません。	❼の指定が正しいか、確認します。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	本機の電源プラグが抜かれていることなどが考えられます。

- 予約メールは、「POP3アクセス時刻」(準備編 55)で指定した時刻に受信されます。(予約メールを本機で見ることはできません)
- 「予約アドレス登録」(準備編 56)で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録しておきます。

携帯電話やパソコンから録画予約をする つづき

Eメール録画予約時の注意事項

- 無線LANをお使いの場合は、ルーターなどの暗号化方式が「TKIP」以上であることをご確認ください。
- パソコン側で、自動的にメールサーバーからメールを受信し、サーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがあります。サーバーにコピーを残すなどの設定が必要です。
- メールソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
- メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
- 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
- 予約時に録画機器の状態（接続状態、ハードディスク残量）の確認は行われません。録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画はできません。
- メールのウイルス対策はされていません。
- 一度に受信可能な予約メールは64件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
- 正しく設定されていることを確認するために、事前に正しく録画できることをお試しください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する

※ **携帯電話だけで予約できます。**
- テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
- iモード、EZweb、Yahoo!ケータイに対応しています。携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
- 録画先は「録画先」（準備編 56）で設定した機器になります。

準備をする

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る**
- メールを送信できない場合は、本文に文字を入れてください。
- QRコード（下図）からもメールの宛先を入手することができます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、メールの説明に従って登録をする**

❸ **会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する**（携帯電話の「お気に入り」に登録する）

録画予約をする

❶ **録画予約用のURL（左記の❸を参照）にアクセスする**
はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」、「対象機種」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**
- 録画予約できるのはデジタル放送だけです。
- 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「Eメール録画予約設定」で設定したものを入力します。

- テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
- テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
- iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- EZwebはKDDI株式会社の商標です。
- Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が別途必要です。
- ご利用には別途通信料が発生します。
- テレビサーフモバイルサービスについてのお問合せ先は、上記「準備をする」❷で送られるメールに記載されています。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「詳細設定」を▲･▼で選び、決定を押す

● 録画・録画予約の「マイフォルダ」の設定は、画面上の「マイフォルダ」を選んで変更します。

「マイフォルダ」を変更するとき

❶ 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

❷ ▲･▼で設定したいフォルダグループを選び、決定を押す

2 設定する項目を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。(「×」は設定がありません)

3 ▲･▼で内容を選び、決定を押す

4 ▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、決定を押す

項　目	内　容	USB ハードディスク	レグザリンク対応の東芝レコーダー
録画先	• 録画をする機器を選びます。	○	○※1
マイフォルダ	• 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。 再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。57	○	×
マジックチャプター	• 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。 • 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます。(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときのみ) • 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 • マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 • 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。56～57 ※ 番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※ チャプター数の上限(100個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。	○	×
保護	• 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。54	○	×
連ドラ	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます。(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します) • 文字入力のしかたは 25 をご覧ください。 • 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。57	○	×
追跡キーワード	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)	○	×
追跡基準	• 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。	○	×
上書き録画	• 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。	○	×
放送時間	• 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。(**放送時間の繰上げには対応できません**) • ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順については 49 をご覧ください。	○	○
録画品質	● 「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 • 「ハイビジョン(DR/AVC)で録画する」 DR/TS/AF/AN/AE/AS/ALから選択するか、MNで画質レートを選択します。 • 「DVD画質相当(VR)で録画する」 XP/SP/LP/EPから選択するか、MNで画質レートを選択します。 • 「録画機器の設定で録画する」 録画機器側で設定されている録画モードから選択します。	×※2	○

※1 **レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取消しなどの操作をしてください。**

※2 「録画先」がバッファロー社製の長時間録画対応USBハードディスクのときに「録画品質」を選択することができます。
「DR（標準)」または「TR（長時間)」が選択でき、DR（標準)はデジタル放送をそのままの画質で録画し、TR（長時間)はデジタル放送を圧縮した画質で録画します。

予約の確認・変更・取消しをする

● 予約の確認や取消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取消しなどの操作をしてください。

予約の確認・変更・取消し

1 クイックを押し、▲·▼で「予約リスト」を選んで決定を押す
● 予約リストが表示されます。

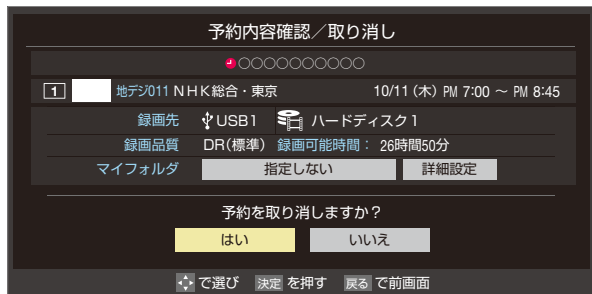
2 予約の確認や変更、取消しをする番組を▲·▼で選び、決定を押す

録画品質アイコン(例: DR(標準))や保護アイコンなどが表示されます。

録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。(122)
✓! ◎! ◎! は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。
◎¥! ◎¥! 放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

● たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

録画設定を変更するとき

● 前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

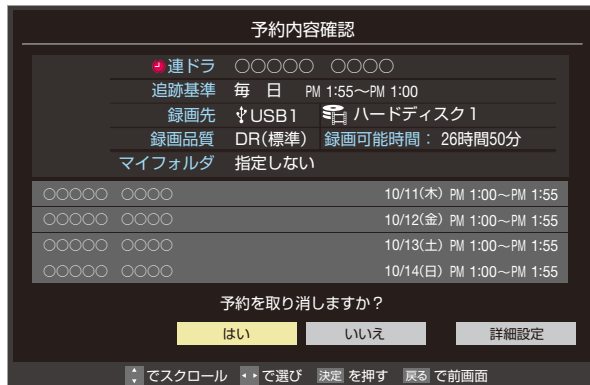
連ドラ予約番組の確認・変更・取消し

1 左記の手順1の操作をする

2 連ドラ予約を確認する番組を予約リストから▲·▼で選び、決定を押す
● 選んだ予約番組の「予約内容確認」画面が表示されます。
※ 8日以上先の番組は表示されません。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

予約内容を変更する場合

❶ ▲·▼で「詳細設定」を選び、決定を押す
❷ ▲·▼で設定を変更する項目を選び、決定を押す
● 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の表を参照してください。
❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

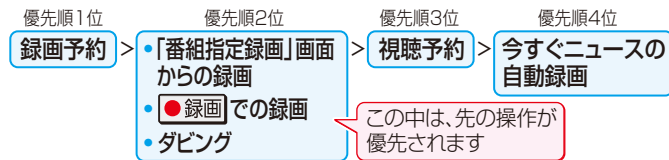
予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

● 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取消しになります。

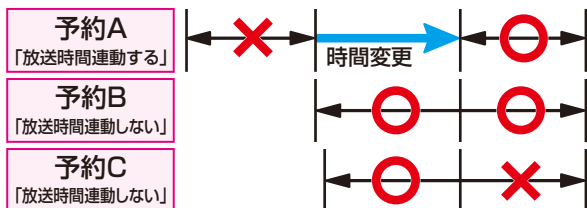
優先順1位		優先順2位		優先順3位		優先順4位
録画予約	＞	•「番組指定録画」画面からの録画 •［●録画］での録画 •ダビング	＞	視聴予約	＞	今すぐニュースの自動録画

この中は、先の操作が優先されます

放送時間が変更されたとき

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

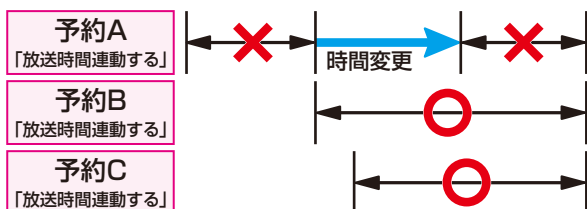
「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

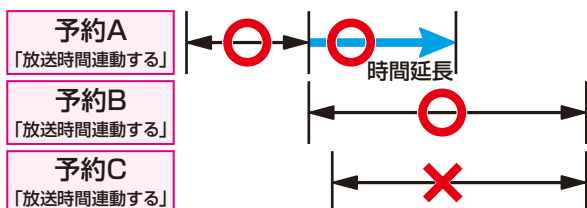
例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Cは録画されません。予約Bと予約Cの録画開始時刻が同じ場合は、先に予約を登録したほうが優先されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ **開始時刻が変更された場合**

● 開始時刻の早い予約が優先されます。

例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bと予約Cの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。

❷ **放送時間が延長された場合**

● 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Cは取り消されます。

❸ **複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合**

● 予約を登録した順に2番組まで録画されます。

● 番組情報が更新されるタイミングによっては正しく録画されないことがあります。

● 終了時刻が未定のままで、継続して録画される時間は3時間までです。

● 番組情報（放送時間）が変更され、「録画予約」と「連ドラ予約」が同時刻で重なった場合は「録画予約」が優先録画されます。

予約の動作について

● 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約設定後

● 予約リスト48 に予約した番組名や情報が表示されます。

▼

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、［終了］または［■］を押します。

● 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わる場合があります。

● 予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。［決定］を押し、暗証番号（準備編81）を入力してください。

▼

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」と表示されます。

● 「今すぐニュース」の録画中に別の録画が始まると、「今すぐニュース」の録画は中止されます。

● 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

▼

予約した番組の終了後

● 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- DLNA認定サーバーの動画再生については「動画を再生する」70☞ をご覧ください。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リスト を押す

2 ▲·▼·◀·▶で機器を選び、決定を押す

3 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

❶ |«|·|»|で分類タブを切り換える

- すべて…………すべての録画番組が表示されます。
- 未視聴…………未再生の録画番組が表示されます。
- 曜日別…………録画した曜日ごとに表示されます。
- ジャンル別……ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- 連ドラ別………「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- マイフォルダ別…「録画設定」で指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

❷ ◀·▶でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」と「未視聴」の場合はグループタブはありません。

4 見たい番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生）。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

5 番組再生を終了するには、■ または 終了 を押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生する－頭出し再生

❶再生する番組を▲·▼で選んで 青 を押す

録画中の番組を再生する－追っかけ再生

❶録画中の番組を▲·▼で選んで決定を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。

❶再生する番組を▲·▼で選んで 緑 を押す
- チャプター一覧画面が表示されます。

❷再生するチャプターを▲·▼·◀·▶で選んで決定を押す
- 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

❶ クイック を押し、▲·▼で「サーチ」を選んで決定を押す
- 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

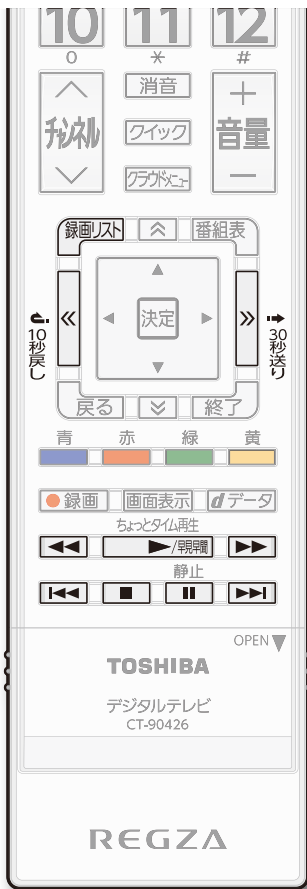
❷ 1 ～ 10(0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10(0) 1 2 5 10(0) 5 の順に押します。

録画リスト（例）

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります。（録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています）

■ 録画リストについて
- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は2000番組までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内　容
▶/早見早聞	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 • 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクの録画番組の最後に視聴したほうの続きから再生されます。
❚❚	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
■	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
▶▶	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります) • 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中にを押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
◀◀	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります) • 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。
»	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
«	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
▶▶❙	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 • チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
❙◀◀	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 • チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 • 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

● ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「録画再生設定」(準備編 52 ～ 54)で変更することができます。

※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなる場合があります。その場合は、 ▶/早見早聞 で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

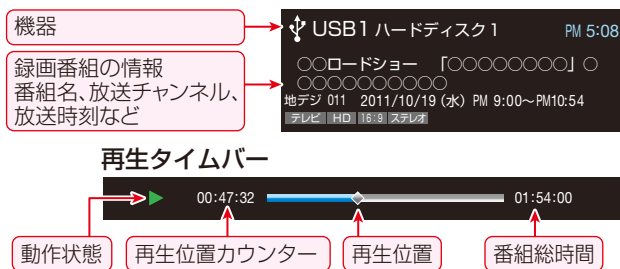
録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

❶ 再生中に 画面表示 を押す

● 再生中の番組の情報が表示されます。

● しばらくすると番組情報の表示は消えます。

❷ 表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す

番組説明を見る

❶ 番組説明 (ふたの中)を押す

● 番組説明画面が表示されます。

❷ 番組説明画面を消すには、 決定 を押す

● しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

● 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

❶ 設定 (ふたの中)を押し、▲・▼と 決定 で「接続機器設定」⇨「USBハードディスク設定」の順に進む

❷ ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、 決定 を押す

❸ 番組を修復する機器を▲・▼で選び、 決定 を押す

❹ 確認画面で、◀・▶で「はい」を選び、 決定 を押す

● 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

❺「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、 決定 を押す

● 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

見たい録画番組を探して再生する

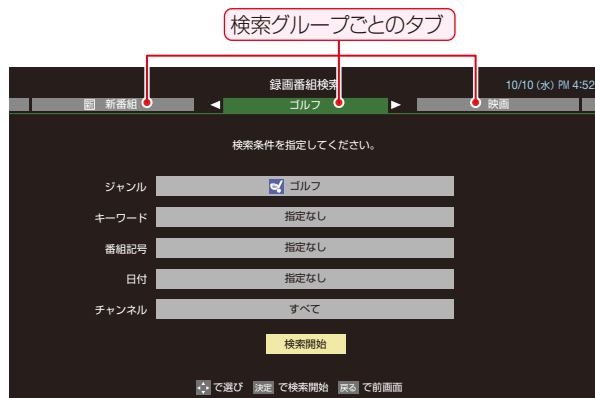
- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

※ USBハードディスクへの録画中は検索できません。

1 録画リストの表示中に クイック を押す

2 ▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」22 の手順3と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

❶ ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

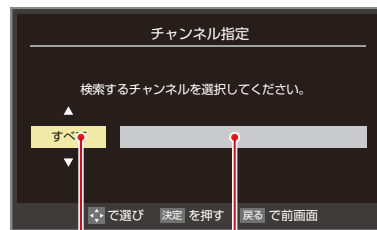
❷ ◀·▶で左端の欄に移動し、▲·▼で「指定する」を選ぶ

❸ ◀·▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲·▼で選ぶ

❹ 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**…すべて／BS／CS／地デジ
- **チャンネル**…指定した放送の種類に該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

5 ▲·▼·◀·▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲·▼で選び、決定を押す

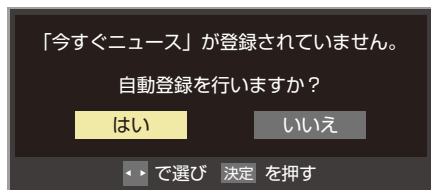
- 選んだ番組の再生が始まります。

今すぐニュース ~ニュースを見る~

- USBハードディスクに自動録画されたニュース番組をいつでも見ることができます。
- 「今すぐニュース」の機能を使うには、「録画再生設定」の「今すぐニュース設定」(準備編 53)が必要です。

1 今すぐニュース を押す

- 自動録画された番組が再生されます。
- 早送り、早戻しなどのリモコン操作ができます。

メッセージが表示されたとき

- 自動登録をする場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押します。
- 番組表から好みのニュース番組を登録する場合は、「いいえ」を選んで 決定 を押し、「「今すぐニュース」の番組を登録する」 21 の操作をします。

2 再生を終了するときは、 ■ または 終了 を押す

※ 自動録画されたニュース番組は、録画リストには表示されません。

「今すぐニュース」の自動録画を中止するには

- 「今すぐニュース」の自動録画中に 画面表示 を押すと、番組情報画面 15 に 録画中● 今すぐニュース が表示されます。

❶「今すぐニュース」の自動録画中に、 終了 または ■ を押す

❷確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

- 番組情報取得の操作をした場合や、ほかに録画が始まった場合は「今すぐニュース」の自動録画は自動的に中止されます。また、データ放送の選択や、一部のメニュー操作などでも自動録画が中止されることがあります。
- 「今すぐニュース」の機能を使わないようにするときは、「録画再生設定」の「録画するニュース番組を登録する」(準備編 53)の手順で登録番組をすべて削除します。(登録した番組をすべて取り消した場合、「今すぐニュース」で録画された番組は削除されます)

ちょっとタイム ~テレビの前から離れるとき~

- テレビを見ているときに不意の来客があったり、電話がかかってきたりしてテレビの前から一時的に離れなければならないときなどに便利です。
- この機能にはUSBハードディスクを使用します。

※ USBハードディスクに2番組同時録画中(W録中)、または長時間録画中はこの操作はできません。

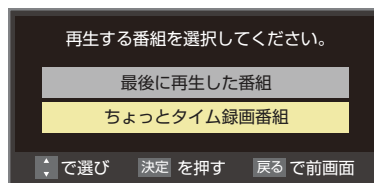
1 テレビの前から離れるときに ●録画 を押す

2 ◀·▶で「はい」を選び、 決定 を押す

- 視聴中の番組の録画が始まります。

※ 2番組の同時予約録画や、長時間録画の予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

3 テレビの前に戻ったら、 ちょっとタイム再生 ▶/一時停止 を押す

- 以下の画面が表示された場合は、▲·▼で「ちょっとタイム録画番組」を選んで 決定 を押します。

- 録画を始めたところから番組再生が始まります。
- ちょっとタイム再生中に ❚❚ を押すと一時停止になります。一時停止中にもう一度押すと、ちょっとタイム再生が再開されます。
- 再生中に早送りや、1.5倍の速さの音声付早送り再生などができます。 51

4 再生を終了するときは、 終了 を押す

- 早送り再生の操作をするなどで放送中の場面に追いつき、放送画面のほうを見る場合は録画を終了させます。(再生終了後にもう一度 終了 を押します)
- 録画した番組は録画リストに表示されます。

お知らせ

■「今すぐニュース」について
- 新しいニュース番組の自動録画が終わると、古いニュース番組は自動的に削除されます。
- 新しいニュース番組が最後まで録画できなかった場合は、古いニュース番組が残り、新しいニュース番組は保存されません。
- 「今すぐニュース設定」で登録したニュース番組の放送時間が変更された場合には、手動でニュース番組の登録・取消しをしてください。
- 「今すぐニュース」の自動録画と録画予約の時刻が近い場合は、「今すぐニュース」の自動録画は行われません。
- 録画番組をムーブしている場合は、「今すぐニュース」の自動録画は行われません。

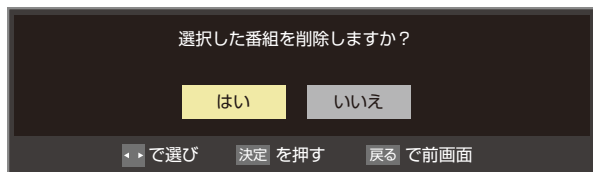
不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲·▼で選び、赤（削除）を押す
- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除（右下参照）してから赤を押してください。

2 ▲·▼で「１件削除」を選び、決定を押す

3 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

4 削除が終了したら、決定を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲·▼で選び、赤（削除）を押す

2 ▲·▼で「複数削除」を選び、決定を押す

3 消す番組を▲·▼で選び、決定を押す
- 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に✓をつけます。
- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

✓をつけた番組が削除されます　　🔒は 青 で解除してから

4 選択が終わったら赤（削除実行）を押す

5 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

6 削除が終了したら、決定を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる
- 「録画した番組を再生する」50☞の手順3をご覧ください。

2 赤（削除）を押し、▲·▼で「グループ内全削除」を選び、決定を押す

3 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

4 削除が終了したら、決定を押す

自動的に消す（自動削除設定）

● お買い上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 クイックを押し、▲·▼で「自動削除設定」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「削除する」または「削除しない」を選び、決定を押す

誤って消さないように保護する

● 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲·▼で選び、クイックを押す

2 ▲·▼で「保護」を選び、決定を押す
- 選択した番組が保護されます。（🔒がつきます）
- 保護されている番組を選択してクイックメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

録画リストのさまざまな機能を使う

● 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰返し再生の設定を変える

● 録画番組の繰返し再生(リピート再生)を設定することができます。
● 設定した状態は本機に記憶されます。

1 クイック を押し、▲·▼で「再生設定」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **1コンテンツリピート**…選択した一つの番組の再生を繰り返します。
- **リピート**……………………すべての番組の連続再生を繰り返します。
- **オフ**…………………………繰返し再生をしません。

● リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます。(1コンテンツリピート：⟲1、リピート：⟲)
● 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

● 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
● 設定は機器ごとに記憶されます。

1 クイック を押し、▲·▼で「並べ替え」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **新しい順**…………日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**……………日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

● 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 クイック を押し、▲·▼で「機器選択」を選んで 決定 を押す

● 機器選択画面が表示されます。
※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

連ドラ予約をする

● 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲·▼で選び、クイック を押す

2 ▲·▼で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
● 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」47 の操作をします。

機器の情報を確認する

● 使用中の機器の情報を確認できます。

1 クイック を押し、▲·▼で「機器の情報」を選んで 決定 を押す

● 機器情報画面が表示されます。

2 情報画面を消すには、決定 を押す

ハードディスクの残量を確認する

● USBハードディスクの残量を画面で確認できます。
※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
※ USBハードディスクの残量は、BS·110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 クイック を押し、▲·▼で「ハードディスク残量表示」を選んで 決定 を押す

● 残量表示画面が表示されます。

※ バッファロー社製長時間録画対応USBハードディスクの場合は、DR(標準)とTR(長時間)それぞれの録画可能時間が表示されます。

2 残量表示画面を消すには、決定 を押す

チャプター編集をする

● 録画済番組のチャプター分割・結合をすることができます。(USBハードディスクへの録画中はできません)

録画リストから番組を選んで編集する

1 録画リストを表示させる(50☞ 1～3)

2 チャプター編集をする録画済番組を▲·▼で選ぶ

3 クイックを押し、▲·▼と決定で「編集・管理」⇨「チャプター編集」の順に進む

● 「チャプター編集」画面が表示され、選択した録画済番組の再生が始まります。(図はチャプター分割されている録画済番組の例です)

4 再生ポイントを移動する

● 「録画番組の再生中にできるリモコン操作」51☞ を参照してリモコンを操作し、チャプターを分割・結合したいポイントに移動します。

● ⏮・⏭や◀·▶でチャプターのスキップができます。

5 チャプター編集をする

チャプターを分割する

● 現在の再生ポイント位置でチャプター分割をします。

❶ 青を押す

前のチャプターと結合する

● 先頭のチャプターでこの操作はできません。

❶ 赤を押す

すべてのチャプターを結合する

❶ 緑を押す

❷ 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

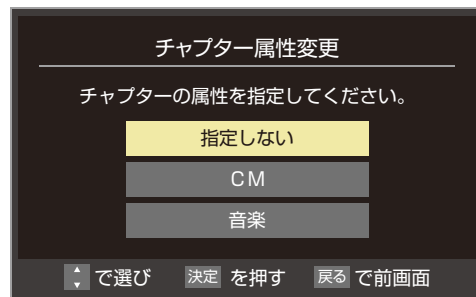
● すべてのチャプターが結合され、チャプターの属性がなくなります。

チャプターの属性を変更する

● チャプターの属性(本編、CM)を変更することができます。

❶ 黄を押す

❷ ▲·▼で属性を選び、決定を押す

● 「本編」にするには「指定しない」を選びます。

❸ ▲·▼で「1件変更」または「複数変更」を選び、決定を押す

- **1件変更**……現在選択中の一つのチャプターの属性を変更します。
- **複数変更**……複数のチャプターを選択して同じ属性に変更します。

❹ 以下の操作をする

■「1件変更」のとき

① 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

■「複数変更」のとき

① 属性を変更するチャプターを◀·▶で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。変更するチャプターに✓をつけます。

② すべての指定が終わったら、黄を押す

③ 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

● 必要に応じて、手順4と5を繰り返します。

6 チャプター編集が終わったら、戻るを押す

● 録画リストに戻ります。

● チャプター数の上限は100個、チャプターの最小間隔は5秒です。

録画済番組の再生中に編集する

● 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる（50 1～3）

2 チャプター編集をする録画済番組を▲･▼で選び、決定を押す

3 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で ❚❚ を押す

● 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。

● ◀◀･▶▶で、コマ送りやスロー再生ができます。

▶▶	• 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中にを押すたびにスロー再生の速さが変わります（3段階）。
◀◀	• 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。

4 青 または 赤 でチャプター編集をする

● 青 を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。

● 赤 を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。

● 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

グループ名を変更する

● 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。

● 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。

● ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。

● 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる（50 1～3）

● 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀･▶で選ぶ

例「わたし」のグループを選択

3 クイックを押し、▲･▼と決定で「編集・管理」⇨「マイフォルダ管理」⇨「マイフォルダ名の変更」の順に進む

● 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇨「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

● お好みの分類名にすることができます。

● 文字入力のしかたは、25 をご覧ください。

● 全角文字で10文字まで入力できます。

● 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例「わたし」⇨「まさみのお気に入り」に変更

ほかのグループに移動する

- 録画番組をほかのグループに移動することができます。
  たとえば、録画時の設定で「わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。

※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる（50 1～3）

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀·▶で選ぶ

3 移動する番組を▲·▼で選ぶ

4 クイックを押し、▲·▼と決定で「編集・管理」⇨「マイフォルダ管理」⇨「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **1件変更**………選択中の番組を別のグループに移動します。
- **複数変更**………複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- **グループ内全変更**…選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲·▼で選び、決定を押す

- グループアイコンとグループ一覧（お買い上げ時の設定）

みんな	お気に入り1
おとうさん	お気に入り2
おかあさん	お気に入り3
ぼく	お気に入り4
わたし	お気に入り5
おじいちゃん	お気に入り6
おばあちゃん	指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

❶ 移動する番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。移動する番組に✓をつけます。
- 保護されている番組も移動できます。

❷ 移動する番組をすべて選んだら黄を押す

8 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

録画番組を他の録画機器にダビングする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
  - 機器の接続や設定については、「録画機器やネットワーク機器の準備をする」（準備編 49 ）の章をご覧ください。
  - USBハードディスク間のダビングは、ムーブ（移動）のみできます。
  - DTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報（コピーワンスやダビング10など）に従ってダビングすることができます。（DLNA認定サーバーにはダビングできません）

※ USBハードディスクからDTCP-IP対応サーバーへダビングをした番組をUSBハードディスクに戻すことはできません。
※ USBハードディスクへの録画中はダビングできません。
※ 長時間録画で録画した番組は、ダビングできません。
※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
※ DTCP-IP対応サーバーへのダビング時には、有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。

1 録画リストを表示させる（50 1～3）

2 ダビングする番組を▲・▼で選び、黄を押す

3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

4 ダビング先を▲・▼で選び、決定を押す

- ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。

5 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

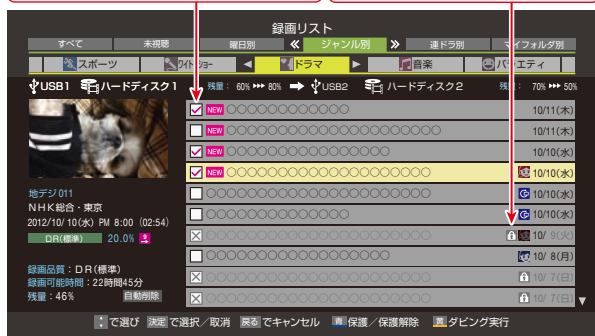
❶ダビングする番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わり、✓をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

❷ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

- 一度にダビングできるのは16番組までです。

6 「ダビング」画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。

東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする

- DTCP-IP対応の東芝レコーダー(RD-X8以降の対応機種)にネットワーク経由でデジタルダビングをすることができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。

- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機と東芝レコーダーをLANで接続する

- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」(準備編 63)と同じです。

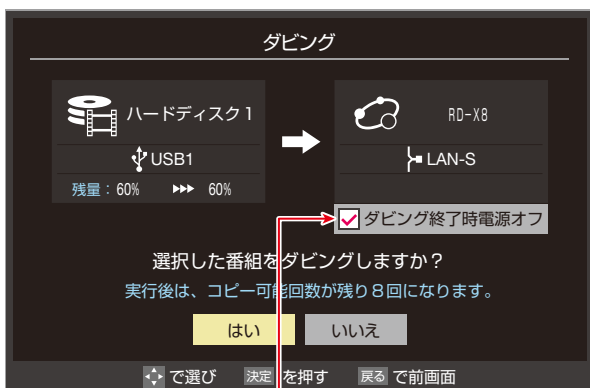
2 ネットワークの設定を確認する

- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」(準備編 63)と同じです。

ダビングの操作

- 前ページの操作手順と同じです。
  手順4で、LAN接続したDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定します。

※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面(1台だけの場合は「ダビング」の画面)に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

- 手順6の「ダビング」画面で、必要に応じて▲・▼・◀・▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✓をつけます。(この機能に対応しているレコーダーのみ)

ブルーレイディスクに手間なくダビングする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、東芝レコーダーのブルーレイディスクに直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。

  - 東芝レコーダー対応機種 形名 (2012年10月現在)
    RD-X10、RD-BZ800、RD-BZ700、RD-BR600、RD-BZ810、RD-BZ710、RD-BR610、DBR-Z150、DBR-Z160、DBR-Z250、DBR-Z260

  ※ RD-BZ800、RD-BZ700、RD-BR600は機能アップデート後の対応となります。

- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

- 「ネットワーク接続でダビングする」の「準備」を参照してください。

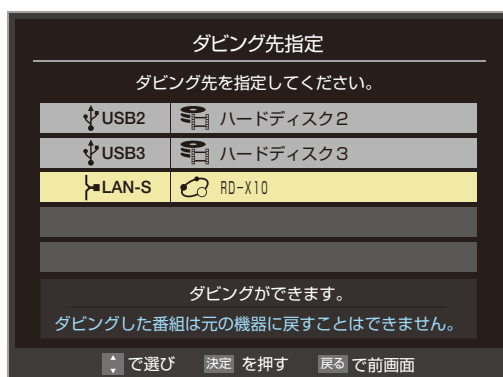
ダビングの操作

1 録画リストを表示させる(50 1～3)

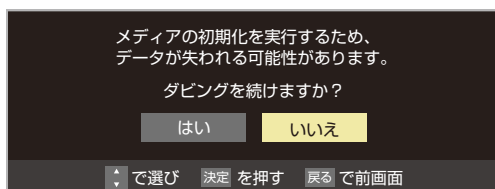
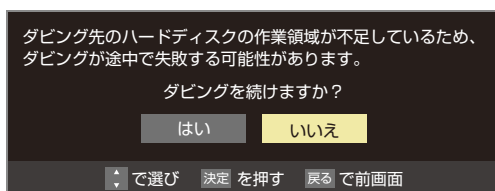
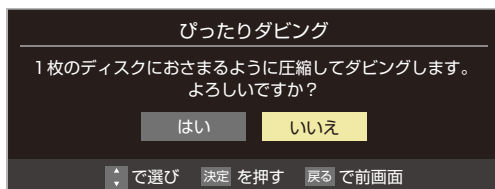
2 ダビングする番組を▲・▼で選び、黄を押す

3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

4 ダビング先を▲・▼で選び、決定を押す

- 対象の東芝レコーダーをダビング先に指定します。

5 ブルーレイディスクが挿入されているドライブを▲・▼で選び、決定を押す

メッセージが表示されたとき

- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態として認識するブルーレイディスクが挿入されていると以下のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます。（レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください）

- レコーダーのハードディスク残量が不足している場合や、ハードディスクに録画できる残りの番組数が不足していると、以下のメッセージが表示されます。

- レコーダーが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択した場合、圧縮ダビングによって画質が低下することがあります

6 「複数ダビング」の場合は 59 の手順5の操作をする

- この場合は選択した順番でダビングされます。（☑の右側に順番を表わす番号が表示されます）

7 「ダビング」画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、▲・▼・◀・▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✓をつけてから「はい」を選びます。
- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、手順5のメッセージが表示されます。
- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書込みが開始されます。

東芝PCにダビングしてブルーレイディスクやSDメモリーカードに保存する

- 東芝PCにネットワーク経由でダビングし、ブルーレイディスクやSDメモリーカードに保存することができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。

- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。
- 東芝PC接続確認済み機種 形名(2012年10月現在) ●一部の対応機種を記載しています。詳しくは東芝PCのカタログでご確認ください。

dynabook Qosmio	T852/D8FB、T852/WDTFB、T752/T8Fシリーズ、T551/T4Eシリーズ
dynabook Satellite	T752シリーズ、T652/W5UFB
dynabook	T652/58Fシリーズ、T552/58Fシリーズ、R731/38E、37E、36E
dynabook REGZA PC	D732/T9、T7シリーズ、D711/T3Dシリーズ

準備

1 本機と東芝PCをLANで接続する

- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」(準備編 63)と同じです。

2 ネットワークの設定を確認する

- 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」(準備編 63)と同じです。

3 東芝PCのアプリ「レグザリンク・ダビング」のセットアップをする

- アプリケーションソフト「レグザリンク・ダビング」を起動し、セットアップします。
- 手順などの詳細については、PCのヘルプ画面を参照してください。(ヘルプ画面は、アプリ起動後にPCのメイン画面下部に表示されるヘルプボタンで起動できます)

ダビングの操作

1 東芝PCのアプリ「レグザリンク・ダビング」を起動する

2 東芝PCにダビング用のメディアをセットする

- ブルーレイディスクまたはSDメモリーカードをセットします。

3 録画リストを表示させる(50 1～3)

4 ダビングする番組を▲·▼で選び、黄を押す

5 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

6 ダビング先を▲·▼で選び、決定を押す

- 対象の東芝PC(「レグザリンク[コンピューター名]」で表示されます)をダビング先に指定します。

7 「複数ダビング」の場合は 59 の手順5の操作をする

8 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

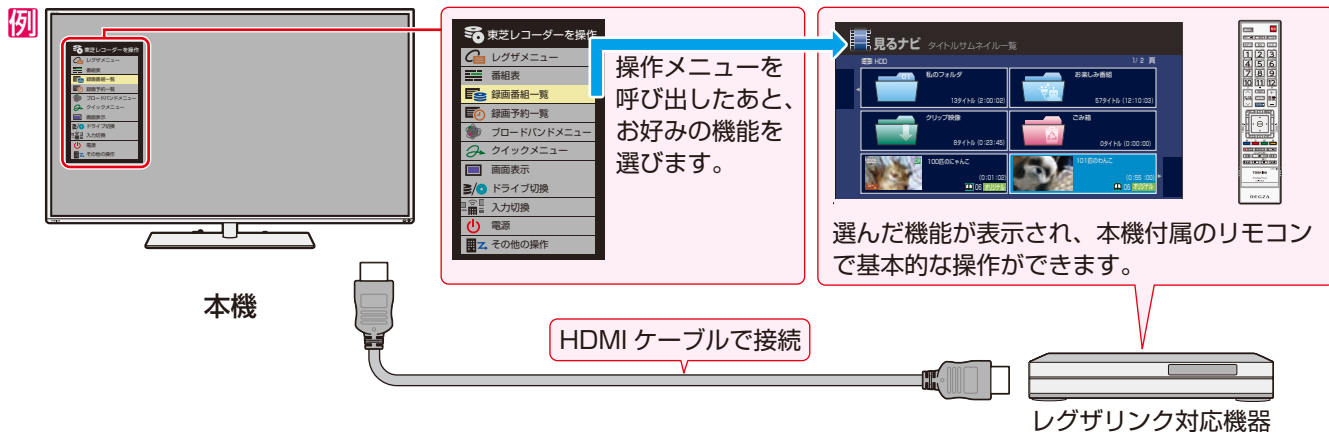
- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からPCへのダビングが完了したら、PCアプリの操作手順に従ってメディアへの書込みをしてください。

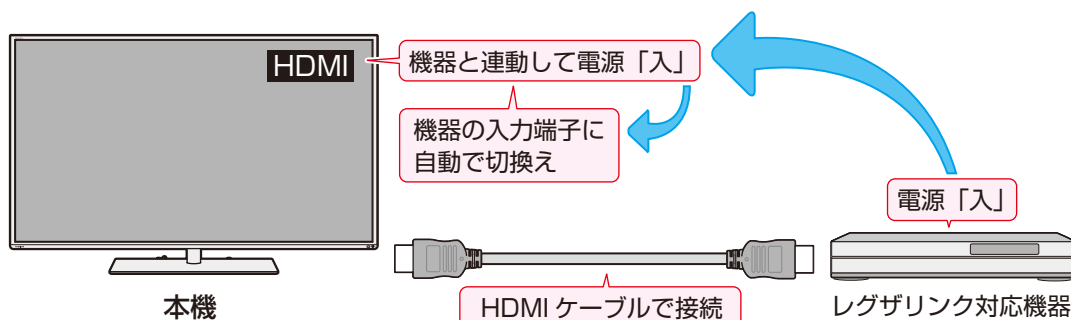
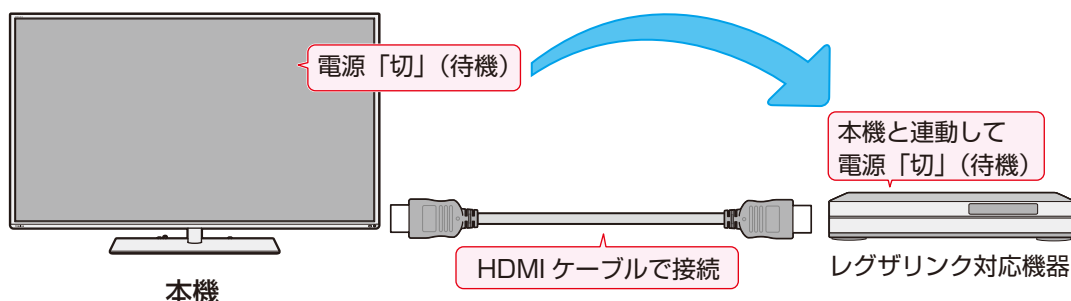
レグザリンクとは

レグザリンク機能でできること

- 本機は以下のレグザリンク機能（HDMI連動）に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

- 本機に接続したレグザリンク対応の録画機器や再生機器、パソコンなどの操作が本機のリモコンでできます。66☞

電源の入／切や入力切り換えの動作を連動させる

- **ワンタッチプレイ** ……… レグザリンク対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

- **システムスタンバイ** ….. 本機の電源を「切」にすると、機器も連動して電源が「切」（待機）になります。

- レグザリンク対応機器については「対応機器一覧」（準備編 101☞）をご覧ください。また、最新情報はホームページ www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています。

※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

■ **システムスタンバイについて**
- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

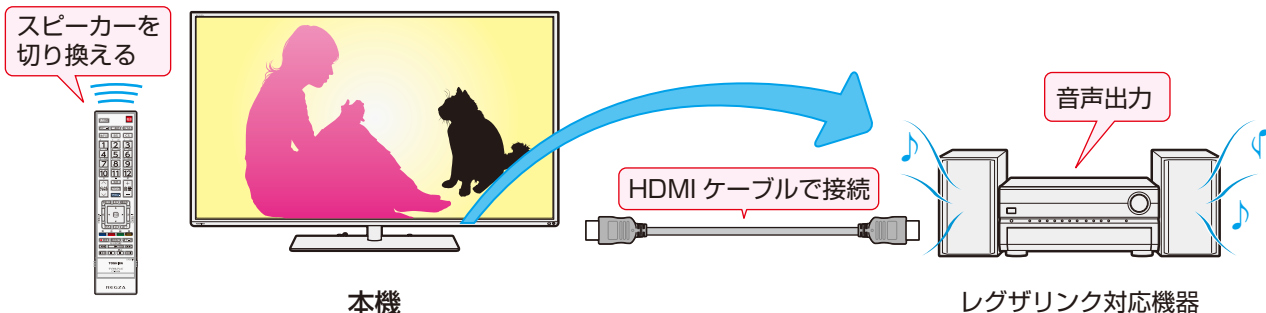
レグザリンクとは つづき

対応機器に録画・予約をする

● 本機に接続したレグザリンク対応機器に録画や予約をすることができます。40

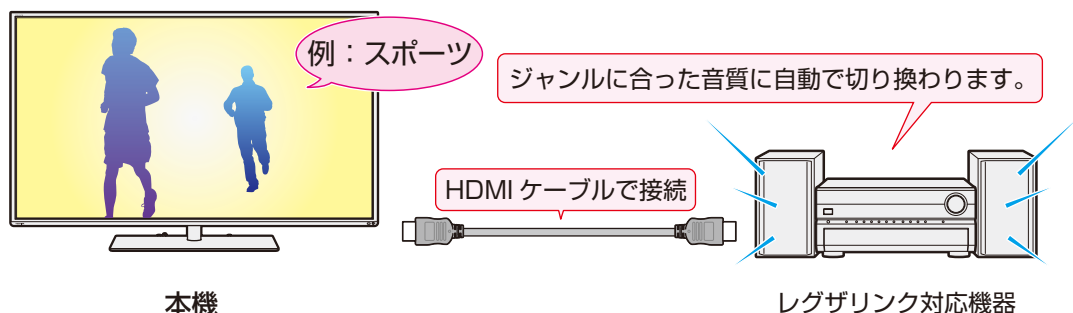
オーディオ機器と連携させる

● オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。また、ジャンルに適した音声がオーディオ機器のスピーカーから出るようにすることもできます。69

例 音声を対応機器のスピーカーで聴く

例 本機のリモコンでオーディオ機器の音量調節と消音の操作をする

例 サラウンドメニューで番組のジャンルにあった音質で楽しむ

本機

レグザリンク対応機器

準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
レグザリンク対応の東芝レコーダー／オーディオ機器	レコーダーの接続：準備編 66 オーディオ機器の接続：準備編 68 本機の設定：準備編 67、71	● レグザリンク(HDMI連動)機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。 ● レグザリンク対応の東芝レコーダーについては準備編 101 の3を、レグザリンク対応のオーディオ機器については準備編 101 の4ご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のレグザリンク(HDMI連動)機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 本機とレグザリンク対応の東芝レコーダー、パソコンや東芝推奨のオーディオ機器などをHDMIケーブルで接続することで利用できます。
  - 「録画・予約をする」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。
- 推奨機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。

  ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

オーディオ機器について

- オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ない場合があります。
- オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

オンキヨー製オーディオ機器でHDMI連動機能を利用する場合のお願い

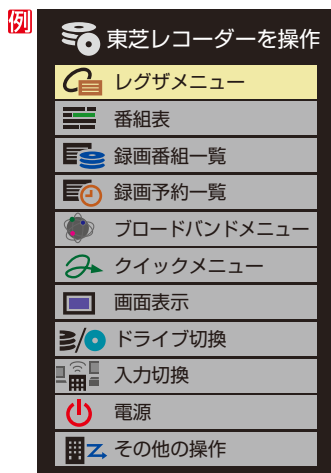
対象機種：オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

- オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。

  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

本機のリモコンで対応機器を操作する

- 入力切換の操作でレグザリンク（HDMI連動）対応機器が接続された入力（HDMI1 ～ 3）を選ぶと、機器操作メニューが表示されます。

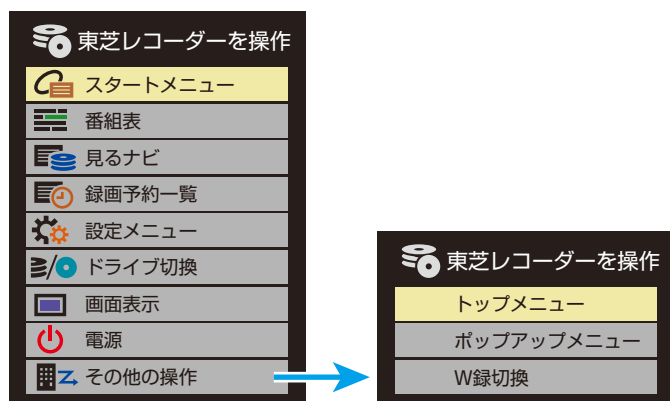
例

- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤー、パソコンなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、68 をご覧ください。

機器を操作する

- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます。機器操作メニューを再表示させるには、以下の操作をします。

❶ クイックを押し、▲·▼で「機器操作」を選んで決定を押す

東芝レコーダー

- 機器によって表示される操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。
- 「その他の操作」を選ぶとサブメニューが表示されます。

レグザメニュー（スタートメニュー）
- 東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます。（スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます）

番組表
- 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

録画番組一覧（見るナビ）
- 東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます。（「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます）

録画予約一覧
- 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

ブロードバンドメニュー
- 東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。

クイックメニュー
- 東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。

画面表示
- 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

ドライブ切換
- ハードディスクとブルーレイ（またはDVD）を切り換えます。

入力切換
- 東芝レコーダーの入力を切り換えます。

電源
- 決定で電源の「入」、「待機」ができます。

サブメニューについて

トップメニュー
- ディスク再生時に選ぶとディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー
- ディスク再生時に選ぶとディスクのポップアップメニューが表示されます。

W録切換
- W録選択を切り換えます。

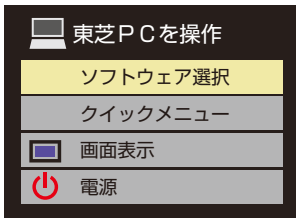
タイムシフトマシン機能搭載機器の過去番組表を表示する

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を、本機のリモコンを使って表示させることができます。
  - タイムシフトマシン対応東芝レコーダー 形名：DBR-M190、DBR-M180（2012年10月現在）

❶ クイックを押し、▲·▼で「タイムシフトマシン」を選んで決定を押す
- 機器の過去番組表が表示されます。

❷ ▲·▼·◀·▶で再生したい番組を選び、決定を押す
- 「番組指定再生」画面が表示されます。

❸ ◀·▶で「見る」を選び、決定を押す
- 選択した番組の再生（タイムシフトマシン再生）が始まります。

❹ タイムシフトマシン再生を終了するには、終了を押す
- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- 番組を選び直すには、上記手順❶～❹をします。

東芝パソコン

ソフトウェア選択

- 表示される項目を▲･▼で選んで決定を押すと、アプリケーションが起動します。
- 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。

クイックメニュー

- 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

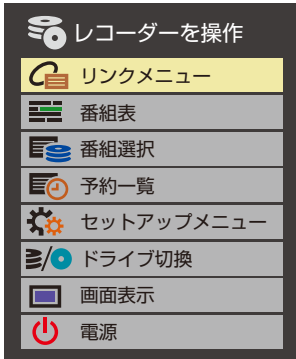
画面表示

- 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

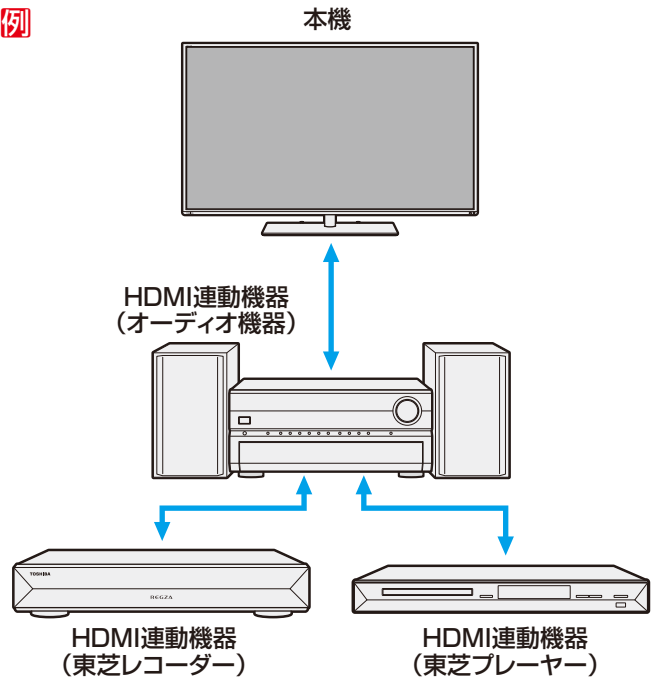
電源

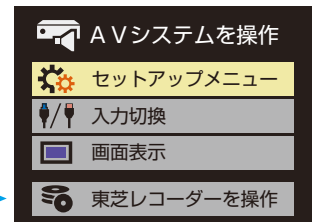
- 決定でパソコンの「起動」、「シャットダウン」ができます。

東芝製以外の機器

- HDMI CEC対応の機器を操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

HDMI連動機器に接続された機器

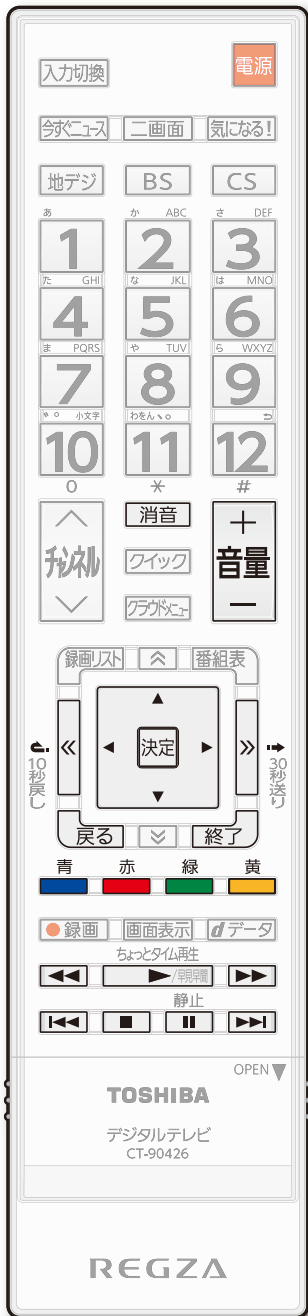
- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下のようになります。

例

東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「AVシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。

- レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、準備編 101 の3をご覧ください。
- レグザリンク対応の東芝パソコンについては、準備編 101 の6をご覧ください。
- レグザリンク対応のオーディオ機器については、準備編 101 の4をご覧ください。

本機のリモコンで対応機器を操作する つづき

本機のリモコンでできるおもな操作

● HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。

本機のリモコンボタン	動作の内容
▶	番組を再生します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
■	録画や再生を停止します。
▶▶❙	一つ先に進んで頭出し再生をします。
❙◀◀	前に戻って頭出し再生をします。
▶▶	再生中に押すと早送り再生になります。
◀◀	再生中に押すと早戻し再生になります。
»	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
«	再生中に押すと少し戻って再生します。
▲·▼·◀·▶	メニューなどで項目を選択します。
決定	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作に戻ります。
終了	操作を終了します。
青	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を操作します。
赤	
緑	
黄	
＋ 音量 －	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

オーディオ機器で聴く

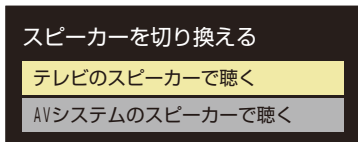
オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタル音声ケーブルで接続します。（準備編 68 ）
- HDMI連動（レグザリンク）に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

1 **クイック を押し、▲･▼で「スピーカー切換」を選んで 決定 を押す**

2 **▲･▼で「AVシステムのスピーカーで聴く」を選び、決定 を押す**

- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビのスピーカーで聴く」を選びます。

スピーカーを切り換える
テレビのスピーカーで聴く
AVシステムのスピーカーで聴く

3 **音量を調節する**

- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

オーディオ機器の音声を設定する

- AVシステム音声連動対応のオーディオ機器が接続されている場合、オーディオ機器のサラウンドメニューからお好みの音声を選択したり、ユニボリュームの機能を使用したりすることができます。（オーディオ機器によっては、サラウンドメニューまたはユニボリュームのどちらか一方しか使用できない場合があります）
- 以下の条件❶と❷の両方が満たされるときにこの操作ができます。
  - ❶ 本機と音声連携が可能なオーディオ機器（AVアンプなどとそのスピーカー）がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（スピーカーから音声が出るようになっている）。
  - ❷「HDMI連動設定」（準備編 71 ）が以下のように設定されている。
    - HDMI連動機能……………使用する
    - AVシステム連動…………使用する
    - AVシステム音声連動……使用する

1 **クイック を押し、▲･▼で「AVシステム音声設定」を選んで 決定 を押す**

2 **▲･▼で「サラウンドメニュー」または「ユニボリューム」を選び、決定 を押す**

3 **お好みに設定する**

- 以下の説明を参考にしてください。

サラウンドメニュー

- AVシステム機器のサラウンドモードを設定します。サラウンドメニューから、視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。

※ 画面に表示されるサラウンドメニューは目安です。AVシステム機器側のサラウンドメニューの内容と一致しない場合があります。

※「おまかせ」に設定すると、番組が変わるたびに本機が取得した番組ジャンル情報がAVシステム機器に送られ、AVシステム機器のスピーカーからジャンルに適した音声が出るようになります。

ユニボリューム

- 「オン」に設定すると、番組とコマーシャルの音量差、チャンネル間の音量差、外部入力間の音量差が少なくなるように補正され、テレビの音が聞きやすくなります。

※ クラシック音楽などの番組では、音量差を小さくすると音の強弱表現が損なわれます。そのような番組を視聴する場合や、映画などでシーンによって変わる音量差の迫力を味わいたい場合などは、この機能を「オフ」にしてください。

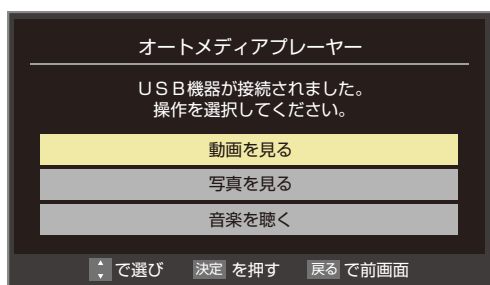
- 音量表示が「AVシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「主画面モード」 35 選択時のヘッドホーン端子から音声は出ません。
- レグザリンク対応のオーディオ機器については、準備編 101 の❹をご覧ください。
- AVシステム音声連動対応のオーディオ機器については、準備編 101 の❺をご覧ください。

動画を再生する

- USB機器、DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバー、LANハードディスクに保存されている動画を本機で視聴できます。
- レグザブルーレイやホームサーバー機能対応レグザの録画番組を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」（準備編 70）、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 56 ～ 62 ）をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、 123 をご覧ください。

- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲·▼で「動画を見る」を選んで決定を押し、手順3から操作します。

1 クラウドメニューを押し、▲·▼·◀·▶と決定でクラウドメニューの項目から「動画」の順に進む

2 再生機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで決定を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 LANハードディスクのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は入力する

- 入力画面は、LANハードディスク側でユーザー名とパスワードを設定している場合に表示されます。

4 再生する動画や録画番組が保存されているフォルダを▲·▼で選び、決定を押す

- 機器によっては、この操作はありません。
- 複数のUSBハードディスクが接続されたホームサーバー機能対応レグザなどの場合は、それぞれのUSBハードディスクがフォルダとして表示されます。

例

5 再生する動画や録画番組を▲·▼で選び、決定を押す

例

- 再生中に次ページのリモコン操作ができます。

表示モード切換ができるとき

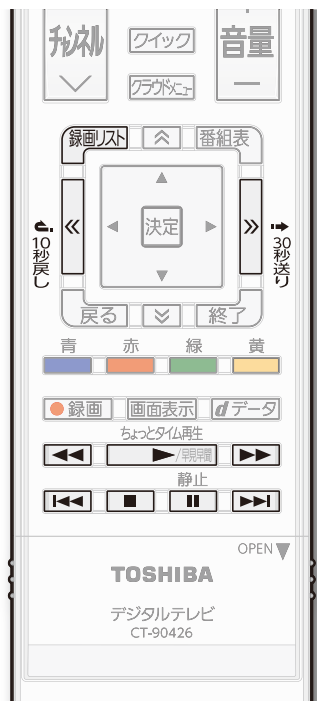
- 操作ガイドに「 緑 **表示モード切換**」が表示される場合、動画再生リストの表示モード切換ができます。
- 「タブ表示」にしたときのリスト画面の表示切換操作については、 50 の手順3をご覧ください。

6 動画再生を終了するには、■または終了を押す

- 放送画面などに戻ります。

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順5で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。
- クラウドメニューについては「クラウドサービスとネットワークサービスについて」 79 をご覧ください。

動画再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「録画再生設定」（準備編 54）で変更することができます。

ボタン	内　容
▶/早見早聞	動画の再生を開始します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※ 動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります）
◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
»	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ）
«	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ）
▶▶❙ ※	次の動画の先頭にスキップして再生します。
❙◀◀ ※	現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、動画再生のリスト画面が表示されます。

※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 動画再生リストの表示中に クイック を押す

2 ▲・▼で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で以下から選び、決定 を押す

- **1コンテンツリピート**‥選択した一つの動画の再生を繰り返します。
- **リピート**……………フォルダ内のすべての動画の連続再生を繰り返します。
- **オフ**…………………繰返し再生をしません。

- 設定に従って、再生画面左上にアイコンが表示されます。（1コンテンツリピート：↻1、リピート：↻）
- 「1コンテンツリピート」に設定時、ほかの動画にスキップすると設定が「オフ」になります。

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

1 再生中に クイック を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで 決定 を押す

- 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

2 1～10(0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10(0) 1 2 5 10(0) 5 の順に押します。

動画を並べ替える

- 動画の並び順を設定します。
- 機器によっては並べ替えができない場合があります。

1 動画再生リストの表示中に クイック を押す

2 ▲・▼で「並べ替え」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で「新しい順」または「古い順」を選び、決定 を押す

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、クイック を押し、▲・▼で「機器選択」を選んで 決定 を押します。
  「機器の情報」を選んで 決定 を押すと、選択されている機器の情報を確認できます。

動画再生リストの操作ガイドについて

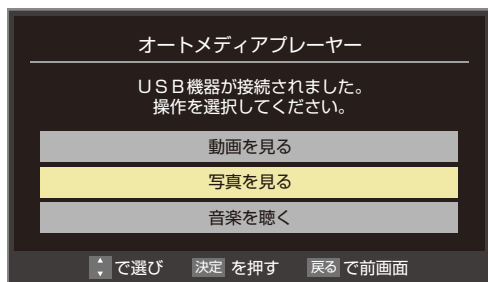
- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
  - **赤 削除**
    「不要な録画番組を消す」54 を参考にしてください。
  - **緑 表示モード切換**
    「表示モード切換ができるとき」70 をご覧ください。

写真を再生する

- USB機器、DLNA認定サーバーに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」（準備編 70 ）、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 56 ～ 62 ）をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、 123 をご覧ください。

- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されていデータが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

写真再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「写真を見る」を選んで決定を押し、手順3から操作します。

- 「オートメディアプレーヤー」または、以下の手順1または手順2の操作で写真再生が起動すると、「写真再生」のマルチ表示画面になります。（図はUSB機器の例です）

1 クラウドメニューを押し、▲・▼・◀・▶と決定でクラウドメニューの項目から「写真」の順に進む

2 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで決定を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 以下の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する（シングル再生）

❶ マルチ表示画面から、見たい写真を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 選択した写真が画面に拡大表示されます。

- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- |«|・|»|で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- マルチ表示画面に戻るときは戻るを押します。

自動的に順番に表示する（スライドショー再生）

❶ 緑を押す

- 選択中の写真から順番に表示されます。

- スライドショー再生を一時停止するには青を押します。もう一度青を押すと再開されます。
- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- |«|・|»|で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- シングル再生に戻るときは緑を押します。
- マルチ表示に戻るときは黄を押します。

- シングル再生、スライドショー画面に表示された写真以外の情報を消すには画面表示を押します。（もう一度押すと表示されます）
- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
- クラウドメニューについては「クラウドサービスとネットワークサービスについて」 79 をご覧ください。

写真を回転させるには

- マルチ表示画面、シングル再生画面、スライドショー再生画面で写真を回転させることができます。

❶ 赤 を押す
- 赤 を押すたびに時計回りに90度ずつ回転させることができます。
- 回転させた状態は記憶されません。

写真だけを表示するには

- シングル再生画面、スライドショー再生画面に表示された写真以外の情報を消すことができます。

❶ 画面表示 を押す
- もう一度 画面表示 を押すと情報が表示されます。

4 写真再生を終了するときは、終了 を押す

マルチ表示画面の表示モードを切り換える

- 機器がUSB機器の場合に、マルチ表示画面の表示モードを切り換えることができます。(DLNA認定サーバーは「フォルダ別」の表示のみになります)

1 マルチ表示画面のときに クイック を押す

2 ▲·▼で「表示モード切換」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す
- **シームレス**…第1階層にあるDCIMフォルダや、その中にある第6階層までのフォルダに保存されている写真だけが最大1000枚まで表示されます。(シームレス表示で写真が見つからないときは、自動でフォルダ別表示に切り換えます)
- **フォルダ別**…写真および、同じ階層にあるフォルダが合計1000まで表示されます。

フォルダを開くには

- 「フォルダ別」の表示モードのときに、フォルダを開くには以下の操作をします。

❶ ▲·▼·◀·▶でフォルダを選び、決定 を押す
- 上の階層に戻るときは 戻る を押します。

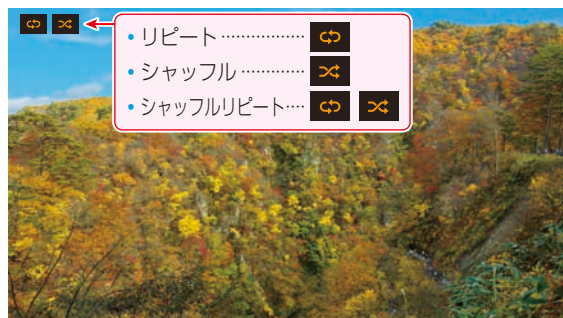
再生を繰り返す

- シングル再生やスライドショー再生を繰り返すことができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示、シングル再生、またはスライドショー再生画面のときに クイック を押す

2 ▲·▼で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す
- **リピート**…………フォルダ内のすべての写真の連続再生を繰り返します。
- **シャッフル**………フォルダ内のすべての写真をランダム順に再生します。
- **シャッフルリピート**…ランダム再生を繰り返します。
- **オフ**…………………繰返し再生やランダム順再生をしません。

- 設定に従って、再生画面やマルチ画面にアイコンが表示されます。

スライドショーの表示間隔を設定する

- 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。表示が完了するまでの時間は、写真のファイルサイズによって異なります。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示画面またはスライドショー再生画面のときに クイック を押す

2 ▲·▼で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す
- 以下は目安です。
- **速い**……表示が完了してから約5秒後
- **標準**……表示が完了してから約10秒後
- **遅い**……表示が完了してから約30秒後

写真を再生する つづき

マルチ表示画面の写真の並び順を変える

- 表示モードが「フォルダ別」のマルチ表示画面で、写真の並べ替えができます。
- 機器によっては、並べ替えができないことがあります。

1 **マルチ表示画面のときに 青 を押す**

- 青 を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- フォルダが先に並び、次に写真が並びます。

機器を選び直す

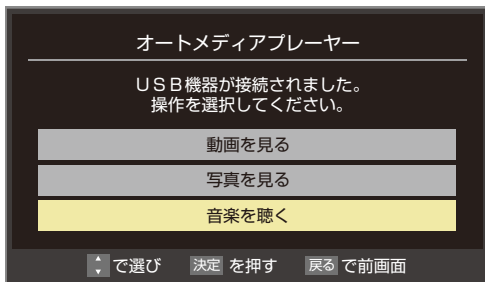
- 使用する機器を選び直すには、マルチ表示のときに クイック を押し、▲･▼で「機器選択」を選んで 決定 を押します。
「機器の情報」を選んで 決定 を押すと、選択されている機器の情報を確認できます。

音楽を再生する

- USB機器、DLNA認定サーバーに保存されている音楽を本機で聴くことができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」（準備編 70）、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 56 ～ 62）をご覧ください。
- 本機で再生できる音楽のフォーマットについては、123 をご覧ください。

- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

音楽再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲·▼で「音楽を聴く」を選んで決定を押し、手順3から操作します。

1 クラウドメニューを押し、▲·▼·◀·▶と決定でクラウドメニューの項目から「音楽」の順に進む

2 再生機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで決定を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 お好みでリスト画面の表示を切り換える

※ 表示できる形式は機器によって異なります。

❶表示形式を切り換えるには、|≪|·|≫|を押す

- **すべて** ……………選択中のフォルダ内のフォルダや音楽が表示されます。
- **シームレス**………現在のフォルダとそのサブフォルダ内の音楽が表示されます。
- **アーティスト別** …アーティスト別のタブごとに音楽が表示されます。
- **アルバム別**………アルバム別のタブごとに音楽が表示されます。

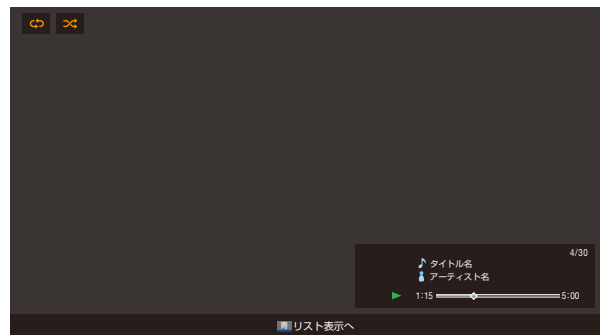
❷タブを切り換えるには、◀·▶を押す

- タブが表示される表示形式の場合に、希望のタブを選択します。

❸フォルダを開くには、▲·▼でフォルダを選んで決定を押す

- 上の階層に戻るときは、戻るを押します。

4 聴きたい音楽を▲·▼で選び、決定を押す

- 再生画面が表示され、選択した音楽から順に連続再生が始まります。

- 青で再生画面とリスト画面の切換えができます。

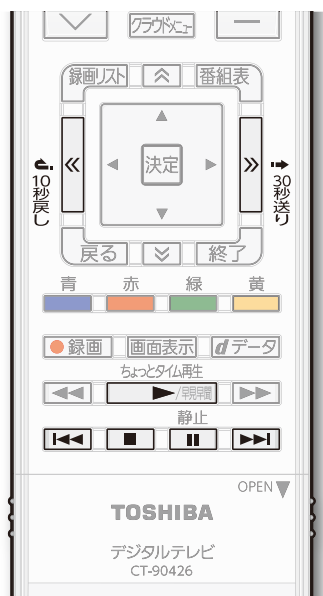
5 音楽再生を終了するには、■または終了を押す

- 放送画面などに戻ります。

- WAVファイルについては、これをリニアPCMまたはMP3に変換して出力するDLNA認定サーバーの場合にのみ再生可能です。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- クラウドメニューについては「クラウドサービスとネットワークサービスについて」79 をご覧ください。

音楽を再生する つづき

音楽再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「録画再生設定」（準備編 54 ）で変更することができます。

ボタン	内　容
▶/一時停止	音楽の再生を開始します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 ・一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■	音楽の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
≫	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ）
≪	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ）
▶▶❙	次の音楽の先頭にスキップして再生します。
❙◀◀	現在の音楽の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の音楽の先頭にスキップします。
青	再生を継続したまま、音楽リストに戻ります。

音楽の再生方法を設定する

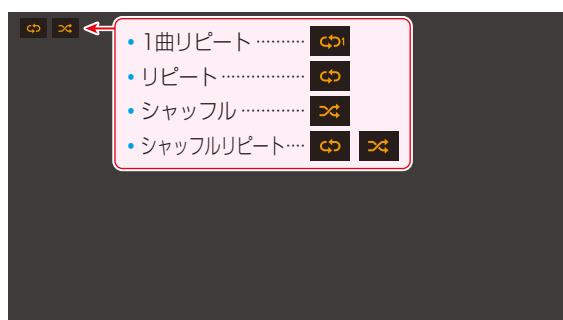
- 音楽をランダム順に再生したり、繰り返して再生したりできます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 リスト表示または再生画面のときに クイック を押す

2 ▲·▼で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **1曲リピート**…… 選択した一つの音楽の再生を繰り返します。
- **リピート**………… フォルダ内のすべての音楽の連続再生を繰り返します。
- **シャッフル**……… フォルダ内のすべての音楽をランダム順に再生します。
- **シャッフルリピート**… フォルダ内のすべての音楽のランダム順再生を繰り返します。
- **オフ**………………… 繰返し再生やランダム順再生をしません。

- 設定に従って、再生画面にアイコンが表示されます。

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すには、リスト表示のときに クイック を押し、▲·▼で「機器選択」を選んで 決定 を押します。
「機器の情報」を選んで 決定 を押すと、選択されている機器の情報を確認できます。

スカパー！プレミアムサービスLink（録画）の番組を再生する

- 「スカパー！プレミアムサービスLink（録画）」と配信に対応したサーバーで録画したスカパー！の番組を、ホームネットワーク経由で本機に配信して視聴することができます。ただし、ラジオ番組は視聴できません。
- 機器の接続・設定については、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 57 ～ 62 ）をご覧ください。

※ 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときには「スカパー！プレミアムサービスLink（録画）」の録画番組をネットワーク経由で視聴することができません。無線LANのセキュリティ設定を正しく実施してください。

※ 2012年10月より「スカパー！ＨＤ録画」は「スカパー！プレミアムサービスLink（録画）」へ名称が変更になります。

基本操作

1 **録画リスト を押す**

2 **▲・▼・◀・▶で機器を選び、決定 を押す**
- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

※「スカパー！プレミアムサービスLink（録画）」と配信に対応したサーバーを選択してください。

※ 起動していないWake on LAN対応機器（薄くなって表示されている機器）を選んで 決定 を押すと、Wake on LAN画面から起動することができます。
- 選択したサーバーの番組リストが表示されます。

3 **見たい番組を▲・▼で選び、決定 を押す**
- 選んだ番組の再生が始まります。

4 **番組再生を終了するときは、終了 を押す**
- 放送画面などに戻ります。

視聴制限について

- 本機の視聴制限機能（準備編 81 ）を使用していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組は本機の番組リストに表示されません。
- 番組の視聴年齢制限が番組冒頭または途中で変化する場合などには、本機の視聴制限設定によっては再生できないか、または再生が停止することがあります。
- 視聴年齢が制限された番組を表示・再生する場合は、以下の手順に従って適切な視聴制限設定をしてください。

本機の視聴制限設定をするには

❶暗証番号を設定する
- 設定の手順については「制限するために暗証番号を設定する」（準備編 81 ）をご覧ください。

❷視聴制限を設定する
- 設定の手順については「番組の視聴を制限する」（準備編 81 ）をご覧ください。
- 設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は番組リストに表示されません。
- 視聴制限をしない場合は、「20歳（制限しない）」に設定します。

再生時に視聴制限を一時解除するには

- 上記の視聴制限設定がされている場合には、番組リストのリモコン操作ガイドに「 黄 視聴制限一時解除」が表示されます。
- 視聴制限を一時的に解除するには、以下の操作をします。

❶ 黄 を押す
- 暗証番号入力画面が表示されます。

❷ 1 ～ 10(0) で暗証番号を入力する
- 入力した暗証番号が正しい場合は視聴制限が解除され、すべての番組が番組リストに表示されます。
- 本機の電源を「待機」または「切」にした場合や、番組再生を中止・終了して放送画面に切り換えた場合などに、視聴制限の一時解除は無効になります。

デジタルメディアコントローラーで操作する

● 本機のレンダラー機能を使用すれば、ホームネットワークに接続されているDLNA認定サーバーの動画・写真・音楽などのコンテンツを、デジタルメディアコントローラー（DMC）の操作で楽しむことができます。
※ 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、デジタル放送などの著作権保護付コンテンツを本機で再生することはできません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。
● 機器の接続・設定については、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 57 ～ 62）をご覧ください。
● 本機の設定については、「レンダラー機能設定」（準備編 60）、「本機の情報」（準備編 61）をご覧ください。
※ 2番組同時録画（W録）、長時間録画、ダビング、操作メニュー表示、番組表表示などをしないで、放送番組を視聴しているときにDMCからの操作ができます。

1 DMCでDLNA認定サーバー内のコンテンツを選択し、出力先を本機にして再生開始の操作をする

● お買い上げ時、本機のデバイスネームは、本機の形名（REGZA-65J7）に設定されています。
● DMCの操作についてはDMCの取扱説明書をご覧ください。DMCから本機に再生の指示をすると、本機でコンテンツの再生が開始されます。
● 本機はDMCからの「再生」、「停止」、「一時停止・再開」、「シーク」操作に対応しています。ただし、機器によっては、「再生」と「停止」しかできない場合があります。また、再生時間などが表示されないことがあります。
● コンテンツの再生が終了すると、放送画面に戻ります。

※ 配信されたコンテンツが本機で再生できないような場合でも、本機はそのままで待機し、エラーメッセージなどは表示されません。

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- 本書では、ネットワークサービスの一例として「インターネット」（80 ～ 86 ）の操作方法を記載しています。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、東芝や他社が提供するサービス、および動画再生などテレビ本体の機能へリンクを提供します。クラウドサービスを使って番組情報を友人と交換したり、お好みの動画やショッピングを楽しんだりすることができます。

※ サービスは順次追加されます。対応ソフトウェアの更新時期および、サービスの概要や開始時期などについてはホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定	記載ページ
・インターネットを利用するための接続をする。	準備編 72
・インターネットを利用するための設定をする。	準備編 73 ～ 75
・「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する。	準備編 78
・インターネットの利用制限を設定する。	準備編 82

クラウドサービスの基本操作

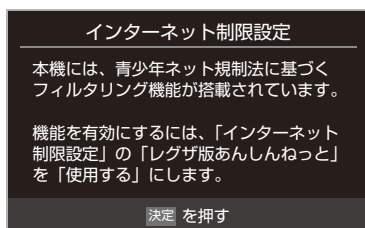
1 クラウドメニューを押す

- クラウドサービスのメニュー画面が表示されます。
- メニューの操作や項目などについては、画面に表示される「クラウド操作ガイド」やホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。

2 ▲·▼·◀·▶でお好みのクラウドサービスを選んで決定を押す

はじめて使用するとき

- 「インターネット制限設定」（準備編 82 ）が未設定の場合、一部の機能をはじめて利用する際に、「インターネット制限設定」の説明画面が表示されます。

> インターネット制限設定
>
> 本機には、青少年ネット規制法に基づくフィルタリング機能が搭載されています。
>
> 機能を有効にするには、「インターネット制限設定」の「レグザ版あんしんねっと」を「使用する」にします。
>
> 決定 を押す

❶ **画面の説明を読み、決定を押す**
- 説明画面が消えます。

❷ **暗証番号の入力画面が表示された場合は、1～10(0)で入力する**
- 暗証番号の入力画面は、「ブラウザ制限設定」（準備編 82 ）を「制限する」に設定している場合に表示されます。

閲覧制限の説明画面が表示されたとき

- 「レグザ版あんしんねっと設定」（準備編 82 ）で「閲覧設定」をしている場合、設定した制限レベルを超えるサイトにアクセスすると、閲覧制限の説明画面が表示されます。

❶ **画面の説明を読み、決定を押す**
- 前のページに戻ります。

一時的に閲覧制限を変更するとき

① **クイックを押す**

② **▲·▼で「閲覧制限一時変更」選び、決定を押す**

③ **1～10(0)暗証番号を入力する**
- 「暗証番号の設定」（準備編 81 ）で設定した暗証番号を入力します。
- 閲覧制限が解除されます。
- 制限が解除された状態は、対象のサービスを終了するまで継続されます。
- 利用中に再び閲覧制限を有効にする場合は、クイックを押して「閲覧制限再設定」を選びます。

3 見たい項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

4 クラウドサービスを終了するには、終了を押す

- 確認のメッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選んで、決定を押します。

- クラウドサービスの名称およびサービス内容は、予告なく変更・終了する場合があります。
- クラウドサービスの利用アプリやネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- クラウドサービスの利用できるアプリやネットサービス提供者が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切の責任を負いません。
- クラウドサービスの内容は録画することはできません。

「インターネット」で情報を見る

- 「インターネット」を使って、さまざまな情報を見たり、調べたりすることができます。
- 接続や設定などの準備については、「インターネットに接続する」（準備編 72 ～ 80 ）の章および、「インターネットの利用を制限する」（準備編 80 ）をご覧ください。

基本操作

1 クラウドメニュー を押し、▲·▼·◀·▶と 決定 でクラウドメニューの項目から「インターネット」の順に進む

- 「インターネット」のブラウザ画面が表示されます。

※ 回線の状態によって時間がかかることがあります。

例
※「インターネット制限設定」の説明画面が表示された場合や、暗証番号の入力画面が表示された場合の操作については、 79 の手順2の説明をご覧ください。

2 見たい項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

- 選んだ項目にオレンジ色の太い枠がつきます。
- 画面上部の検索欄など、キーワードなどを入力して情報を探す項目を選択した場合は、文字入力画面が表示されます。（文字入力のしかたは 25 をご覧ください）

※ 閲覧制限の説明画面が表示された場合の操作については 79 の説明をご覧ください。

3 「インターネット」を終了するには、終了 を押す

- 確認のメッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選んで、決定 を押します。

新規ウインドウを開くには

❶ ◀·▶で「ウインドウ」（Window）を選び、決定 を押す

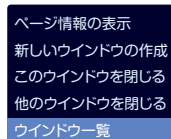
❷ ▲·▼で「新しいウインドウの作成」を選び、決定 を押す

- ウインドウは最大五つまで開くことができます。

表示させるウインドウを選ぶには

- ウインドウが複数開いているときに、表示させたいウインドウを選ぶことができます。

❶ ◀·▶で「ウインドウ」（Window）を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で「ウインドウ一覧」を選び、決定 を押す

複数ウインドウを開いているとき、開いているウインドウ数を表示します。

❸ ▲·▼で表示させたいウインドを選び、決定 を押す

ウインドウを閉じるには

❶ ◀·▶で「ウインドウ」（Window）を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で「このウィンドウを閉じる」を選び、決定 を押す

- ウインドウが複数開いているときに、表示しているウインドウ以外を閉じたいときは、「他のウインドウを閉じる」を選びます。

開いているページの情報を確認するには

❶ ◀·▶で「ウインドウ」（Window）を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で「ページ情報の表示」を選び、決定 を押す

- 現在見ているページの情報が表示されます。

- 通信中に本体の電源ボタンを押して電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。お気に入りや履歴、Cookieなどの情報が正しく保存されなかったり、クラウドメニューの更新に失敗する場合があります。クラウドメニューの更新に失敗すると、クラウドメニューが正しく表示されなくなることがあります。その際は、本機を「初期化1」（準備編 88 ）をすると、正しく表示されるようになります。（「初期化2」、「すべての初期化」をしても、正しく表示されるようになります）

- インターネットを利用中に、LANケーブルを抜いたり、ネットワーク接続環境を変更したりすると、本機やWebコンテンツの操作ができなくなることがあります。その場合は、本体の電源ボタンで電源を「切」にしてから、もう一度電源を「入」にしてください。
- ページが表示されるまでの時間は、接続業者との契約の種類や回線の混み具合などによって大きく異なります。
- インターネット機能使用時の文字入力では改行ができます。（記号一覧末尾に改行記号が追加されます）
- 暗号（SSL/TLS暗号）やセキュリティソフトなどで保護されたサイト（セキュアなサイト）に接続されると、URL表示欄に鍵アイコンが表示されます。

便利機能を使う

- よく使う機能を便利機能のメニューから操作することができます。

1 ページの表示中に[dデータ]を押す

- 便利機能のメニューが表示されます。
- 見たい情報を新しいウインドウで開く場合は、見たい情報を選んでから[dデータ]を押します。(前ページ右下の説明をご覧ください)

2 ◀·▶で機能のアイコンを選び、[決定]を押す

※ 一部のネットサービスを利用しているときは、いくつかの機能は使用できません。使用できない機能は、薄くなって表示されます。

アイコン、機能	内　容
「ウインドウ」(Window)	なにも表示していない新規ウインドウを開いたり、複数開いているウインドウから見たいウインドウを選んだり、不要なウインドウを閉じたりします。
「戻る」(Back)	一つ前のページに戻ります。履歴がないときは選択できません。
「進む」(Forward)	一つ先のページに進みます。履歴がないときは選択できません。
「再読込み」(Reload) ✕「中止」(Stop)	表示しているページの情報が更新されます。 ✕ 読込中に読込みを中止します。 (読込中のときは✕が表示され、それ以外のときは が表示されます)
「ホーム」(Home)	ホームに設定されているページに戻ります。設定のしかたは「ホームページに設定する」85☞ をご覧ください。
「お気に入り」(Favorites)	よく見るページを「お気に入り」に登録したり、「お気に入り」の中から見たいページを選んだりすることができます。82☞
「履歴表示(History)」	表示履歴の中から、見たいページを選んだり、履歴を削除したりすることができます。83☞
「URL/検索」(URL/Search)	見たいページのアドレス(URL)を入力してページを表示させたり、インターネット検索やページ内検索をします。81☞、82☞
「ポインター」(Pointer)	ポインターのオン/オフを切り換えます。84☞
「設定(Settings)」	ページ操作や各種設定をするときに使います。

アドレスを入力してページを見る

- アドレス(URL)がわかっている場合は、それを入力してページを見ることができます。

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「URL/検索」(URL/Search)を選んで[決定]を押す

- アドレス入力画面が表示されます。

2 ▲·▼·◀·▶でアドレス入力欄を選び、[決定]を押す

- 入力履歴がある場合は入力欄下に履歴が表示されます。入力履歴から選ぶ場合は、▲·▼選んで[決定]を押します。

3 見たいページのアドレスを入力する

- 文字入力画面で文字を入力します。文字入力のしかたは 25☞ をご覧ください。文字切換で「定型文」を選ぶと、定型文を簡単に入力することができます。
- 入力できる文字数は、半角英数字と半角記号で254文字までです。
- 文字入力が終わったら[決定]を押し、文字入力画面から手順2のアドレス入力画面に戻ります。
- 新しいウインドウで開く場合は、「新しいウインドウで開く」を選んで[決定]を押して、☐を☑にします。[決定]を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。

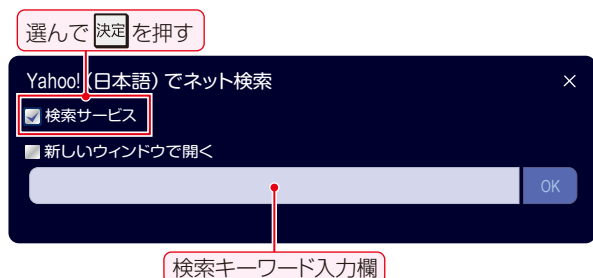
4 ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、[決定]を押す

「インターネット」で情報を見る つづき

情報を検索する

● 検索サービスを使った検索ができます。

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「URL/検索」(URL/Search)を選んで決定を押す
● アドレス入力画面が表示されます。

2 ▲·▼·◀·▶で「検索サービス」を選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。
● お買い上げ時の検索サービスは「Yahoo!」に設定されています。検索サービスお好みの検索サービスに設定することができます。85

3 ▲·▼·◀·▶で入力欄を選び、決定を押す

4 検索キーワードを入力し、決定を押す
● 文字入力画面で検索キーワードを入力します。文字入力のしかたは25をご覧ください。
● 入力できる文字は、半角英数字・半角記号で254文字までです。

5 ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

「お気に入り」に登録する

● お買い上げ時に登録されているものを含めて50個までのページを「お気に入り」に登録できます。

1 登録したいページを開く

2 便利機能のメニューから、◀·▶で「♡お気に入り」(Favorites)を選ぶ

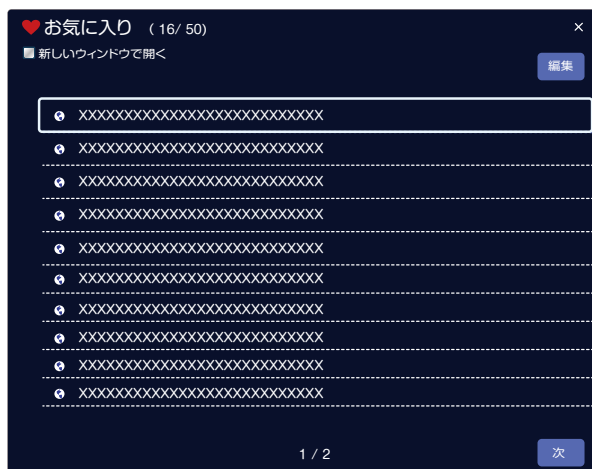
3 ▲·▼で「お気に入りに登録」を選び、決定を押す

● 「お気に入り」一覧に追加されます。

「お気に入り」からページを見る

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「♡お気に入り」(Favorites)を選ぶ

2 ▲·▼で「お気に入り一覧」を選び、決定を押す

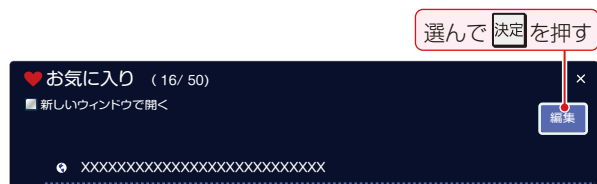
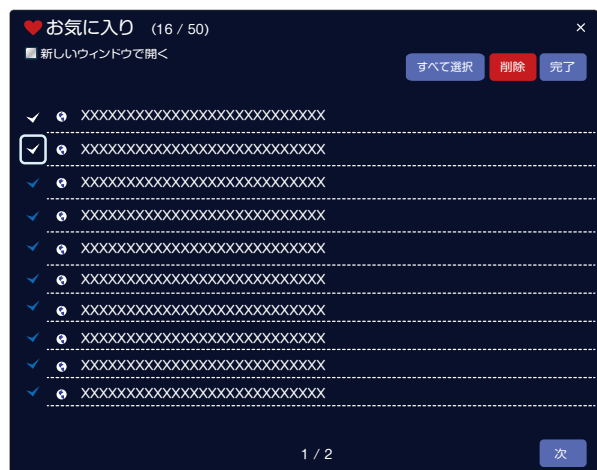
3 見たいページを▲·▼で選び、決定を押す

● 見たいページを新しいウインドウで開く場合は、先に「新しいウインドウで開く」を選んで決定を押して、☐を☑にします。決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。

登録した「お気に入り」を削除する

- お気に入りに登録したアドレスを整理することができます。

1 便利機能のメニューから、◀・▶で「♡お気に入り」(Favorites)を選ぶ

- 「お気に入り」一覧が表示されます。

2 ▲・▼・◀・▶で「編集」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で削除したいお気に入りを選び、決定を押す

- 決定を押して、☑を☑にします。決定を押すたびに、☑と☑が交互に切り換わります。
- すべて削除するときは「すべて選択」を選んで決定を押します。

4 ▲・▼・◀・▶で「削除」を選び、決定を押す

- 選択したお気に入りが一覧から削除されます。

5 ▲・▼・◀・▶で「完了」を選び、決定を押す

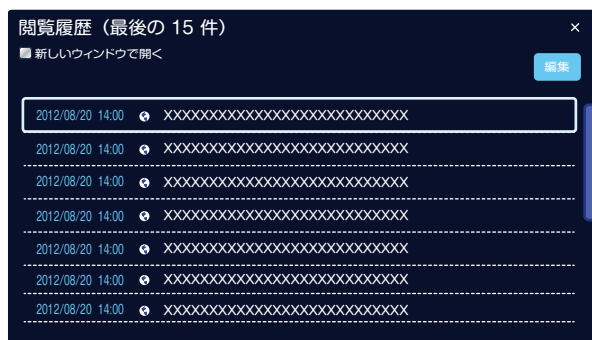
- ブラウザ画面に戻ります。

閲覧履歴から選んでページを見る

- 今までに見たページの履歴から選ぶことができます。
- 履歴は15件前まで記録されています。

1 便利機能のメニューから、◀・▶で「閲覧履歴」(History)を選んで決定を押す

- 「閲覧履歴」の一覧が表示されます。

2 見たいページを▲・▼で選び、決定を押す

閲覧履歴を削除する

- 閲覧履歴を削除することができます。

1 便利機能のメニューから、◀・▶で「閲覧履歴」(History)を選んで決定を押す

2 ▲・▼・◀・▶で「編集」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で削除したい閲覧履歴を選び、決定を押す

- 決定を押して、☑を☑にします。決定を押すたびに、☑と☑が交互に切り換わります。
- すべて削除するときは「すべて選択」を選んで決定を押します。

4 ▲・▼・◀・▶で「削除」を選び、決定を押す

- 選択した閲覧履歴が一覧から削除されます。

5 ▲・▼・◀・▶で「完了」を選び、決定を押す

- ブラウザ画面に戻ります。

「インターネット」で情報を見る つづき

ポインターを切り換える

● 画面を操作するときのツールを「ポインター」に変更することができます。

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「ポインター」(Pointer)を選んで決定を押す

● 決定を押すたびに、「ON」と「OFF」が交互に切り換わります。

ブラウザの設定をする

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「設定」(Settings)を選んで決定を押す

2 ▲·▼·◀·▶で設定項目を選び、決定を押す

カテゴリ	設定項目
基本設定	**ホームページ** • 現在表示されているページをホームページとして設定します。 **検索サービス** • 使用する検索サービスを設定します。
詳細設定	**Webコンテンツ：エンコード** • 文字が化けている場合は、文字コードを変更してみてください。一般的に日本語のページは「Shift-JIS」ですが、「EUC-JP」の場合があります。 **Webコンテンツ：表示倍率** • ページの表示を拡大・縮小することができます。 ※ ページによっては拡大・縮小できない場合があります。 **Cookie** • Cookieを受信し本機内に記録する/受信しない/受信するときにメッセージで知らせるようにする、のどれかに設定できます。 **キャッシュ** • 保存されている閲覧履歴データを削除することができます。 **リセット** • ブラウザの設定をお買い上げ時の設定に戻します。
セキュリティ	**HTTPS/SSL** • 保護のないページに移動するときに、メッセージが表示されるように設定できます。 • 使用するSSLまたはTLSバージョンを選択できます。 • ルート証明書証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。
About	• ブラウザについての情報などが表示されます。

3 終わったら、戻るを押す

基本設定をする

ホームページに設定する

❶ ホームページにしたいページを開く

❷ ◀･▶で「設定」(Settings)を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「基本設定」を選び、決定を押す

❹ ▲･▼･◀･▶で「ホームページ」を選び、決定を押す

使用する検索サービスを設定する

● ウインドウが複数開いているときに、表示させたいウインドウを選ぶことができます。

❶ ▲･▼で「基本設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼･◀･▶で「検索サービス」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼でお好みの検索サービスを選び、決定を押す

詳細設定をする

表示させたページが文字化けしているとき

❶ ▲･▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼･◀･▶でWebコンテンツの「エンコード」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で文字コードを選び、決定を押す

ページの表示倍率を変更する

❶ ▲･▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼･◀･▶で「表示倍率」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼でお好みの倍率を選び、決定を押す

Cookie（クッキー）の設定を変更する

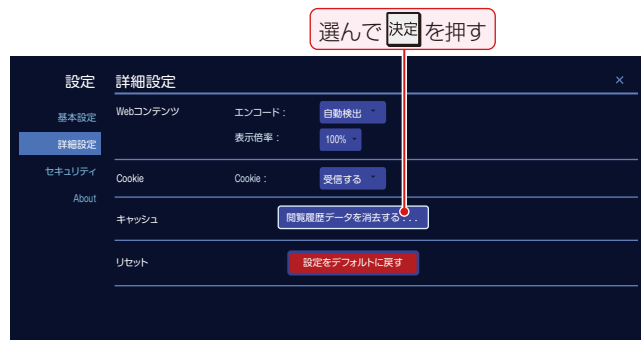
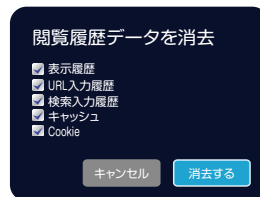
❶ ▲･▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼･◀･▶で「Cookie」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で設定を選び、決定を押す

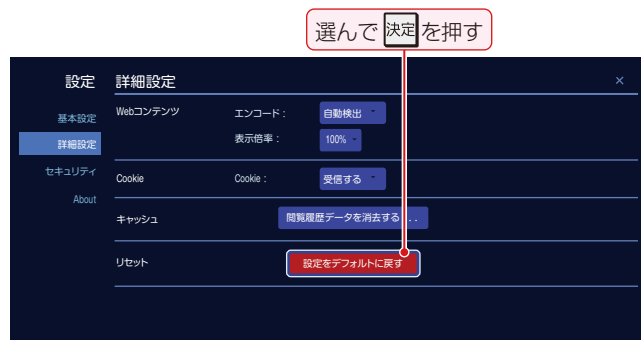
閲覧履歴を消去する

❶ ▲･▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼･◀･▶でWebコンテンツの「キャッシュ」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で消去する項目を選び、決定を押す

● 決定を押して、☐を☑にします。決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。

ブラウザの設定をお買い上げ時に戻す

❶ ▲･▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼･◀･▶で「リセット」を選び、決定を押す

■ Cookie（クッキー）

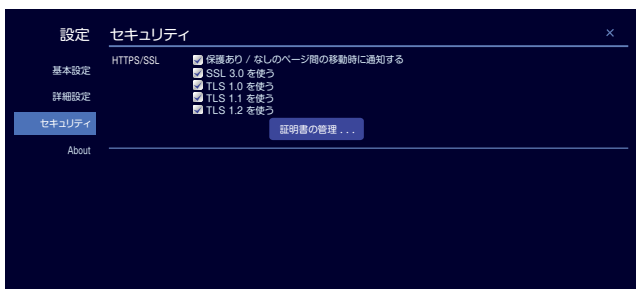
ユーザーの情報やアクセスした履歴などの情報をWebサーバーからの指示で本機内に自動的に受信、記録して、インターネットブラウザとWebサーバー間でやりとりをするための仕組み、またはその受信・記録されるファイルのことです。Netscape社によって開発され、本機をはじめ、各種のインターネットブラウザが対応しています。多くの場合、ユーザーがWebサイトをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もされています。

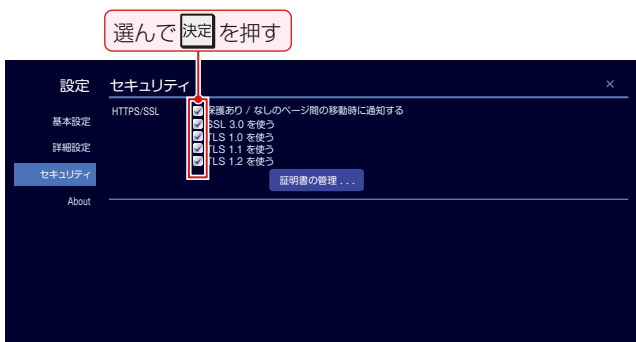
※ Cookieを受信しないように設定すると、Webサイトによっては利用できない場合があります。

■ キャッシュ

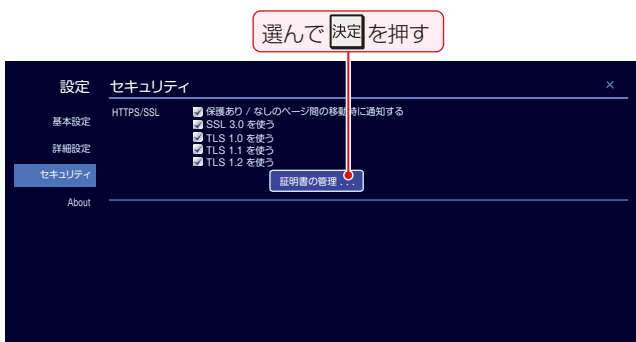
以前表示したページを再度見る場合に、本機に保存されている過去のデータを表示して表示時間を短縮することです。

「インターネット」で情報を見る つづき

セキュリティ設定をする

❶ ▲·▼で「セキュリティ」を選ぶ

❷ ▲·▼·◀·▶でセキュリティ設定を選び、決定を押す

証明書を管理する

❶ ▲·▼で「セキュリティ」を選ぶ

❷ ▲·▼·◀·▶で「証明書の管理」を選び、決定を押す

● 証明書のリストが表示されます。(ルート証明書の例)

例

設定 セキュリティ > ルート証明書
基本設定
詳細設定
セキュリティ
About
DigiCert Assured ID Root CA
DigiCert Global Root CA
DigiCert High Assurance EV Root CA
GeoTrust Primary Certification Authority
thawte Primary Root CA
VeriSign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5
Secure Trust CA
Secure Global CA
COMODO Certification Authority
Network Solutions Certificate Authority
COMODO ECC Certification Authority
Security Communication EV RootCA1
DST RootCA X1
DST RootCA X2
Cybertrust Global Root
Class 1 Public Primary Certification Authority

● 以降の操作で、証明書の内容確認、証明書の有効/無効の設定ができます。

※ この設定は一部のネットワークサービスでも有効です。

証明書の内容を確認する

❶ 確認する証明書をリストから▲·▼で選び、決定を押す

● ルート証明書情報が表示されます

❷ 確認したら◀·▶で「閉じる」を選び、決定を押す

証明書の有効/無効を切り換える

❶ 設定する証明書をリストから▲·▼で選び、決定を押す

❷ ◀·▶で「Disable」(無効)を選び、決定を押す

● 決定を繰り返し押すと、「Enable」(有効) / 「Disable」(無効)の切換えができます。

❸ ◀·▶で「閉じる」を選び、決定を押す

● リストに戻り、有効の場合は冒頭に☑が表示されます。

ブラウザの情報を見る

❶ ▲·▼で「About」を選ぶ

● ブラウザ情報が表示されます。

ソフトウェアのオープンソースを確認する

❶ ▲·▼で「About」を選ぶ

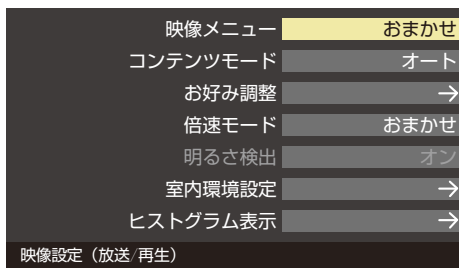
❷ ▲·▼·◀·▶で「オープンソース ソフトウエア」を選び、決定を押す

● 本ブラウザで使用しているソフトウェアのオープンソース情報が表示されます。

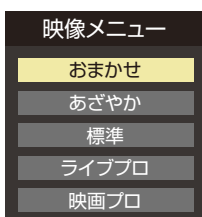
お好みの映像メニューを選ぶ

● 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
● 映像メニューは、放送/再生の映像や各入力端子の映像、写真再生の映像などでそれぞれ記憶させることができます。

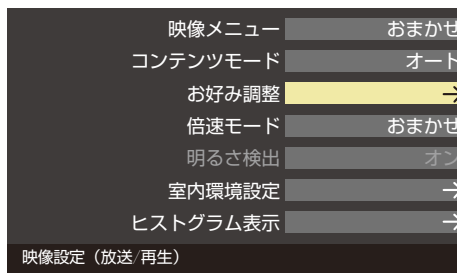
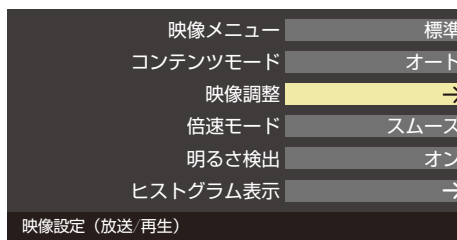
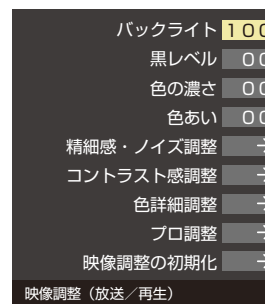
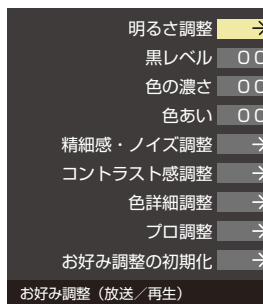
1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む

映像メニュー　おまかせ
コンテンツモード　オート
お好み調整　→
倍速モード　おまかせ
明るさ検出　オン
室内環境設定　→
ヒストグラム表示　→
映像設定（放送/再生）

2 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す

● 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。

映像メニュー
おまかせ
あざやか
標準
ライブプロ
映画プロ

映像メニュー	内　容
おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です。（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
ライブプロ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
映画プロ	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。（暖かみのある色あいが再現されます）
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。（HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます）
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です。 （HDMI入力のときに選択できます）
写真	写真（JPEG画像）を表示するのに適した設定です。 （写真再生のときに選択できます）

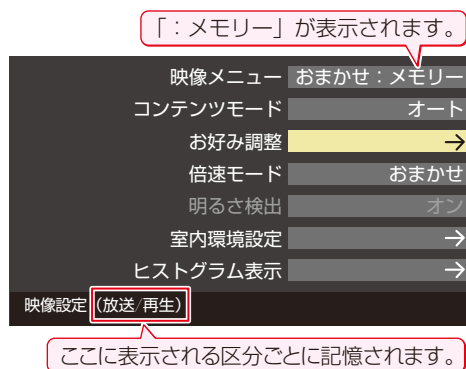
お好みの映像に調整する

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む

● 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」に進みます。

2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

3 以降の手順（95まで）でお好みの映像に調整する

● 他の項目を調整するときは、手順**2**から繰り返します。（「バックライト」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲·▼を押せば調整項目を切り換えることができます）

お好みの映像に調整する つづき

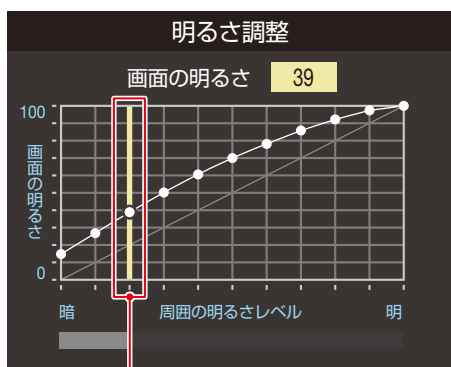
「お好み調整」や「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「おまかせ：メモリー」と(HDMI1)の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

明るさ調整

- この調整項目は、「映像メニュー」が「おまかせ」の場合や、「明るさ検出」が「オン」に設定されているときに表示されます。
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

❶ 決定 を押す

❷ 明るさを変えたいレベルを◀·▶で選び、▲·▼で明るさを調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。
- 青 を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- 赤 を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。

❸ 調整が終わったら、決定 を押す

バックライト

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定 を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。(調整値が大きくなるほど画面が明るくなります)

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

❶ ◀·▶でお好みの明るさに調整し、決定 を押す

- 「−50」(暗く)～「＋50」(明るく)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの濃さに調整し、決定 を押す

- 「−50」(淡く)～「＋50」(濃く)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色合いを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの色あいに調整し、決定 を押す

- 「−50」(紫を強く)～「＋50」(緑を強く)の範囲で調整できます。

■「明るさ調整」と明るさセンサーについて

- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 明るさセンサーの近くに物を置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は8をご覧ください。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して決定を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲･▼で選び、決定を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。

❶ ◀･▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「−50」(やわらか)～「+50」(くっきり)の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して決定を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」、「補正レベル」、「フィルムグレイン抑制」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」、「補正レベル」、「フィルムグレイン抑制」は機能しません。

※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

① ▲･▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

② ▲･▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**……映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**………この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

① ▲･▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

② ◀･▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
おまかせ	−02 ～ +02	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせ以外	01 ～ 05	

補正レベル

- レゾリューションプラスの効果が現われる映像細部の明暗差を設定します。

① ▲･▼で「補正レベル」を選び、決定を押す

② ▲･▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **オート**………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **01～04**……数値が大きくなるほど、映像細部のより大きな明暗差に対してレゾリューションプラスの効果が現れます。

フィルムグレイン抑制

- フィルムグレイン(フィルム映像で見受けられる細かいランダムなノイズ)などの細かな画面ノイズを低減させます。

① ▲･▼で「フィルムグレイン抑制」を選び、決定を押す

② ▲･▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **オート**………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **強、中、弱**……フィルムグレイン抑制の効果が切り換わります。強くするほどグレインをより抑える方向に働きます。
- **オフ**…………この機能は働きません。

カラーテクスチャー設定

- 色鮮やかな花や果物など、色の濃い映像部分の精彩感や質感を復元する機能です。

カラーテクスチャー

① ▲･▼で「カラーテクスチャー」を選び、決定を押す

② ▲･▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**……映像に応じて自動的に切り換わります。
- **オン**………この機能が常に働きます。
- **オフ**………この機能は働きません。

- 「カラーテクスチャー」の機能を働かせる場合に、以下の詳細な設定・調整ができます。(「カラーテクスチャー」が「オフ」のときは設定できません)
- 「カラーテクスチャー設定」を選択して決定を押すと、「復元モード」、「Rゲイン」、「Gゲイン」、「Bゲイン」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。

お好みの映像に調整する つづき

復元モード

● 「カラーテクスチャー」の復元モードを設定します。

① ▲･▼で「復元モード」を選び、決定を押す

② ▲･▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **オート**……映像に応じて自動的に処理されます。
- **水平垂直補正**…映像の水平、垂直両方向の精彩感、質感を復元します。
- **水平補正**……映像の水平方向の精彩感、質感を復元します。

Rゲイン、Gゲイン、Bゲイン

● 「カラーテクスチャー」の復元効果を色別に調整できます。

① ▲･▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)、「Bゲイン」(青)から選び、決定を押す

② ▲･▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**…… 映像に応じて自動調整されます。
- **0～10**….. 数値が大きいほど、効果が大きくなります。

輝度エッジ補正

● この調整項目は、「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときに表示されます。

● 映像の輝度成分(白黒映像成分)の輪郭を際立たせる機能です。アニメなどで輪郭をくっきりさせることができます。

① ▲･▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**…… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **0～10**….. 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

原画解像度

● 1080i/1080pに解像度変換された映像に対して設定できます。原画解像度を設定することで、各種解像度の原画に対して良好な画質が得られます。

① ▲･▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**……..映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **1920×1080、1440×1080、1280×720、960×540、720×480、640×480** ……原画解像度がわかる場合は、その解像度を選択します。原画解像度がわからない場合は、お好みの精細感になる値を選択します。

Vエンハンサー

● 映像の横線の輪郭を、強調したり弱めたりできます。

① ◀･▶で調整し、決定を押す

● 「おまかせ」以外のときは、▲･▼で設定を選びます。

映像メニュー	調整範囲	
おまかせ	－05 ～＋05	調整値が大きくなるほど、輪郭が強調されます。
おまかせ以外	オート/強/中/弱/オフ	

MPEG(エムペグ) NR

● デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。

① ▲･▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **オート** …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **強、中、弱** .. MPEG NRの効果が切り換わります。強くするほどノイズをより抑える方向に働きます。
- **オフ** ……… この機能は働きません。

※ 効果を強くすると精細感をそこなう場合があります。
※ 「オート」は「映像メニュー」が「おまかせ」のときにだけ選択できます。

ダイナミックNR

● 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

① ▲･▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **オート** …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **強、中、弱** .. ダイナミックNRの効果が切り換わります。
- **オフ** ……… この機能は働きません。

※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

グラフィックスNR

● アニメなどの平坦なカラーリング部分で目立つノイズを減らす機能です。

① ▲･▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **オート** …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **強、中、弱** .. グラフィックスNRの効果が切り換わります。
- **オフ** ……… この機能は働きません。

※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くするとアニメーションの輪郭線が不鮮明になる場合があります。

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して決定を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

ユニカラー	100
ヒストグラムバックライト制御	オン
ガンマ調整	00
質感リアライザー	→
色質感リアライザー	オフ
色階調リアライザー	オフ
コントラスト感調整	

❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

ユニカラー

- この調整項目は、「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときに表示されます。
- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

① ◀・▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。（数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります）

ヒストグラムバックライト制御

- 映像の明るさに応じてエリアごとにバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**…………ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。
- **オフ**…………この機能は働きません。

ガンマ調整

- 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀・▶で調整し、決定を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
−04 ～ +04	

質感リアライザー

- 映像の白飛びや黒つぶれを抑えて、明るい部分や暗い部分の質感を豊かに再現します。
- 暗いシーンでの肌色の質感を豊かに再現します。

「映像メニュー」が「おまかせ」のとき

① ▲・▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

② ◀・▶で調整し、決定を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど質感の再現性が強調されます。
−05 ～ +05	

③ ▲・▼で「モード」を選び、決定を押す

④ ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- 「映像メニュー」によって選択できるモードが異なります。

映像メニュー	選択できるモード
おまかせ	オート/節電オート※/ダイナミック/ナチュラル

※「節電オート」は「節電モード」が「節電1」または「節電2」にしているときに選択できます。

「映像メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- 「質感リアライザー」を選択して決定を押すと、「ゲイン調整」と「モード」の選択メニューが表示されます。
- 「ゲイン調整」を「手動」にすると、「暗部ゲイン」と「明部ゲイン」の選択・調整ができるようになります。

① ▲・▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

② ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**……映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **手動**………手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ▲・▼で「明部ゲイン」または「暗部ゲイン」を選び、決定を押す

(2) ◀・▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部ゲイン	00～10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部ゲイン		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

③ ▲・▼で「モード」を選び、決定を押す

④ ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- 「映像メニュー」によって選択できるモードが異なります。

映像メニュー	選択できるモード
あざやか、標準、ゲーム	オート/節電オート※
ライブプロ、映画プロ	オート/コンサート/フィルム/アニメ
PC	オート

※「節電モード」34☞が「標準」のとき、「節電オート」は選択できません。「節電モード」を「節電1」または「節電2」にすると「節電オート」に切り換わりますが、「オート」を選択することもできます。「節電オート」のときに「節電モード」を「標準」にすると「オート」に切り換わります。

お好みの映像に調整する つづき

色質感リアライザー

- 緑色の階調を豊かに再現する機能です。ゴルフ番組などで、コースの起伏や芝目が鮮明に再現されます。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **緑検出**…緑色の階調が豊かに再現されます。
- **オフ**……この機能は働きません。

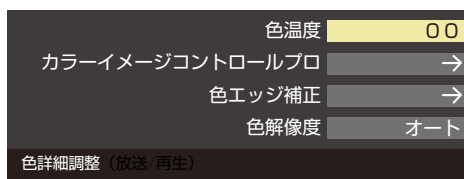
色階調リアライザー

- 暗い部分の色の階調を正しく再現する機能です。アニメなどで暗い部分の色が正確に塗り分けられます。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**……暗い部分の色階調が正しく再現されます。
- **オフ**……この機能は働きません。

色詳細調整

- 「色詳細調整」を選択して決定を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す
- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する
- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

① ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
おまかせ	－05 ～＋05	調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
おまかせ以外	00 ～ 10	

② ▲·▼で「Gドライブ」(緑)または「Bドライブ」(青)を選び、◀·▶で調整する
- 明るい部分の色温度を微調整します。

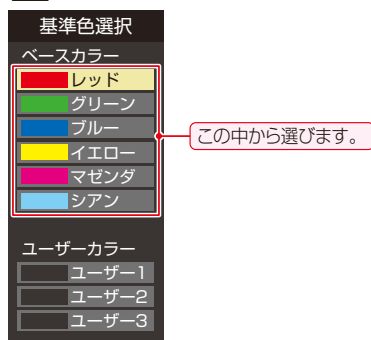
映像メニュー	調整範囲	
おまかせ	調整できません	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
おまかせ以外	－15 ～＋15	

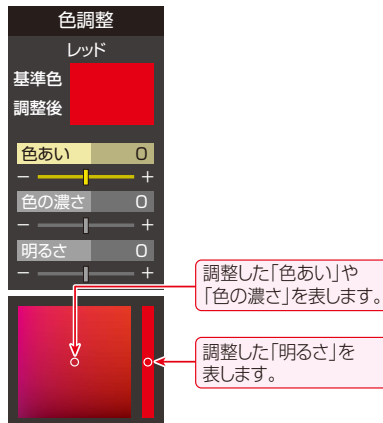
カラーイメージコントロールプロ

- 映像の色調を調整することができます。

ベースカラー

- レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さを調整することができます。

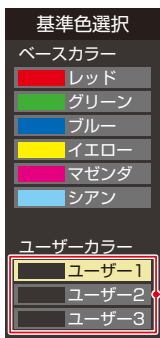
①「ベースカラー」の中から調整する色を▲·▼で選び、決定を押す

② 青を押して静止画にする
（もう一度青を押すと静止画が解除されます）

③ ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で調整する
- 調整範囲は－30 ～＋30です。

※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤を押します。

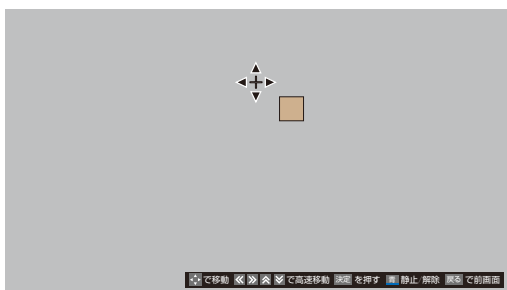
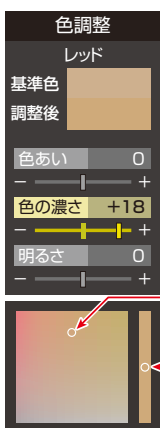
④ 選んだ色の調整が終わったら、戻るを押す
- 他の色を調整する場合は、手順①から繰り返します。

ユーザーカラー

- 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整することができます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。

①「ユーザーカラー」の中から▲·▼でどれかを選び、決定を押す

② 青 を押して静止画にする

③ ▲・▼で「基準色変更」を選び、決定を押す
- カーソルが表示されます。

④ 調整したい色の部分まで▲・▼・◀・▶でカーソルを移動し、決定を押す
- 画面から選択した色がパレットに登録されます。

⑤ ▲・▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀・▶で調整する
- 調整範囲は−30 〜＋30です。

※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

⑥ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す
- ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順①から繰り返します。

- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、カラーイメージコントロールプロの機能を利用して、本来の映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

色エッジ補正

- 映像の色の輪郭を際立たせる機能です。アニメなどで色の輪郭をくっきりさせることができます。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **0〜10**……「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

色解像度

- 外部入力を選択した場合に設定できます。
- 色の周波数帯域を広げ、色をきめ細かく再現することができます。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す
- **ワイド**……色の周波数帯域を広げることで、きめ細かな色が再現されます。
- **スタンダード**…色の周波数帯域を抑えます。DVD再生時などに垂直方向の色抜けが目立つ場合に、スタンダードに設定します。

プロ調整

- 「プロ調整」を選択して決定を押すと、プロ調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す
- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する
- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

1080p画質モード

- 「レグザコンビネーション高画質」に対応したHDMI機器から入力される映像の情報に応じて、映像に適した画質にする機能です。

※ 「モニター」に設定した場合および、「オート」の設定で「レグザコンビネーション高画質」対応機器の映像を視聴している場合、「ノイズリダクション設定」はできません。また、「3次元フレーム超解像」は「オフ」、「色解像度」は「ワイド」に固定され、「画面サイズ」46は「Dot By Dot」に固定されます。

❶ ▲・▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**………「レグザコンビネーション高画質」対応機器からの情報に従って画質が制御されます。通常の機器の場合は「ノーマル」の動作になります。
- **モニター**…機器から入力される映像を、そのままの画質で映し出します。
- **ノーマル**…本機側で設定した通常の画質制御になります。

お好みの映像に調整する つづき

プログレッシブ処理

- 24p/30pで制作されたインターレース方式の映像を2-3/2-2プルダウン処理する機能です。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**……プルダウン処理が自動的に行われます。
- **ビデオ**……ビデオ処理が行われます。
- **30p処理**…30pで制作された映像に適した設定です。
- **24p処理**…24pで制作された映像に適した設定です。

倍速ワイドエリア補間

- 倍速処理での動きの適応範囲を設定する機能です。
- 映像に違和感がある場合は、「スタンダード」に設定してください。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **ワイド**……………より早い動きの映像に対しても倍速処理の効果があります。
- **スタンダード**……標準的な設定で、より安定した倍速処理になります。

3次元フレーム超解像

- 動画のちらつきやノイズを低減させる機能です。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**…映像に応じて自動的に機能が働きます。
- **オン**……3次元フレーム超解像の機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

初期設定に戻す

- 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「コンテンツモード」、「倍速モード」、「明るさ検出」、「ヒストグラム表示」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。
- 「映像メニュー」が「おまかせ」のときに表示される「室内環境設定」については、「室内の照明環境を設定する」（準備編 83）をご覧ください。

コンテンツモード

- 視聴する映像のコンテンツに合った画質になるように設定することができます。

「映像メニュー」が「ゲーム」のとき

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **ノーマル**………視認性を重視したゲームに合った画質で表示されます。
- **モニター**………入力されたゲーム映像がそのままの画質で表示されます。
- **レトロ**……………シンプルな色合いのゲームに合った画質で表示されます。

「映像メニュー」が「ゲーム」以外のとき

- 「デジタルアニメ」は外部入力（HDMIなど）からの映像の解像度によって「デジタルアニメ（放送）」と「デジタルアニメ（BD）」に設定が分かれて表示され、詳細に設定することができます。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**……………本機が自動的に切り換えます。
- **ゴルフ**……………ゴルフ番組などに適した画質で表示されます。
- **デジタルアニメ**…デジタルアニメ番組に適した画質で表示されます。
- **レトロアニメ**…古い（画質などが粗い）アニメ番組に適した画質で表示されます。
- **写真**…………………写真再生に適した画質で表示されます。
- **オフ**………………この機能は働きません。

倍速モード

● 「映像メニュー」に合わせて倍速処理をします。
※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「PC」以外のときに設定することができます。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
※ 映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **おまかせ**………映像に応じて自動的に切り換わります。（「映像メニュー」が「おまかせ」のときに選択できます）
- **クリアスムーズ**…映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。
- **スムーズ**………映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。
- **クリアフィルム**…オリジナル映像のカクカクした動きを感じにくくしつつ、フィルム感のある動きで表示されるようにした設定です。
- **フィルム**………オリジナル映像がそのまま表示されます。
- **オフ**………………この機能は働きません。

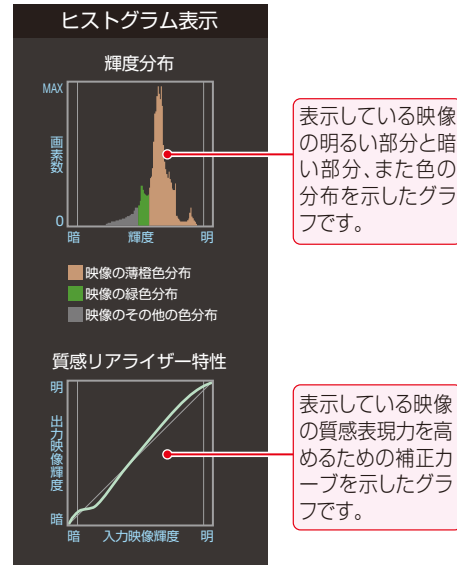
明るさ検出

● 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
※ 「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**………明るさ検出機能が働きます。
- **オフ**………この機能は働きません。

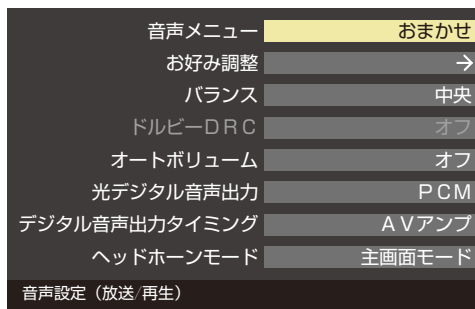
ヒストグラム表示

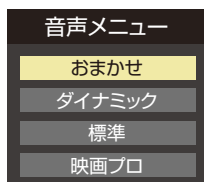
● 映像のヒストグラムが表示されます。
● 表示を消すには、終了を押します。

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生の音声、各外部入力端子の音声、音楽再生の音声でそれぞれ記憶させることができます。

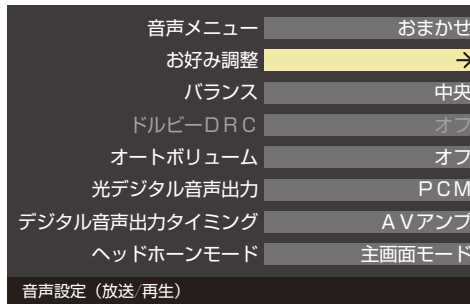
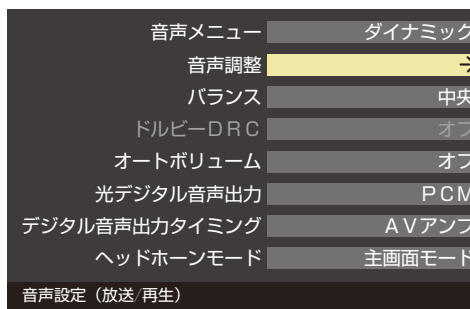
1 クイックを押し、▲･▼と決定で「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む

音声メニュー	おまかせ
お好み調整	→
バランス	中央
ドルビーＤＲＣ	オフ
オートボリューム	オフ
光デジタル音声出力	ＰＣＭ
デジタル音声出力タイミング	ＡＶアンプ
ヘッドホーンモード	主画面モード

音声設定（放送/再生）

2 お好みの音声メニューを▲･▼で選び、決定を押す

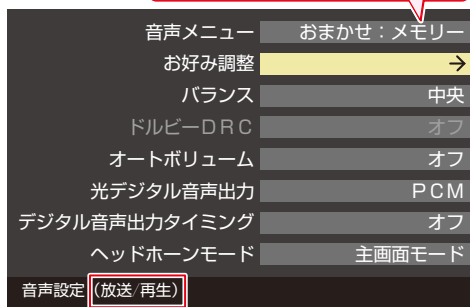
音声メニュー
- おまかせ
- ダイナミック
- 標準
- 映画プロ

音声メニュー	内　容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。 放送を視聴するときに選択できます。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
映画プロ	映画を鑑賞するときに適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）

お好みの音声に調整する

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「音声設定」⇨「お好み調整」の順に進む

- 「音声メニュー」が「おまかせ」以外に設定されているときは、「音声調整」に進みます。

2 調整項目を▲･▼で選んで決定を押す

3 次ページの手順でお好みの音声に調整する

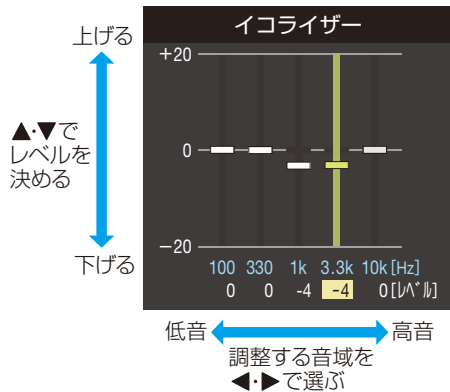
「お好み調整」や「音声調整」をした場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整･設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整･設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、（放送/再生）の「おまかせ：メモリー」と（HDMI1）の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

イコライザー

- イコライザーで、より詳細に音質を調整できます。

❶ 調整する音域を◀·▶で選び、▲·▼でレベルを変える

- 調整前の音に戻すには、[青]を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、[赤]を押します。

調整例①…. 人の声がこもって聞き取りにくい場合は、330Hzのレベルを上げます。
調整例②…. バラエティ番組などのにぎやかな感じを抑えたいときは、1kHzと3.3kHzのレベルを下げます。

- 「音声メニュー」が「おまかせ」のときは、音域の選択が「低」、「中」、「高」になります。

サラウンド

- スピーカーのステレオ音声に、広がりを持たせます。

※ 「音声メニュー」が「おまかせ」のときは、設定できません。
※ 音声多重放送の視聴時に、「主：副」33 を選んでいる場合は、効果が得られません。

❶ ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **ライブサラウンド** … ステレオ放送で音に広がりが出ます。
- **シネマサラウンド** … ステレオ放送や、接続機器からのドルビーサラウンド信号で、左右への広がりに合わせて、奥行きも加わります。
- **オフ** …………………… この機能は働きません。

低音強調

- 低音域の強さを設定します。

❶ ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

音声メニュー	設定
おまかせ	おまかせ/オフ
おまかせ以外	強/弱/オフ

初期設定に戻す

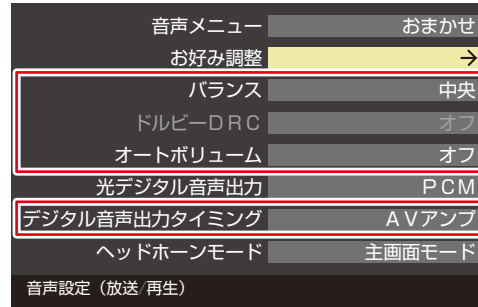
- 「お好み調整」、「音声調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

その他の音声調整・設定

- 「音声設定」のメニューに表示されている「バランス」、「ドルビーDRC」は、項目を選択したあと以下の手順で設定します。
- 「ヘッドホーンモード」については38を、「光デジタル音声出力」については準備編の69を、「デジタル音声出力タイミング」については準備編の69をご覧ください。

音声メニュー	おまかせ
お好み調整	→
バランス	中央
ドルビーＤＲＣ	オフ
オートボリューム	オフ
光デジタル音声出力	ＰＣＭ
デジタル音声出力タイミング	ＡＶアンプ
ヘッドホーンモード	主画面モード

音声設定（放送/再生）

バランス

- 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ ◀·▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

ドルビー DRC

- コンテンツなどの違いで生じる音量差を減らして聞きやすくなるように、音声レベルが自動的に補正されます。
- HDMI入力端子やホームネットワークに接続した機器から、ドルビーデジタルで記録されたコンテンツが入力された場合にだけ機能します。（機器からドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください）

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** …. ドルビー DRCの機能が働きます。
- **オフ** …. この機能は働きません。

オートボリューム

- コンテンツなどの違いで生じる音量差を減らして聞きやすくなるように、音声レベルが自動的に補正されます。
- スピーカーで聴く音声に対して効果が得られます。（ヘッドホーンが挿入されていて、ヘッドホーンモードが「主画面モード」のときは「オフ」になり、設定できません）

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

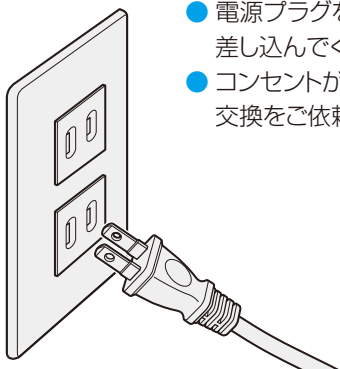
- **オン** …. オートボリュームの機能が働きます。
- **オフ** …. この機能は働きません。

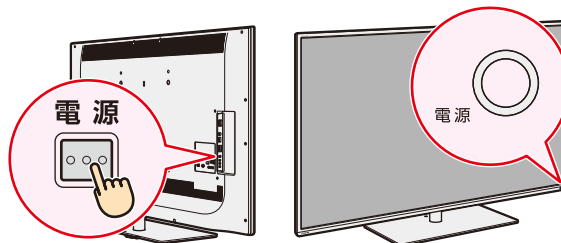
お知らせ

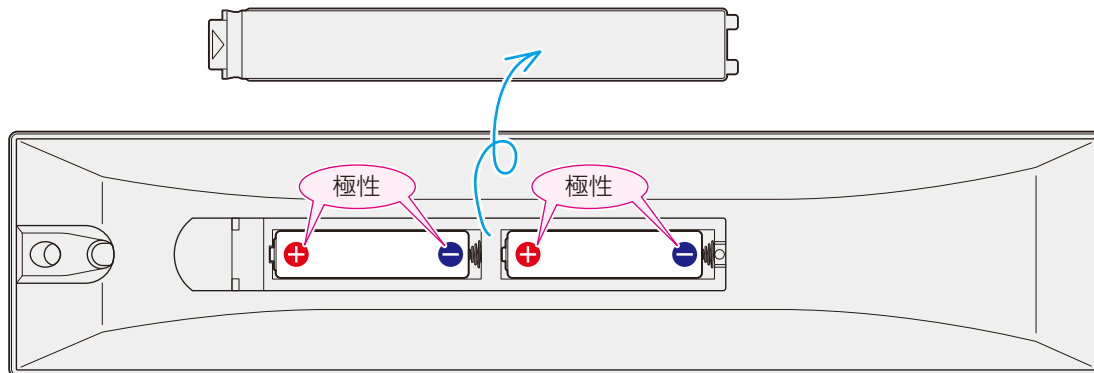
- ヘッドホーンの音声には「イコライザー」、「サラウンド」、「低音強調」の効果は得られません。

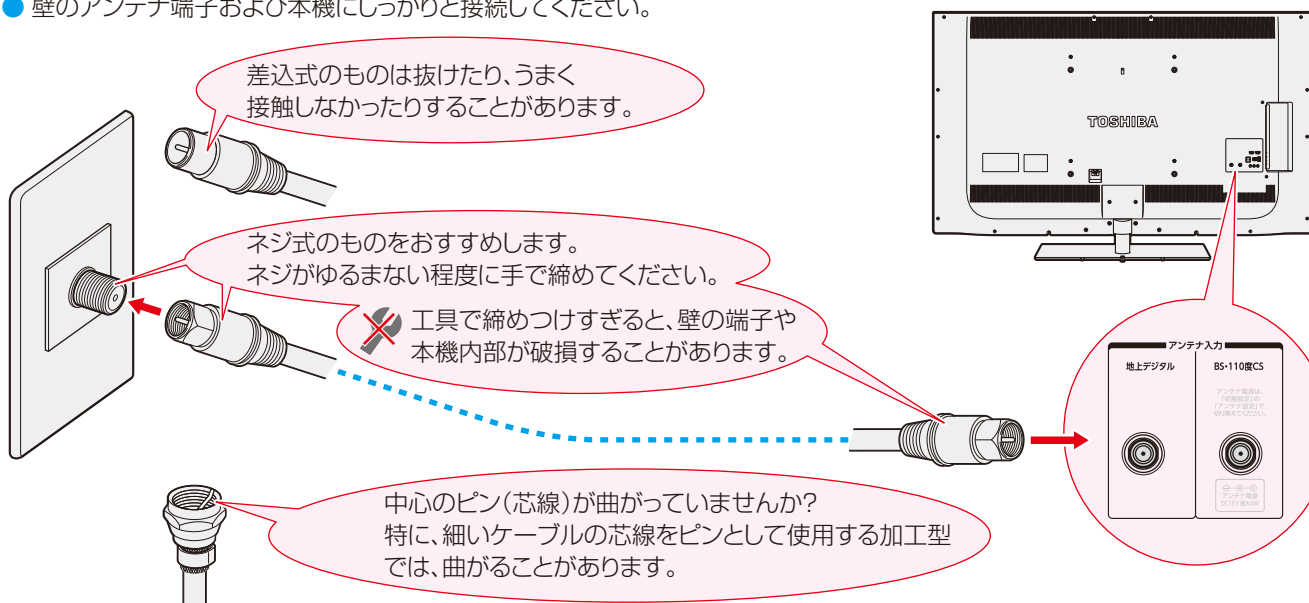
はじめにご確認ください

電源プラグが抜けていませんか？

- 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- コンセントがゆるいときは、電気店に交換をご依頼ください。

電源表示ランプが消えていませんか？

- 本体の電源ボタンで電源を入れてください。（電源表示ランプが消えているとリモコンでは操作できません）

リモコンの乾電池の向きは正しいですか？　乾電池が古くなっていませんか？

- 乾電池に表示された極性（＋、−）の向きを確認してください。
- 新しい乾電池と交換してみてください。

アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、抜けていたりしていませんか？

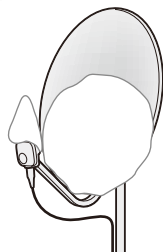
- 壁のアンテナ端子および本機にしっかりと接続してください。

こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

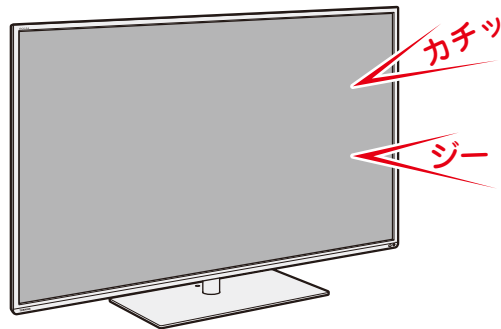
大雨が降っている

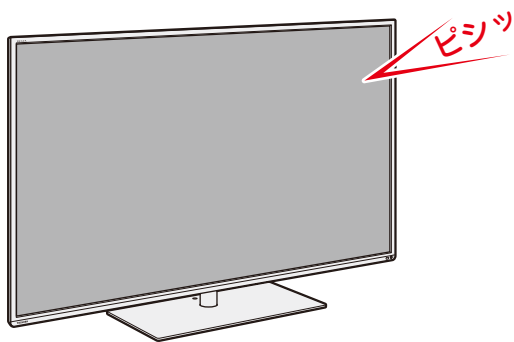
大雪が降っている

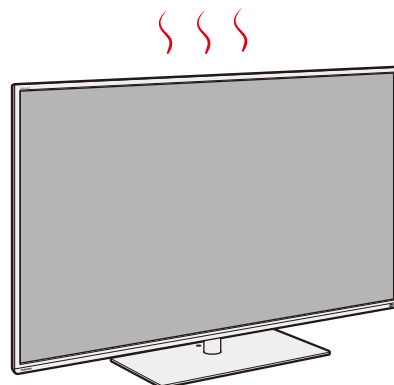
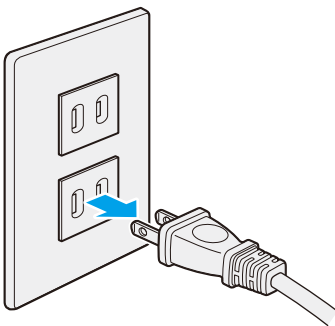
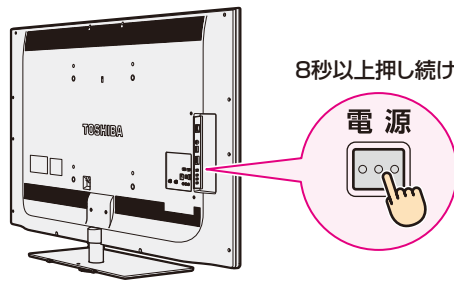
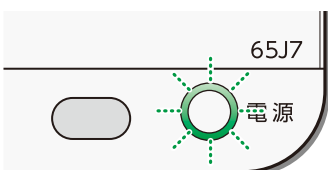
アンテナに雪が積もっている

アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。
ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。
青 ボタンでアンテナレベルをご確認ください。
コード ： E202

現在放送されていません。
コード ： E203

本機内部からの動作音

- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。
- 電源が「待機」や「切」のときに、番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 視聴などで使用していない場合でも、録画などの動作をしているときは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。準 は、別冊「準備編」のページです。

テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合や、USBハードディスクが認識されないなどの場合は、以下の操作をしてみてください。

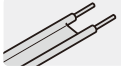
※ リセットをすると、録画やダビングなどは中止されます。

リセットのしかた	操作で対処したいとき
❶電源プラグをコンセントから抜く ❷1分間以上待つ ❸電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	❶テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ❷本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	−
「電源」表示が消えていませんか。	• 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	10
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	−

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	• 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	8
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	準32
リモコンの乾電池の向き（＋、−）が合っていますか。	• 向き（＋、−）を確認し、正しく入れてください。	準32
リモコンコードの設定を変えませんでしたか。	• 「リモコンコード設定」を参照して、本体とリモコンの設定をやり直します。	準84
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	−

映像

放送の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	準27～準31
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	－
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	－
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。（販売店にご相談ください）	－
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	準30

放送がきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。（販売店にご相談ください）	－
電波が弱くありませんか。	• アンテナレベルを確認します。 • アンテナの向きを調整してみます。（販売店にご相談ください）	準41 準43
アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	• 確認して、しっかりと接続します。	98
アンテナ線が劣化していませんか。	• 販売店にご相談ください。	－
アンテナ線に平行フィーダー線（下図）を使っていませんか。	• 同軸ケーブルに交換します。 ※ 平行フィーダー線を使用すると、自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、ヘアードライヤーなどからの妨害や、他の機器や無線局などからの電波混信の影響を受けやすくなります。	－

接続した機器の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	準66
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	－
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• 本体またはリモコンの[入力切換]で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	28

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	• 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせ」を選択してみます。 • 「バックライト」や「明るさ調整」で適切な明るさに調整します。	87～88
映像メニューが「おまかせ」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。	• 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが「おまかせ」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	8

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	87

症状に合わせて解決法を調べる つづき

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－で音量を上げます。	14
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。 （＋音量－でも解除されます）	14
「AVシステムのスピーカーで聴く」になっていませんか。	• 本機のスピーカーで音声を聴く場合は、クイックメニューの「スピーカー切換」で「テレビのスピーカーで聴く」を選択します。	69

お知らせアイコン i が消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• クイックメニューの「その他の操作」⇨「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが１件でも残っていると、アイコンは消えません。	117

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
miniB-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• miniB-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ miniB-CASカードを挿入しないとデジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信はできません。	準24
miniB-CASカードの金色端子部がよごれていませんか。	• きれいな乾いた布で金色端子部のよごれを拭き取ります。	準24
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• お住まいの地域で地上デジタル放送が受信できるか、お近くの電気店などにお聞きください。 • 社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（www.dpa.or.jp/）で確認することもできます。	－
地上デジタル放送に適合したUHFアンテナを使用していますか。	• 地上デジタル放送に対応したアンテナに接続します。 お買い上げの販売店にご相談ください。	準27
アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、抜けていたりしていませんか。	• 壁のアンテナ端子および本機にしっかりと接続してください。 • 差込式のものは抜けたり、うまく接触しなかったりすることがあります。 • ネジ式のものをおすすめします。ネジがゆるまない程度に手で締めてください。 ※ **工具を使用しないでください。**工具で締めつけすぎると、壁の端子や本機内部が破損することがあります。 • 中心のピン（芯線）が曲がっていませんか？特に、細いケーブルの芯線をピンとして使用する加工型では、曲がることがあります。	準36
アンテナ線が正しく接続されていますか。	• アンテナ線と本機のアンテナ入力端子を確認して正しく接続します。 ※ アンテナ入力端子には「地上デジタル」と「BS・CS110度CS」の二つがあります。逆に接続しないようにご注意ください。	準29
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	準36
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	－
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	－
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。（販売店にご相談ください）	－

確認すること	解決法・その他	ページ
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	−
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機の地上デジタルアンテナ入力端子に直接接続してみます。(BS・110度CSデジタル放送を確認する場合は、BS・110度CSアンテナ入力端子へ) • 地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線を地上デジタルアンテナ入力端子とBS・110度CSアンテナ入力端子に接続します。	準40 準29 準22
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	準30 準26
「初期スキャン」をしましたか。	• 「初期スキャン」をします。	準44
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準41 準43
信号強度が高すぎて受信障害が発生していませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。	準41
「地上デジタル放送」を選んでいますか?	• 画面表示を押して現在視聴しているチャンネルや番組の情報を確認します。 • 地デジ(地上デジタル)を押して放送の種類を選びます。	15 13

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後、「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」をします。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」をします。	準44 準44

症状に合わせて解決法を調べる つづき

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
miniB-CASカードが正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか)	• miniB-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ miniB-CASカードを挿入しないとデジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信はできません。	準24
miniB-CASカードの金色端子部がよごれていませんか。	• きれいな乾いた布で金色端子部のよごれを拭き取ります。	準24
電波の種類(BS・110度CSデジタル)に適合したアンテナを使用していますか。	• 放送に対応したアンテナに接続します。 お買い上げの販売店にご相談ください。	準27
アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外では、本機のアンテナ電源供給を「供給する」に設定します。	準43
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	準26
アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、抜けていたりしていませんか。	• 壁のアンテナ端子および本機にしっかりと接続してください。 • 差込式のものは抜けたり、うまく接触しなかったりすることがあります。 • ネジ式のものをおすすめします。ネジがゆるまない程度に手で締めてください。 ※ **工具を使用しないでください。**工具で締めつけすぎると、壁の端子や本機内部が破損することがあります。 • 中心のピン(芯線)が曲がっていませんか？特に、細いケーブルの芯線をピンとして使用する加工型では、曲がることがあります。	準36
アンテナ線が正しく接続されていますか。	• アンテナ線と本機のアンテナ入力端子を確認して正しく接続します。 ※ アンテナ入力端子には「地上デジタル」と「BS・CS110度CS」の二つがあります。逆に接続しないようにご注意ください。	準29
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	準36
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。(折らないようにご注意ください)	―
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	―
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。(販売店にご相談ください)	―
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) • BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	準40 準29 準22
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	準30 準26
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準41 準43
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 ※ 同梱の「ファーストステップガイド」をご覧ください。	―
「BSデジタル放送」または「CSデジタル放送」を選んでいますか？	• 画面表示を押して現在視聴しているチャンネルや番組の情報を確認します。 • BS(BSデジタル)または CS(CSデジタル)またはを押して放送の種類を選びます。	15 13

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんでしたか。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 • 「番組表を更新する」の操作をします。	－ 19

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
－	• 番組表のクイックメニューの「文字サイズ変更」で、文字の大きさを変更することができます。	19

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていませんか。	• 番組表のクイックメニューで「マルチ表示」を選択します。	19
「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定していませんか。	• 「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定します。	準46

録画・再生

USBハードディスクが使用できない（認識されない）

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	• 「対応機器一覧」で確認します。（最新情報はホームページ www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています） ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	準101
機器が正しく接続されていますか。	• 「USBハードディスクを接続する」に従って、正しく接続します。また、認識されていたUSBハードディスクが認識されなくなった場合は、一度本機からはずし、再度接続し直してみてください。	準49
機器の電源がはいっていますか。	• USBハードディスクの電源を入れます。	－
機器が本機に登録されていますか。	• USBハードディスクを本機に登録します。	準50
USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	• 「対応機器一覧」でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 • 「USBハードディスクを接続する」の「お知らせ」もご覧ください。	準101 準49
USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続していませんか。	• USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用することはできますが、電力が本機の供給限界を超えることがあります。エラーメッセージが表示されたり、認識されないときなどは、以下の操作をしてみてください。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 上記の操作をしてもエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	100
－	• リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合や、認識していたUSBハードディスクが認識されないときなどは、以下の操作をしてみてください。 **リセットのしかた**：① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる **操作で対処したいとき**：① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 **リセットをすると録画やダビングなどが中止されます。**	100

症状に合わせて解決法を調べる つづき

USBハードディスクで録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 「USBハードディスクの接続・設定をする」に従って、正しく接続・設定をします。また、認識されていたUSBハードディスクが認識されなくなった場合は、一度本機からはずし、再度接続し直してみてください。	準49
USBハードディスクの残量が足りていますか。	• 残量を確認します。 • 不要な番組を削除します。 • 「自動削除設定」を「削除する」に変更します。	55 54
コピー禁止の番組ではありませんか。	• 録画はできません。	–
本機の録画に対応していない番組や映像ではありませんか。	• 本機は外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、クラウドサービスやネットワークサービスなどの録画には対応しておりません。	37
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	• 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 「録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	47
バッファロー社製長時間録画対応USBハードディスクに録画品質がTR（長時間）で録画をしていませんか。	• TR（長時間）で録画をしている場合は、2番組同時録画（W録）をすることはできません。	38
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード（「第○○話」や出演者名など）を削除します。	47
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	• クイックメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	117
–	• リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合や、USBハードディスクが認識されないなどの場合は、以下の操作をしてみてください。 【リセットのしかた】① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 【操作で対処したいとき】① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 **リセットをすると録画やダビングなどが中止されます。**	100

USBハードディスクに録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	• 「自動削除設定」を「削除しない」に設定します。 • または、消したくない番組を保護します。	54
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。	• 録画中は電源プラグを抜かないように注意します。 ※ 録画中の番組が保存されなかったり、すべての録画番組が消えたりすることがあります。（「録画番組を修復する」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）	– 51

録画番組の映像が表示されなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに、映像が表示されなくなりましたか。	• [▶/親調]を押していったん通常再生に戻してから、再度特殊再生の操作をしてください。	51

USBハードディスクの録画番組がほかのレグザで再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
―	• 本機で録画したUSBハードディスクをほかのレグザに接続しても再生できません。(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)	―

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• ルーターを通して正しく接続します。 • 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでる場合は、以下の操作をしてみてください。 ① 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする ② 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントから抜く ③ 1分間以上待つ ④ 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントに差し込む ⑤ 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする • 映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。 それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。	準56 準71～準75
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。	• ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	―
本機のネットワーク設定および接続機器はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「IPアドレス自動取得」を「する」に設定します。 ※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。	準77
DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、ネットワーク設定のメニューで確認することができます。	― 準77
無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」になっていませんか？	• 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。	準76
本機が再生できる種類のコンテンツですか。	• 本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。	123

症状に合わせて解決法を調べる つづき

レグザリンク機能（HDMI連動）

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• HDMIロゴ表示付の規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、HDMI連動対応のオーディオ機器に接続した機器も含めて、すべての機器が連動しているか確認してください。	準65 準66 準71
推奨機器ですか。	• 「対応機器一覧」で確認します。（最新情報はホームページ www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています） ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。	準101
本機と接続機器の設定は正しいですか。	• 接続機器側の連動設定を確認します。（機器の取扱説明書を参照してください） • 本機の「HDMI連動設定」を確認します。	－ 準71

オーディオ機器に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続機器側の設定は正しいですか。	• オーディオ機器側の連動設定を確認します。（機器の取扱説明書を参照してください）	－
本機の設定は正しいですか。	• 「HDMI連動設定」の「AVシステム連動」を「使用する」に設定します。 また、「HDMI連動設定」の「優先スピーカー」を「AVシステムスピーカー」に設定しておくと、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 • クイックメニューの「スピーカー切換」で「AVシステムのスピーカーで聴く」に切り換えます。	準71

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

確認すること	解決法・その他	ページ
プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。 • ネットワークサービスの「ひかりTV」の場合は申込みが必要です。	－ 準80
接続や設定は正しいですか。	• 確認して、正しく接続・設定します。	準72 ～ 準79
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。	• ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	－
本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「IPアドレス自動取得」を「する」に設定します。	準77
ネットワークサービス利用設定を「利用する」にしていますか。	• 「利用する」に設定します。	準78
本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス（機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く）を利用できるソフトウェアバージョンですか。	• ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。 クラウドサービスについて詳しくは、ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/regza/）をご覧ください。 ※ 「インターネット」を利用しているときに、本機の電源状態を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。クラウドメニューの更新に失敗する可能性があります。クラウドメニューが正しく表示されない場合、本機を初期化すると、正しく表示されるようになります。	－

PPPoE設定ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
－	• 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)。	準79

無線LANが使えない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続や設定は正しいですか。	• 確認して、正しく接続・設定します。 • 「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」を確認します。	準75 準77
お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。	• 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。	準58
複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。	• 無線LANは、近くで複数の無線LANアクセスポイントがある、複数の周波数帯が使われてる、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こることがあります。 周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。 市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。	－

IPアドレスが取得できない

<table>
<tr><th>確認すること</th><th>解決法・その他</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>IPアドレスの表示が空欄ですか。</td><td>
• 「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」を確認します。
• 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認をします。
① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する
② ルータのアクセスランプ(ルータのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)
③ ルータに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する
• 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします
機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする
接続できたとき
最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルータの不具合の可能性が高いです。
接続できなかったとき
ルータ、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。
④ インターネット接続可能なそのほかの機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する
⑤ 「おすすめサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する
• 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。
<table>
<tr><th>リセットのしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr>
<tr><td>① 電源プラグをコンセントから抜く
② 1分間以上待つ
③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる</td><td>① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける
② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す
③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。</td></tr>
</table>
• リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
• 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
</td><td>準77

100

準88</td></tr>
</table>

症状に合わせて解決法を調べる つづき

IPアドレスが取得できているのに接続できない

<table>
<tr><th>確認すること</th><th>解決法・その他</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。</td><td>• お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。</td><td></td></tr>
<tr><td>• 「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」を確認します。</td><td>準77</td></tr>
<tr><td>• 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルータから正常にアドレスを取得できています。「おすすめサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルータにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者（NTT東日本、NTT西日本」など）にご相談ください。</td><td></td></tr>
<tr><td>• 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。
• ルーターを再起動する。</td><td></td></tr>
<tr><td>• 本機をリセットする
<table><tr><th>リセットのしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr><tr><td>① 電源プラグをコンセントから抜く
② 1分間以上待つ
③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる</td><td>① テレビ本体の電源ボタンを押し続ける
② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す
③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。</td></tr></table></td><td>100</td></tr>
<tr><td>• 本機のIPアドレスを確認する</td><td>準77</td></tr>
</table>

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	33
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 青ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 • アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。（販売店にご相談ください） • BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	準27～準31 準43
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	－
「該当するチャンネルはありません コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	－
「ｍｉｎｉＢ－ＣＡＳカードが正しく挿入されていません。 カードをご確認ください」	miniB-CASカードが正しく挿入されていない。	miniB-CASカードを挿入します。	準24
「このカードはご使用になれません。 カードをご確認ください。」	無効なminiB-CASカードが挿入されている。	付属のminiB-CASカードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。 認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属のminiB-CASカード台紙の記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。	－

エラーメッセージが表示されたとき つづき

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	－
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	－
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	－
「再生できません。」	視聴制限のある番組を録画した。	「放送視聴制限設定」で、録画した番組が視聴できる設定にします。	準 81
	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	－
	再生時にテレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	－
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	テレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	－
「録画機器のエラーにより指定した録画品質で録画できません。」	テレビとUSBハードディスクの通信に障害があった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	－
	USBハードディスクにエラーが発生した。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	－
「情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	「録画番組を修復する」の操作をしてみます。	51
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	－

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	レコーダー側で録画設定が変更されている。	レコーダーで録画設定の内容を確認します。	－
「録画機器の動作により設定できません。しばらく待ってからもう一度操作してください」	レコーダーの動作との競合(何らかの操作、動作、表示をしている)がある。	しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。	－
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。	レコーダーで予約を取り消します。	－
「指定した時刻情報では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。	指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。	－
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。	－
「録画機器に時刻が設定されていません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。	レコーダーの時刻設定をします。	－
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。	レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。	－
	レコーダーが正しく接続されていない。	本機とレコーダーを正しく接続します。HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。	準 65 準 66

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	準72〜準79
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	－
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	準47
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	準47
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。（本機の動作は正常です）	－
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	認証エラーが発生した。		

ホームネットワークに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「検索に失敗しました。」	機器が正しく接続されていない。	確認して、ルーターを通して正しく接続します。	準56
「機器（メディア）にアクセスできません。」	DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク設定」のメニューで確認できます。	－ 準77
「再生できません。」	コンテンツが本機で対応しているフォーマットではない。	非対応フォーマットについては本機では再生できません。	－ 123
	無線LANの暗号設定が「暗号なし」になっている。	著作権保護付きコンテンツの場合には無線LAN無線LANアクセスポイントのセキュリティに関する設定を行った上で本機の暗号設定を「暗号なし」以外で設定して接続してください。	準76
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• 機器が起動準備中。 • 機器が他の機器で使用中。	しばらくしてからやり直します。	－
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れている。	お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。	－

エラーメッセージが表示されたとき つづき

インターネットに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「アドレスが正しくありません。」	• 処理できないスキーム(ftp, mailto, fileなど)を開こうとした。	• URLを確認します。 正しいURLを入力しても同様のメッセージが表示される場合、このページを見ることはできません。	−
「サーバが見つかりません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバーが見つからない。	• 「ネットワーク設定」の「DNS設定」が正しく設定されているか確認します。	準77
「サーバからの応答に含まれている認証パラメータが正しくありません。」	• 認証の際にHTTPヘッダが不正である。	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)	−
「サーバからの応答が正しくありません。リダイレクトできません。」	• リダイレクトの際にHTTPヘッダが不正である。		
「ページの安全性を確認できません。サーバが証明書をサポートしていません。接続しますか?」	• 証明書認証時にブラウザの証明DBに発行元のルートCA証明書がない。	• このページが安全であることを確認できませんでした。 問題があるかわからない場合は、「キャンセル」を選びます。「OK」を選んだ場合は、そのままページが表示されます。	−
「ページの安全性を確認できません。ルートCA 証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• ルートCA証明書の有効期限が切れている。		
「ページの安全性を確認できません。サーバ証明書のCNがホスト名と一致しません。接続しますか?」	• サーバ証明書のCN(一般名)がホスト名と一致しない。		
「ページの安全性を確認できません。サーバ証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• サーバ証明書の有効期限が切れている。		
「メモリ不足のため、コンテンツを表示できませんでした。」	• 極度のメモリー不足状態から強制復帰した。	• 他のウインドウを閉じてから「再読込み」をします。 「再読込み」をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。	−
「ページがありません。」	• コンテンツが見つからなかった。	• このページを見ることはできません。	−

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ（www.toshiba.co.jp/regza/support/）でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。

放送電波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

自動ダウンロードの設定をする

- 「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードする」（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。常に最新のソフトウェアで使用することができます。

1 **設定（ふたの中）を押し、▲･▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む**

2 **▲･▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す**

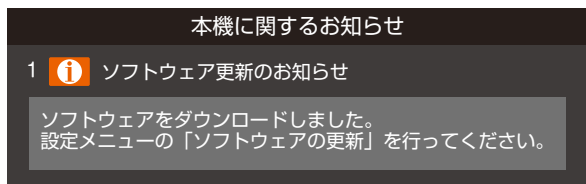
- 青を押せば、自動ダウンロードの日時を一覧で確認することができます。

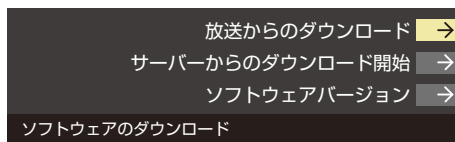
■ ダウンロード
放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末（この場合は本機）に転送することです。

- 更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、BSデジタル放送または地上デジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。（情報を確認する操作はありません）
- 更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」（リモコンで電源を切った状態）のときに行われます。
- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

ソフトウェアを更新する つづき

ソフトウェアを手動で更新する

● ソフトウェアの自動更新ができない場合に、「本機に関するお知らせ」が届きます。
- 「お知らせ」があると、チャンネル切換時や[画面表示]を押したときなどに、画面に「お知らせアイコン ⓘ」が表示されます。次ページの「お知らせを見る」の手順で内容を確認してください。

● 「ソフトウェア更新のお知らせ」が届いた場合、手動でのソフトウェア更新が必要になることがあります。以下の手順で確認し、ソフトウェアを更新してください。

1 [設定](ふたの中)を押し、▲·▼と[決定]で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」の順に進む

● 「ソフトウェアの更新」が選択できないようになっているときは自動更新されています。[終了]を押します。

● 「ソフトウェアの更新」が選択できるようになっているときは以降の操作をします。

2 ▲·▼で「ソフトウェアの更新」を選び、[決定]を押す

● ソフトウェア更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

3 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、[決定]を押す

● 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

東芝サーバーからダウンロードする

● インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
● インターネットへの接続と設定（準備編 72 ～ 79）が必要です。

1 [設定](ふたの中)を押し、▲·▼と[決定]で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「サーバーからのダウンロード開始」の順に進む

● ソフトウェア更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

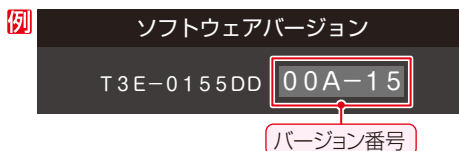
2 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、[決定]を押す

● 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 [クイック]を押し、▲·▼と[決定]で「その他の操作」⇨「ソフトウェアバージョン」の順に進む

● [設定](ふたの中)⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアバージョン」でも確認できます。
● ソフトウェアのバージョンが表示されます。

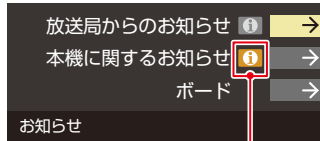
例

■ 東芝サーバーからのダウンロードについて
● 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

その他

お知らせを見る

- お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ（「ボード」を除きます）があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに、画面に「お知らせアイコン」ⓘが表示されます。15

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「その他の操作」⇨「お知らせ」の順に進む

2 ▲･▼でお知らせの種類を選び、決定を押す

未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- **放送局からのお知らせ**…デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**…録画予約などについて本機が発行したお知らせです。
- **ボード**…110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを▲･▼で選び、決定を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

1 「本機に関するお知らせ」の画面で、青を押す

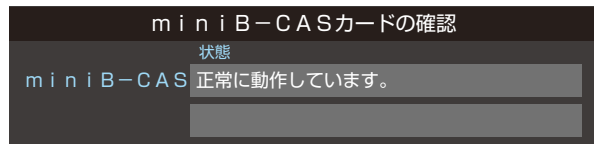
2 ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

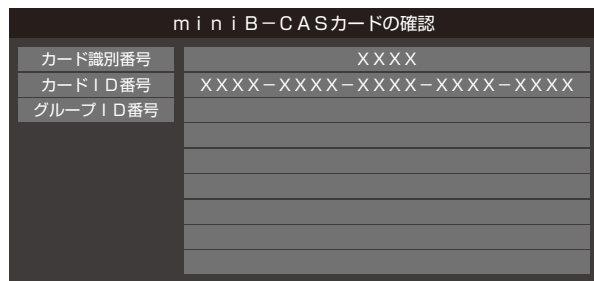
- 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

miniB-CASカードの情報を確認する

- miniB-CASカードの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

1 設定（ふたの中）を押し、▲･▼と決定で「初期設定」⇨「miniB-CASカードの確認」の順に進む

- miniB-CASカードの状態確認結果が表示されます。

2 決定を押す

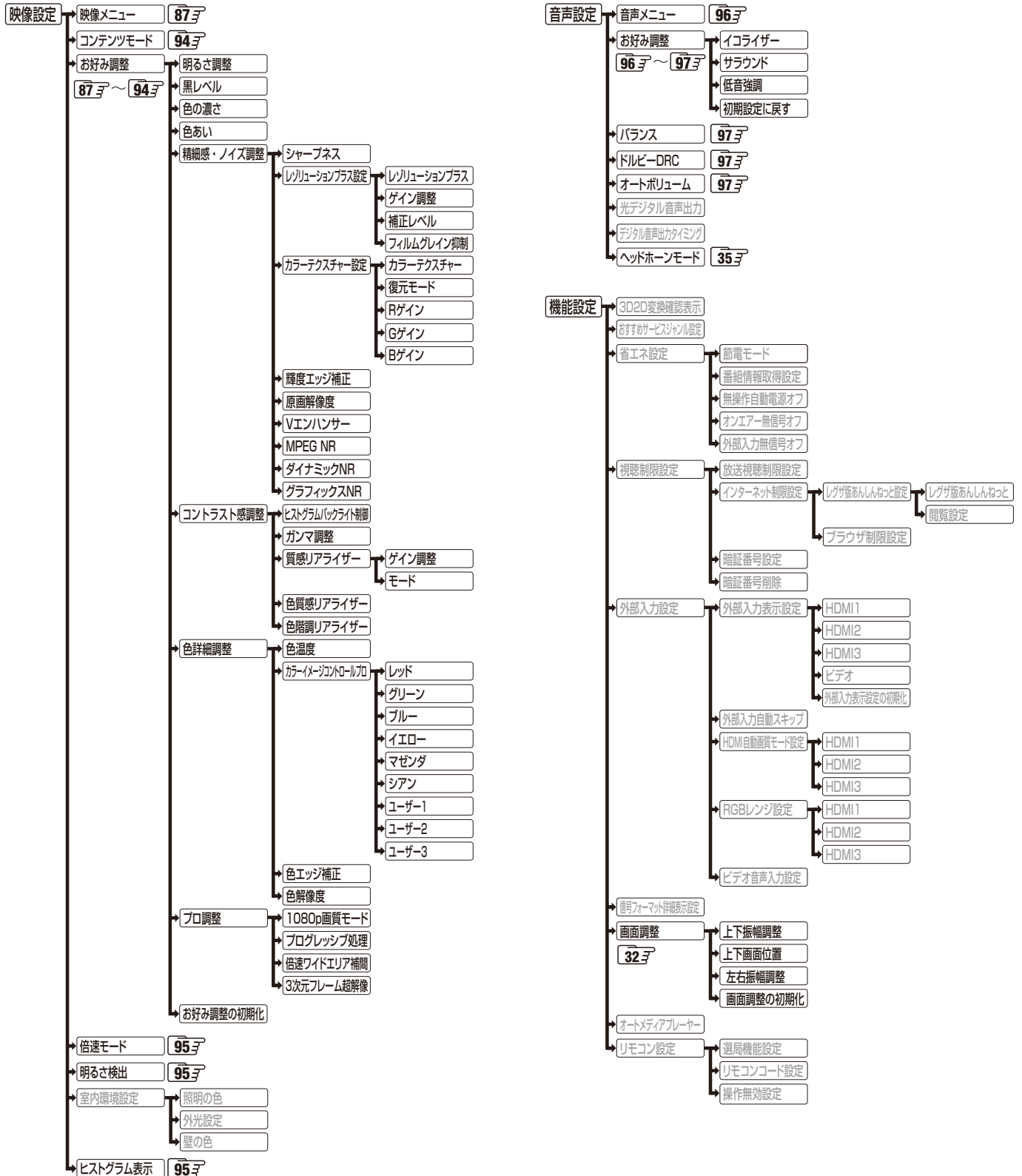
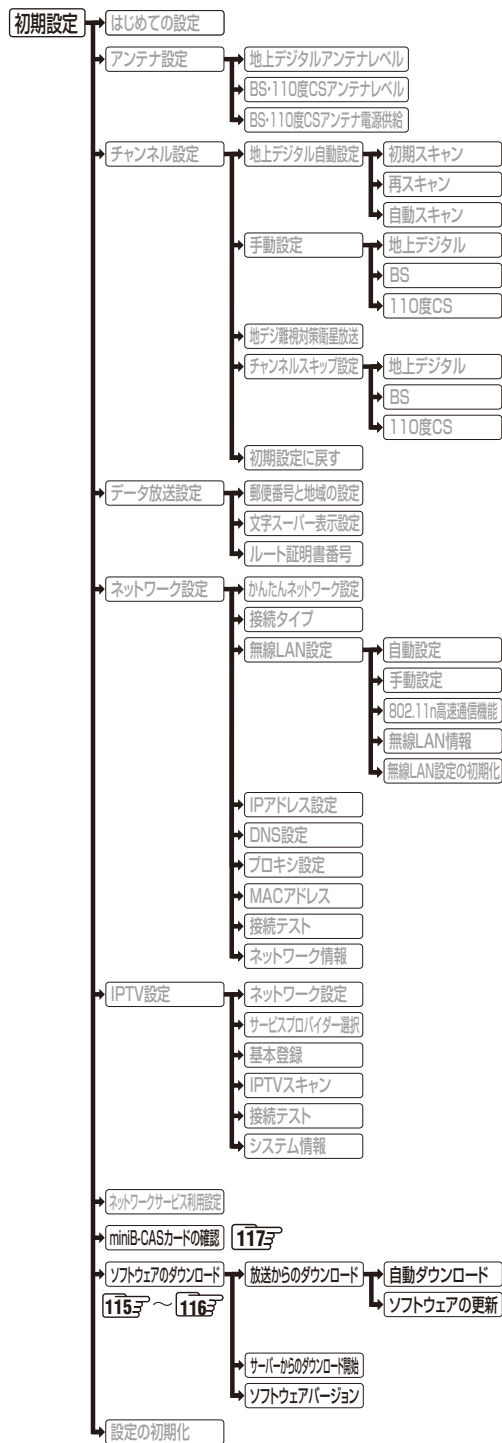
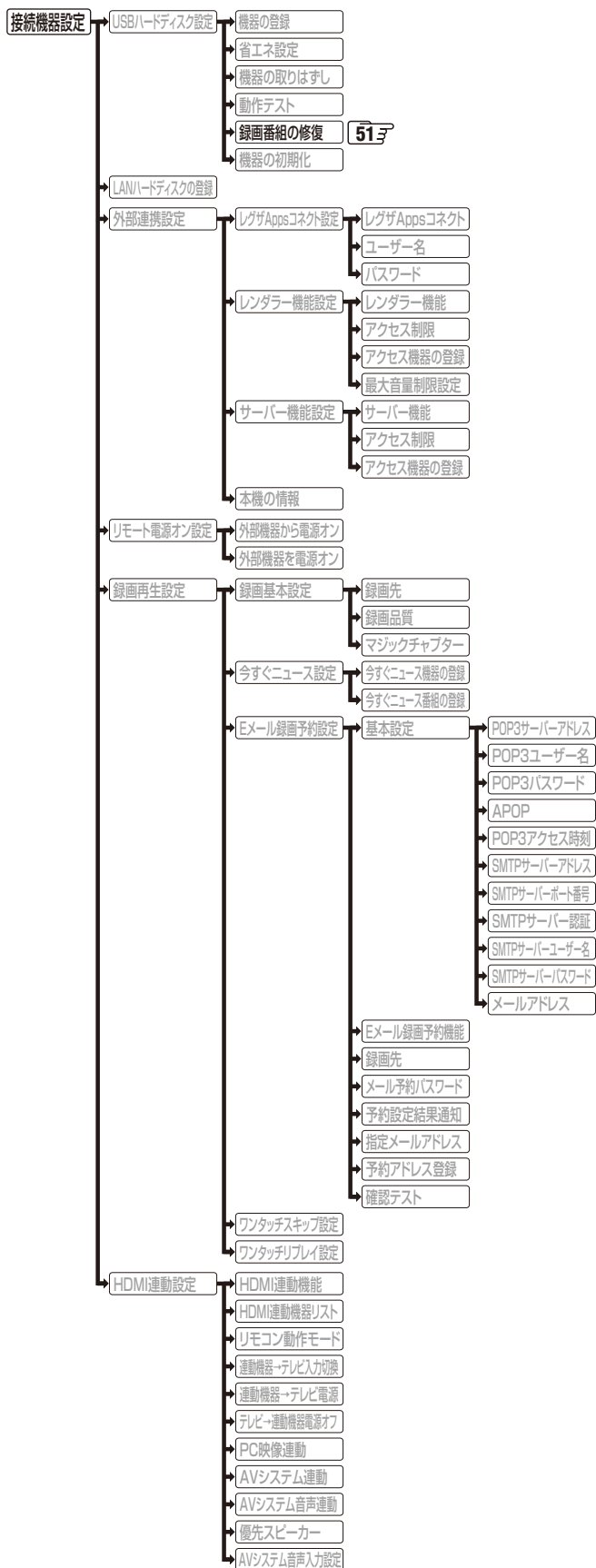
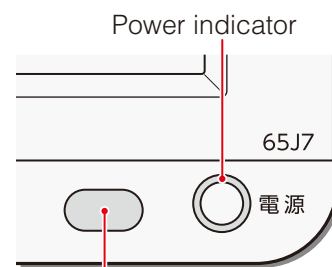
- miniB-CASカードの情報が表示されます。

3 情報を確認したら、戻るを押す

- 131 にminiB-CASカードID番号記入欄があります。番号を記入しておくと、miniB-CASカードのお問い合わせなどの際に便利です。

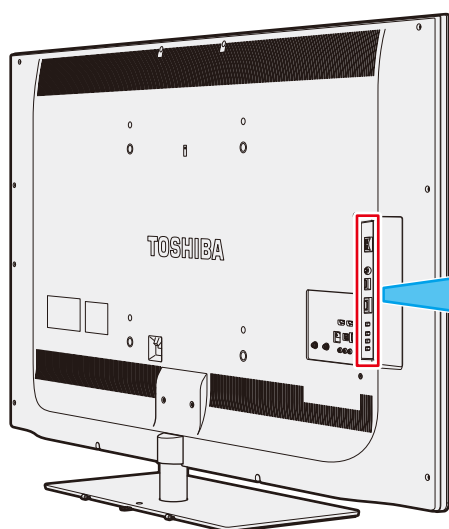
お知らせ

■ お知らせについて
- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- お知らせアイコンは、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

設定メニュー 一覧

- 設定メニュー 一覧を下図に示します。（薄く記載している部分の操作については、別冊「準備編」で説明しています）
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」と「音声設定」のメニューは、「映像メニュー」と「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。

- 接続機器設定
  - USBハードディスク設定
    - 機器の登録
    - 省エネ設定
    - 機器の取りはずし
    - 動作テスト
    - 録画番組の修復 51
    - 機器の初期化
  - LANハードディスクの登録
  - 外部連携設定
    - レグザAppsコネクト設定
      - レグザAppsコネクト
      - ユーザー名
      - パスワード
    - レンダラー機能設定
      - レンダラー機能
      - アクセス制限
      - アクセス機器の登録
      - 最大音量制限設定
    - サーバー機能設定
      - サーバー機能
      - アクセス制限
      - アクセス機器の登録
    - 本機の情報
  - リモート電源オン設定
    - 外部機器から電源オン
    - 外部機器を電源オン
  - 録画再生設定
    - 録画基本設定
      - 録画先
      - 録画品質
      - マジックチャプター
    - 今すぐニュース設定
      - 今すぐニュース機器の登録
      - 今すぐニュース番組の登録
    - Eメール録画予約設定
      - 基本設定
        - POP3サーバーアドレス
        - POP3ユーザー名
        - POP3パスワード
        - APOP
        - POP3アクセス時刻
        - SMTPサーバーアドレス
        - SMTPサーバーポート番号
        - SMTPサーバー認証
        - SMTPサーバーユーザー名
        - SMTPサーバーパスワード
        - メールアドレス
      - Eメール録画予約機能
      - 録画先
      - メール予約パスワード
      - 予約設定結果通知
      - 指定メールアドレス
      - 予約アドレス登録
      - 確認テスト
    - ワンタッチスキップ設定
    - ワンタッチリプレイ設定
  - HDMI連動設定
    - HDMI連動機能
    - HDMI連動機器リスト
    - リモコン動作モード
    - 連動機器→テレビ入力切換
    - 連動機器→テレビ電源
    - テレビ→連動機器電源オフ
    - PC映像連動
    - AVシステム連動
    - AVシステム音声連動
    - 優先スピーカー
    - AVシステム音声入力設定

- 初期設定
  - はじめての設定
  - アンテナ設定
    - 地上デジタルアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナ電源供給
  - チャンネル設定
    - 地上デジタル自動設定
      - 初期スキャン
      - 再スキャン
      - 自動スキャン
    - 手動設定
      - 地上デジタル
      - BS
      - 110度CS
    - 地デジ難視対策衛星放送
    - チャンネルスキップ設定
      - 地上デジタル
      - BS
      - 110度CS
    - 初期設定に戻す
  - データ放送設定
    - 郵便番号と地域の設定
    - 文字スーパー表示設定
    - ルート証明書番号
  - ネットワーク設定
    - かんたんネットワーク設定
    - 接続タイプ
    - 無線LAN設定
      - 自動設定
      - 手動設定
      - 802.11n高速通信機能
      - 無線LAN情報
      - 無線LAN設定の初期化
    - IPアドレス設定
    - DNS設定
    - プロキシ設定
    - MACアドレス
    - 接続テスト
    - ネットワーク情報
  - IPTV設定
    - ネットワーク設定
    - サービスプロバイダー選択
    - 基本登録
    - IPTVスキャン
    - 接続テスト
    - システム情報
  - ネットワークサービス利用設定
  - miniB-CASカードの確認 117
  - ソフトウェアのダウンロード 115～116
    - 放送からのダウンロード
      - 自動ダウンロード
      - ソフトウェアの更新
    - サーバーからのダウンロード開始
    - ソフトウェアバージョン
  - 設定の初期化

Basic Operations

● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]

Basic Operations

操作編 その他

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
ラジオ	ラジオ放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組
データ	データ放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組
16:9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	ダビング	録画回数が制限されている番組
4:3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
ステレオ	ステレオ音声放送	デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組（本機ではできません）
サラウンド	サラウンドステレオ放送	デジタルコピー×	デジタル録画ができない番組
二重音声	二重音声放送	光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
字	字幕放送	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音ができる番組
MV	マルチビューサービス（複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り換わる番組）	光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組（本機ではできません）
HD	デジタルハイビジョン放送	光デジタルコピー×	光デジタル録音ができない番組
HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送	アナログコピー可	アナログ録画ができる番組（本機ではできません）
HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送	アナログコピー¥	有料でアナログ録画ができる番組（本機ではできません）
SD	デジタル標準テレビ放送	アナログコピー×	アナログ録画ができない番組
SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送		

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	録画予約		録画番組が「保護」対象
	連ドラ予約		録画番組が「上書き」対象
	視聴予約		未読の「おしらせ」
	録画中		既読の「おしらせ」
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。	データ取得中	データの取得中です。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。		非リンク型サービス（通信番組）16
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、3番組以上の予約が重なった場合に表示されます。		SSLなどの暗号通信をしている場合16
	連ドラ予約の追跡結果や放送時間変更で同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。（一つの有料番組でW録はできません）		

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイルフォーマット	映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度	最大ファイル数
USB機器、 LANハードディスク DLNA認定サーバー	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、 MPEG-1 Layer Ⅱ	1920×1080	2000/フォルダ
	MPEG2-TS	H.264/MPEG4-AVC	AAC、 ドルビーデジタル(AC3)	1920×1080	2000/フォルダ
USB機器、 LANハードディスク	MPEG2-PS	MPEG2 Video	リニアPCM、 ドルビーデジタル(AC3)、 MPEG-1,2 Layer Ⅱ	1920×1080	2000/フォルダ
DLNA認定サーバー				720×480	
USB機器 LANハードディスク DLNA認定サーバー	MP4	H.264/MPEG4-AVC	AAC	1920×1080	2000/フォルダ
USB機器	3GPP	H.264/MPEG4-AVC	AAC	1920×1080	2000/フォルダ
	3GPP	MPEG-4 Visual	AAC	1920×1080	2000/フォルダ

※ 機器によっては一部の動画の再生ができない場合があります。

対応フォーマット つづき

本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット

圧縮方式	JPEG準拠
フォーマット	Exif ver2.2準拠、JFIF ver1.02準拠
画素数	4096×4096ピクセル以内
ファイルサイズ	USB機器についてはファイルサイズ24MB以内

※ 機器によっては写真再生ができない場合があります。

本機で再生できる音楽のフォーマット

対応機器	音声フォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	最大ファイル数
DLNA認定サーバー、USB機器	MP3	32kHz、44.1kHz、48kHz	32 ～ 320kbps	1000/フォルダ
USB機器	MP4（AAC）	16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz	32 ～ 640kbps	1000/フォルダ
DLNA認定サーバー	リニアPCM	44.1kHz、48kHz	－	1000/フォルダ

その他

ライセンスおよび商標などについて

- DOLBY DIGITAL この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ACCESS NetFront 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

- dlna CERTIFIED DLNA®, DLNA認定ロゴはDigital Living Network Allianceの登録商標あるいは認定マークです。
- HDMI HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- トスリンクは株式会社東芝の登録商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- 本製品の一部に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP//WWW.MPEGLA.COM

お手入れについて

⚠警告	■ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する 電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。	指示
⚠注意	■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。	

お手入れの際のご注意

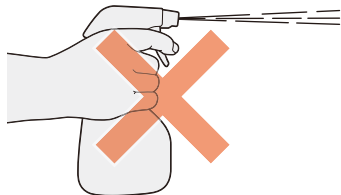
ベンジン・アルコールなどは使わない

- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押したりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。

※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。

※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る

よごれが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、よごれをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。

※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。

※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

仕様

項目		仕様
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名		65J7
受信機型サイズ		65V
電源		AC 100V 50/60Hz共用
消費電力		208W 電源「待機」時 0.14W、 電源「切」時 0.12W、 （機能動作時 25W）※1
年間消費電力量［標準］時		126kWh/年
区分名		DG1 （FHD、液晶倍速、付加機能1）
スタンドを含む外形寸法 （ ）は本体のみ	幅	147.0(147.0)cm
	高さ	93.2(85.3)cm
	奥行	35.7(7.4)cm
スタンドを含む質量 （ ）は本体のみ		38.5(34.0)kg
液晶画面	画面寸法	幅142.8cm、高さ80.4cm、対角163.9cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	水平1920×垂直1080
受信チャンネル		地上デジタル：VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63) BSデジタル：BS000～BS999、110度CSデジタル：CS000～CS999
スピーカー		3.5cm×7.5cm 2個
音声出力		実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）(JEITA)
入力・出力端子	HDMI入力1～3	HDMI（Lip Sync、ARC※2）
	ビデオ入力	映像(ピンジャック)：1V(p-p)、75Ω、同期負 音声(ピンジャック)：200mV(rms)、22kΩ以上
	USB(録画専用)端子	USB2.0
	USB端子	USB2.0
	光デジタル音声出力	トスリンク
	LAN端子	RJ-45
	ヘッドホーン端子	ステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）
角度調整範囲(テレビスタンド)		左右：約15° 前後：不可
付属品		「付属品を確認する」(準備編 5)をご覧ください。

※1：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 番組情報などを取得しているとき
- Eメール録画予約機能で設定した「POP3アクセス時刻」に、メールサーバーにアクセスしているとき

※2：ARC機能はHDMI入力1端子のみ対応しています。

無線LANの仕様

規格	IEEE802.11n／IEEE802.11a／IEEE802.11g／ IEEE802.11b準拠 ARIB STD-T71／ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。
伝送方式	OFDM方式／DSSS方式
周波数範囲(中心周波数)およびチャンネル	**IEEE802.11n／IEEE802.11a：** 5.18GHz～5.24GHz（36、40、44、48）[W52] 5.26GHz～5.32GHz（52、56、60、64）[W53] 5.50GHz ～ 5.70GHz（100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140）[W56] **IEEE802.11n／IEEE802.11g／IEEE802.11b：** 2.412GHz～2.472GHz（1～13）
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応しておりません。)

インターネットブラウザの仕様

記述言語	HTML5.01, XHTML1.1, XHTML Basic
動作記述言語	ECMAScript（ECMA-262 3rd Edition）
DOM	DOM1.0, DOM2.0
Ajax	XMLHttpRequest
スタイルシート	CSS1.0, CSS2.0
セキュア通信	SSL2.0, SSL3.0, TLS1.0
プラグイン	なし

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ(65V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ご く一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。(故障ではありません。)

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

さくいん

操作編

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

miniB-CASカードID番号記入欄

- 下欄にminiB-CASカードのID番号を記入しておくと、有料放送のご契約やminiB-CASカードのお問い合わせの際などに役立ちます。
- miniB-CASカードのID番号は設定メニューで確認できます。117

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00~20:00

メモ

形名		製造番号								

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）
03-3258-0470

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
miniB-CASカードは、保証の対象から除きます。

● 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
● 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上･BS･110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	65J7
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　　―

廃棄時にご注意願います

● 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？
● 電源を入れても映像や音が出ない。
● 映像が時々、消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源を切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止
このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 **東芝**
デジタルプロダクツ＆サービス社
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

● 製品に付属されている取扱説明書の本文および裏表紙はモノクロ印刷です。

(TD/O)　VX1A00262400